

地域アクションプランの平成29年度の 追加・拡充・削除項目(案)

・安芸地域	1
・物部川地域	61
・高知市地域	91
・嶺北地域	111
・仁淀川地域	129
・高幡地域	177
・幡多地域	201

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H28年度 237 → H29年度 238 (+1)

地 域	H28年度 (第3期)	H29年度 (第3期Ver.2)				
	AP数 H28.9.12時点	追 加	削 除	統合 分割	小計	AP数
安 芸	31	1	0	0	1	32
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	1	▲ 1	0	0	30
嶺 北	23	0	0	0	0	23
仁淀川	37	0	0	0	0	37
高 幡	42	0	0	0	0	42
幡 多	47	4	▲ 3	0	1	48
合 計	237	6	▲ 5	0	1	238

平成 29 年度安芸地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

安芸地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度））と

No.	平成28年度	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		9	5	7	7	6	6	5	5	4
1	ユズを中心とした中山間振興	●	●		●	●	●	●	●	
2	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興			●						
3	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進						●			
4	白下糖の生産拡大と新商品の開発									●
5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●						
6	林業加工品の販売の促進								●	
7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
8	安芸市のシラス漁業者所得の向上		●							
9	海洋深層水による地域産業の推進	●								
10	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大	●								
11	海の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
12	有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓			●						
13	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進				●					
14	完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用					●				
15	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組					●				
16	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化									●
17	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大				●	●	●	●	●	
19	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興	●								
20	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	●								
21	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進		●							
22	東洋町における体験観光の推進			●						
23	藤村製絲を活用した観光振興				●					
24	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大							●		
25	旧椎名小学校を活用した地域振興	●								
26	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり		●							
27	奈半利ブランドの確立と販路の拡大				●					
28	安田中山地区の活性化プロジェクト						●			
29	北川村中部地区の活性化プロジェクト							●		
30	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト								●	
31	集落活動センター「げいせい」を拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり									●

第3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表

【安芸地域】

		室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	平成29年度
		9	6	7	7	6	6	5	5	4		
①拡充	●	●		●	●	●	●	●	●		1	ユズを中心とした中山間振興
			●								2	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興
						●					3	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進
									●		4	白下糖の生産拡大と新商品の開発
	●		●								5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
									●		6	林業加工品の販売の促進
	●		●	●	●	●					7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大
		●									8	安芸市のシラス漁業者所得の向上
	●										9	海洋深層水による地域産業の推進
	●										10	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大
①追加	●										11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
			●								12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興
			●								13	有害鳥獣等を活用した商品開発と販路開拓
②拡充				●							14	地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進
					●						15	完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用
					●						16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組
									●		17	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18	安芸地域の観光振興の推進
				●	●	●	●	●			19	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大
	●										20	世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
●										21	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	
③拡充	●									22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進	
④拡充			●								23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進
				●							24	藤村製絲を活用した観光振興
								●			25	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大
	●										26	旧椎名小学校を活用した地域振興
		●									27	集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり
				●							28	奈半利ブランドの確立と販路の拡大
						●					29	安田中山地区の活性化プロジェクト
								●			30	北川村中部地区の活性化プロジェクト
									●		31	馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト
										●	32	集落活動センター「げいせい」を拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり

安芸地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化（安芸市） 【事業主体】 安芸本町商店街振興組合、安芸商工会議所、安芸市	「全国商い甲子園」の開催やチャレンジショップ、中山間の移動販売などの取り組みを進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。

■削除 なし

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村） 【事業主体】JA 土佐あき、JA 馬路村	【拡充】JA 馬路村によるユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓の取り組みに、新たな加工施設の検討・整備を追加する。
2	No.14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用（田野町） 【事業主体】田野町、民間事業者	【拡充】新規就業者の育成・環境整備の取り組みに、養成施設の整備や新規就業者の独立に向けた環境整備を追加する。
3	No.21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進（安芸市） 【事業主体】安芸市、安芸市観光協会、漁協、伊尾木あなごう保存会、内原野陶芸館、JA 土佐あき、安芸市観光ボランティアガイドの会、廓中ふるさと館、メリーガーデン、はたやま夢楽、安芸「釜あげちりめん丼」楽会	【拡充】主な内容に、来年度以降の整備が計画されている道の駅大山及び大山岬周辺の魅力向上に向けた取り組みを追加する。 また、指標及び目標のうち、ちりめん丼販売食数の目標値(H31)を上方修正する。
4	No.22 東洋町における体験観光の推進（東洋町） 【事業主体】東洋町、地元マリンスポーツ関係事業者、東洋町観光振興協会	【拡充】主な内容に、誘客の促進を追加し、取り組みの強化を図るとともに、事業主体に宿泊事業者を追加する。 また、プラン名を「東洋町における体験型・滞在型の観光の推進」に変更する。

有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	安芸市	素材名	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
		関連素材	

現状・課題	<p><現状> 安芸本町商店街は、安芸市中心市街地に位置し、古くから栄えてきた商店街であり、平成5年度から12年度に掛けて共同駐車場及び街路灯設置、セットバック（建物の後退による道路幅の拡大）、組合員店舗改築などの環境整備事業を実施し新しい商店街となった。しかし、安芸市内への大型量販店の進出やモータリゼーションの進展による高知市への顧客の流失もあり、商店街を中心とする中心市街地の空洞化が進行している。最盛期には75店舗（H10年度）の組合員があったが、現在では46店舗に減少するなど活力が失われてきている。</p> <p><課題> 今後、ネット販売との競合、地域の人口減少、少子高齢化の進行も見込まれ、さらなる商店街と中心市街地の衰退は避け難い状況となっている。</p>
方今後の	<p>そのような厳しい状況にあるが、安芸本町商店街は、商店街の賑わい創出を目的とした継続的な販促イベントに取り組んでいる。平成20年度に「全国商い甲子園」、平成24年度に「出張商店街」をそれぞれスタートし、平成27年からは県補助事業を活用して新たにチャレンジショップもオープンしている。さらに、平成28年10月から、中山間地域の高齢者等の買物支援のための移動販売を始める等、地域活性化の担い手、地域コミュニティを形成する「場」としての地域貢献の取り組みを強化している。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
	関係市町村名	安芸市

事業の概要	<p>「全国商い甲子園」の開催や、チャレンジショップ、中山間の移動販売などの取り組みを進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 安芸本町商店街振興組合、安芸商工会議所、安芸市</p> <p>【関係機関】</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	商店街を中心とする地域の活性化	<p>「全国商い甲子園」等の既存イベントの拡充や情報発信の強化</p> <p>他の団体や学校との連携によるイベントの企画、実施</p> <p>観光資源を活用した観光客の誘致</p>				
指標・目標	商店街への開業の誘致	<p>空き店舗の状況調査、移住対策と連動した空き店舗情報の発信</p> <p>チャレンジショップの取り組み</p>				
	項目	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	新規出店者	1	1	1	計 3	
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】 チャレンジショップ終了者がH31年度まで毎年1名以上が見込まれる。この終了者の安芸本町商店街での開店を目指す。</p>				

総事業費等	総事業費	千円	(うち29年度	千円)
	(内訳 国:	県:	市町村:	その他:)
備考	想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国:	県:	人的支援:
		その他:		

追加項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化 《安芸市》	「全国商い甲子園」の開催や、チャレンジショップ、中山間の移動販売などの取組を進めるとともに、新たな集客イベントや空き店舗対策等を行うことにより、商店街や周辺地域の活性化を促進する。	・安芸本町商店街振興組合 ・安芸商工会議所 ・安芸市	アクションプランの取組開始：H29		◆商店街を中心とする地域の活性化 ◆商店街への開業の誘致

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 商店街を中心とする地域の活性化 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 「全国商い甲子園」等の既存イベントの拡充や情報発信の強化 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 他の団体や学校との連携によるイベントの企画・実施 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 観光資源を活用した観光客の誘致 </div> </div>				空き店舗等を活用した 新規開業 (H28:1件)	3件(H29～31累 計)	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> → </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 商店街への開業の誘致 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 空き店舗の状況調査、移住対策と連動した空き店舗情報の発信 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> チャレンジショップの取組 </div> </div>						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
1 ユズを中心とした中山間振興 《室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	・JA土佐あき ・JA馬路村	アクションプランの取組開始:H21 [JA土佐あき] ・新植、改植の推進への取組(H21~27) ◆県選抜系統を活用した母樹園が設置された(H22)。 ◆母樹園の優良系統樹から種木を採取し、苗木業者での育苗が開始された(H27)。 ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t、H26:3t、H27:4t)。 ◆H24から実施している消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)により、ユズのPRIに繋がっている。 [JA馬路村] ・ユズ茶(H21)、化粧品(H22)及びアルミ缶対応ドリンク充填ライン(H26)の加工施設の導入 ◆加工品の販売実績が増加した。 ◆販売拡大に向けて新商品開発が進み、販売に至った(H24:シャーベット2種、ボン酢1種、H25:化粧品3種、ボン酢1種、H26:化粧品2種、調味料3種、H27:化粧品1種、清涼飲料水2種)。 ◆H18から実施している消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)により、ユズ及びユズ関連商品のPRIに繋がっている。	[JA土佐あき] ・青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 [JA馬路村] ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上	◆新植、改植の推進 [JA土佐あき] ◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
1 ユズを中心とした中山間振興 《室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》	日本一のユズ産地として、生産性の向上や品質の低下の防止とともに、ユズ果汁等の販路拡大に取り組み、ユズ販売額の向上を図る。	・JA土佐あき ・JA馬路村	アクションプランの取組開始:H21 [JA土佐あき] ・新植、改植の推進への取組(H21~28) ◆県選抜系統を活用した母樹園が設置された(H22)。 ◆母樹園の優良系統樹から種木を採取し、苗木業者での育苗が開始された(H27)。 ・果汁の販売対策として計画的な施設整備(北川村:H21:搾汁施設、H24:果汁殺菌設備)、JA内に販売対策チームの設立(H24) ◆EU向けに青果輸出に取り組み始めた(H24:3t、H25:3t、H26:3t、H27:4t)。 ◆H24から実施している消費者との交流イベント(収穫祭、料理コンテスト)により、ユズのPRIに繋がっている。 [JA馬路村] ・ユズ茶(H21)、化粧品(H22)及びアルミ缶対応ドリンク充填ライン(H26)の加工施設の導入 ◆加工品の販売実績が増加した。 ◆販売拡大に向けて新商品開発が進み、販売に至った(H24:シャーベット2種、ボン酢1種、H25:化粧品3種、ボン酢1種、H26:化粧品2種、調味料3種、H27:化粧品1種、清涼飲料水2種)。 ◆H18から実施している消費者との交流イベント(ゆずはじまる祭)により、ユズ及びユズ関連商品のPRIに繋がっている。	[JA土佐あき] ・青果出荷へのシフト ・隔年結果及び品質低下対策 ・母樹園を活用した優良系統の普及 [JA馬路村] ・加工施設の活用による安定した加工品販売及び生産者単価の維持向上	◆新植、改植の推進 [JA土佐あき] ◆ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓

修正後

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
新植、改植の推進(青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化)						青果出荷受入量(1月～12月) (H22:297t) (H23:370t) (H25:398t) (H26:449t)	500t
検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底							
産地内の母樹を活用した苗木確保		産地内の母樹苗木を活用した計画的な新植・改植の推進					
ユズを活用した中山間振興策の検討							
ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓						JA土佐あき加工仕向量(1月～12月) (H22:4,250t) (H26:4,489t)	5,000t
[JA土佐あき] ・栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大と隔年結果の是正による果汁の安定供給 ・大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 ・果汁一元化販売の取組による安定した果汁単価の維持 ・ユズ協業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出販売の拡大(シンガポール、北米、EU等)							
[JA馬路村] 各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組					JA馬路村加工品販売額(1月～12月) (H21:21億円) (H26:32億円)	36億円	



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
新植、改植の推進(青果の生産拡大と品質向上、計画的販売の強化)						青果出荷受入量(1月～12月) (H22:297t) (H23:370t) (H25:398t) (H26:449t)	500t
検討会や勉強会の開催による基本技術の徹底							
産地内の母樹を活用した苗木確保		産地内の母樹苗木を活用した計画的な新植・改植の推進					
ユズを活用した中山間振興策の検討							
ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓						JA土佐あき加工仕向量(1月～12月) (H22:4,250t) (H26:4,489t)	5,000t
[JA土佐あき] ・栽培基本技術向上による加工用果皮の出荷拡大と隔年結果の是正による果汁の安定供給 ・大手飲料メーカー等との契約による販売の安定化 ・果汁一元化販売の取組による安定した果汁単価の維持 ・ユズ協業との連携、海外事務所、輸出コーディネーター等の活用による輸出販売の拡大(シンガポール、北米、EU等)							
[JA馬路村] 各施設を活用した加工品生産、加工品開発及び販売拡大への取組					JA馬路村加工品販売額(1月～12月) (H21:21億円) (H26:32億円)	36億円	
加工施設の検討		加工施設の整備					

修正項目(案)




【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 《田野町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正前</div>	製塩体験施設での塩づくり体験を通じて交流人口の拡大を図るとともに、新たな就業者の育成と関連産業への波及を図る。	・田野町 ・民間事業者	アクションプランの取組開始：H24 ・塩づくりの過程を見学・体験できる施設を整備（H24）、H25オープン ・町内の産業振興等の業務とあわせて、体験施設運営や塩づくりに携わる地域おこし協力隊を導入（H25：4人、H26：2人、H27：2人（H27.12月末時点で3人）） ・台風被害によりH26.8月以降休止、H27.4月から再開。 ・新たな体験メニューの実施（H27） ・塩に関する掲示物の作成及び多言語表記（H27） ◆H27の入込客数はオープンでにぎわったH25と同程度まで回復。 ◆施設の知名度が上がって、町内外から多くの学校が訪れるようになり、体験教育の場として活用されている。	・体験施設の実施体制の確立 ・集客できる体験メニューの充実 ・新規就業者の育成と関連産業への波及	◆製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 ◆新規就業者の育成に向けた検討・環境整備 ◆関連産業への波及






【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 《田野町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">修正後</div>	製塩体験施設での塩づくり体験を通じて交流人口の拡大を図るとともに、新たな就業者の育成と関連産業への波及を図る。	・田野町 ・民間事業者	アクションプランの取組開始：H24 ・塩づくりの過程を見学・体験できる施設を整備（H24）、H25オープン ・町内の産業振興等の業務とあわせて、体験施設運営や塩づくりに携わる地域おこし協力隊を導入（H25：4人、H26：2人、H27：2人（H27.12月末時点で3人）） ・台風被害によりH26.8月以降休止、H27.4月から再開。 ・新たな体験メニューの実施（H27） ・塩に関する掲示物の作成及び多言語表記（H27） ◆H27の入込客数はオープンでにぎわったH25と同程度まで回復。 ◆施設の知名度が上がって、町内外から多くの学校が訪れるようになり、体験教育の場として活用されている。	・体験施設の実施体制の確立 ・集客できる体験メニューの充実 ・新規就業者の育成と関連産業への波及	◆製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 ◆新規就業者の育成・環境整備 ◆関連産業への波及

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 施設の運営体制の整備、塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成と更なるPRによる誘客増					体験受入回数 (H25:24回)	28回
					受入人数 (H25:体験226人、見学:960人 計1,186人)	体験:271人 見学:1,152人 計 1,423人
 新規就業者の育成に向けた検討・環境整備 方向性の検討 実施方法の検討・関係者間の調整					塩関連での就業者数 (H26:2人)	10人(累計)
 関連産業への波及 農産物等への活用検討、加工品開発の支援、販路拡大の支援						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 施設の運営体制の整備、塩づくり体験を取り入れた観光メニューの造成と更なるPRによる誘客増					体験受入回数 (H25:24回)	28回
					受入人数 (H25:体験226人、見学:960人 計1,186人)	体験:271人 見学:1,152人 計 1,423人
 新規就業者の育成・環境整備 方向性・実施方法の検討 関係者間の調整 施設整備 新規就業者の育成 新規就業者の独立に向けた環境整備の検討、関係者間の調整					塩関連での就業者数 (H26:2人)	10人(累計)
 関連産業への波及 農産物等への活用検討、加工品開発の支援、販路拡大の支援等						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 《安芸市》	既存の観光資源の磨き上げや、自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの造成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化に繋げる。	・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会	アクションプランの取組開始:H21 ・土佐龍馬であい博での、こころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人) ・H23.3月、安芸観光情報センターの設置 ・岩崎弥太郎像の移転(H26) ・廊中ふるさと館の施設改修(H26) ・安芸観光情報センターの改修(H26) ・内原野陶芸館の改修(H26) ・安芸「釜あげちりめん井」楽会による、ちりめん井の市内外でのPR活動やちりめん井提供店舗拡大の取組(H22～) ◆岩崎弥太郎像の生家周辺への移転や廊中ふるさと館の改修等が行われ、観光に関連した施設等の魅力が向上した。また、H27に行われた「じゃこサミット」(高知東海岸グルメまつり、おさかな祭り、安芸市産業祭と同時開催)には、2日間で延べ約3万人の来場があった。	・体験プログラムの充実 ・市内での滞在時間の延長	◆岩崎弥太郎生家周辺の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上) ◆新たな体験プログラムの造成 ◆既存体験プログラムのブラッシュアップ ◆地域食材を活用した商品づくり

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 《安芸市》	既存の観光資源の磨き上げや、自然・歴史文化等の地域資源を活用した新たな体験プログラムの造成、地域食材を活用したメニューや商品の開発等により観光客の満足度の向上を図り、交流人口の拡大及び観光関連産業の活性化に繋げる。	・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 ・道の駅大山	アクションプランの取組開始:H21 ・土佐龍馬であい博での、こころざし社中開催(H22入場者、113千人、目標100千人) ・H23.3月、安芸観光情報センターの設置 ・岩崎弥太郎像の移転(H26) ・廊中ふるさと館の施設改修(H26) ・安芸観光情報センターの改修(H26) ・内原野陶芸館の改修(H26) ・安芸「釜あげちりめん井」楽会による、ちりめん井の市内外でのPR活動やちりめん井提供店舗拡大の取組(H22～) ◆岩崎弥太郎像の生家周辺への移転や廊中ふるさと館の改修等が行われ、観光に関連した施設等の魅力が向上した。また、H27に行われた「じゃこサミット」(高知東海岸グルメまつり、おさかな祭り、安芸市産業祭と同時開催)には、2日間で延べ約3万人の来場があった。	・体験プログラムの充実 ・市内での滞在時間の延長	◆岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木酒の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上) ◆ <u>大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上</u> ◆新たな体験プログラムの造成 ◆既存体験プログラムのブラッシュアップ ◆地域食材を活用した商品づくり

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>岩崎弥太郎生家周辺の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上)</p> <p>パワースポットとしての認知度向上に向けた検討</p> <p>生家周辺の整備 (星神社門扉、案内板等)</p>					<p>市内年間観光客数 (H26:196,895人)</p> <p>市内年間宿泊者数 (H22~26平均値: 22,721人)</p> <p>ちりめん井販売食数 (H26:40,846食)</p>	<p>300,000人</p> <p>25,000人</p> <p>45,000食</p>
<p>新たな体験プログラムの造成</p> <p>・シラス漁見学等の新たな体験プログラムの造成 (体験プログラムについて漁業関係者等との体制構築)</p> <p>・モニターツアーの実施</p> <p>体験プログラムの実施・ブラッシュアップ</p>						
<p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p> <p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p>						
<p>地域食材を活用した商品づくり</p> <p>・ナス・ユズ・土佐ジロー・シラス・マンゴーなどの地域食材を活用したメニューや商品の開発</p> <p>・メニューのPR活動(釜あげちりめん井等)</p>						

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>岩崎弥太郎生家周辺や伊尾木洞の魅力向上(パワースポットとしての認知度向上)</p> <p>パワースポットとしての認知度向上に向けた検討</p> <p>周辺の整備 (星神社門扉、案内板、トイレ改修等)</p>					<p>市内年間観光客数 (H26:196,895人)</p> <p>市内年間宿泊者数 (H22~26平均値: 22,721人)</p> <p>ちりめん井販売食数 (H26:40,846食)</p>	<p>300,000人</p> <p>25,000人</p> <p>50,000食</p>
<p>大山岬(恋人の聖地)と道の駅大山の魅力向上</p> <p>大山岬周辺と道の駅の施設整備の検討・実施</p> <p>大山岬(恋人の聖地)の魅力発信(イベントの企画・開催)</p>						
<p>新たな体験プログラムの造成</p> <p>・シラス漁見学、果実収穫体験等の新たな体験プログラムの造成(体験プログラムについて関係者等との体制構築)</p> <p>・モニターツアーの実施</p> <p>体験プログラムの実施・ブラッシュアップ</p>						
<p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p> <p>既存体験プログラムのブラッシュアップ</p>						
<p>地域食材を活用した商品づくり</p> <p>・ナス・ユズ・土佐ジロー・シラス・マンゴーなどの地域食材を活用したメニューや商品の開発</p> <p>・メニューのPR活動(釜あげちりめん井等)</p>						

修正項目(案)




【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 東洋町における体験観光の推進 《東洋町》	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。	・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始：H25 ・高知県観光拠点整備事業費補助金を活用し、白浜キャンプ場炊事場を整備(H26) ・地域おこし協力隊(観光)1人着任(H26) ◆整備対象施設の現況調査により、課題が明確化され、今後の取組の方針決定につながった。	・地域資源を活かした体験プログラムの開発 ・地元事業者(サーフショップ等)との協調 ・受入施設の整備	◆海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 ◆東洋町観光振興協会の体制強化 ◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化
修正前					







【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進 《東洋町》	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。	・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・宿泊事業者 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始：H25 ・高知県観光拠点整備事業費補助金を活用し、白浜キャンプ場炊事場を整備(H26) ・地域おこし協力隊(観光)1人着任(H26) ◆整備対象施設の現況調査により、課題が明確化され、今後の取組の方針決定につながった。 ・体験プログラムの開発(H26～) ・こけら祭りの開催(H26～) ・産振アドバイザー制度の活用(東洋町観光振興協会の課題整理と人材育成など：H27、3回) ・こうちカメラ女子旅in東洋町モニターツアーの実施(1回) ・教育旅行の受入(H28、1回) ・観光アプリの提供開始(H28)	・地域資源を活かした体験プログラムの開発 ・地元事業者(サーフショップ等)との協調 ・受入施設の整備	◆海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 ◆東洋町観光振興協会の体制強化 ◆誘客の促進 ◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					体験者数 (H27:0人)	5,000人	
海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 海の駅の観光案内窓口の強化 農林漁家民泊の推進		体験プログラムの磨き上げと開発およびガイド育成					
							
東洋町観光振興協会の体制強化 法人化と事務局体制強 人材育成							
地域の観光情報発信							
							
サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化 アンケート調査 整備内容の検討 施設と備品の整備							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					体験者数 (H27:0人)	5,000人	
海の駅を拠点とした体験観光プログラムの開発 海の駅の観光案内窓口の強化		体験プログラムの磨き上げと開発およびガイド育成					
							
東洋町観光振興協会の体制強化 法人化と事務局体制強化							
人材育成							
							
誘客の促進 農林漁家民泊の推進 魅力的な観光地域づくり、観光情報の発信・プロモーション							
							
サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化 アンケート調査 整備内容の検討 施設と備品の整備							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>《安田町》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	<p>安田町内の地域資源を活かした6次産業化事業を実施し、新商品開発・販路開拓・拡大生産に取り組み、地産外産を推進する。</p> <p>また、マンゴー大福「安田の白い夢」の販路拡大に向け、大都市圏を中心とした販売促進活動に取り組む。これらの取組により安定かつ継続した雇用の創出を目指す。</p>	<p>・安田町 ・生産者 ・製造販売者</p>	<p>アクションプランの取組開始：H24 ・製造販売拠点「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』施設整備(H23)、開業(H24) ・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24) ・JAL 鷹か四国キャンペーンとのタイアップ(H25) ・県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月) ・まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24) ・まるごと高知での安田町フェアの実施(H26) ◆ニッポン全国物産展ご当地おやつランキング5位入賞(H25)、2位受賞(H27) ・東部博覧会イベント等での販売活動の実施(H27) ・年間製造量:34,000個(H26) ◆H24に「安田と夢ファクトリー『キララ』を整備し、生産販売拠点ができ、一定雇用は確保しているが、大都市圏での安定した販路の確保には至っていない。</p>	<p>・6次産業化のための加工に適した作物の選定 ・6次産業化の担い手となる人材の確保</p> <p>・導入した製造機械での「安田の白い夢」の本格生産に向けた新たな販路開拓</p> <p>・「安田の白い夢」の認知度向上に向けた販売促進活動の継続した取組</p>	<p>◆地域資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>◆「安田の白い夢」の販路の開拓</p>



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>《安田町》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	<p>安田町内の地域資源を活かした6次産業化事業を実施し、新商品開発・販路開拓・拡大生産に取り組み、地産外産を推進する。</p> <p>また、マンゴー大福「安田の白い夢」の販路拡大に向け、大都市圏を中心とした販売促進活動に取り組む。これらの取組により安定かつ継続した雇用の創出を目指す。</p>	<p>・安田町 ・生産者 ・製造販売者</p>	<p>アクションプランの取組開始：H24 ・製造販売拠点「安田(あんた)と夢ファクトリー『キララ』施設整備(H23)、開業(H24) ・高知龍馬空港でのキャンペーンの展開(H24) ・JAL 鷹か四国キャンペーンとのタイアップ(H25) ・県外百貨店での高知フェアに出展(H25:銀座三越4月、大阪高島屋5月) ・まるごと高知の報告会・商談会へ参加(H24) ・まるごと高知での安田町フェアの実施(H26) ◆ニッポン全国物産展ご当地おやつランキング5位入賞(H25)、2位受賞(H27) ・東部博覧会イベント等での販売活動の実施(H27) ・年間製造量:34,000個(H26) 38,700個(H27) ◆H24に「安田と夢ファクトリー『キララ』を整備し、生産販売拠点ができ、一定雇用は確保しているが、大都市圏での安定した販路の確保には至っていない。</p>	<p>・6次産業化のための加工に適した作物の選定 ・6次産業化の担い手となる人材の確保</p> <p>・導入した製造機械での「安田の白い夢」の本格生産に向けた新たな販路開拓</p> <p>・「安田の白い夢」の認知度向上に向けた販売促進活動の継続した取組</p>	<p>◆地域資源を活かした6次産業化事業の推進</p> <p>◆「安田の白い夢」の販路の開拓</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活かした6次産業化事業の推進					→	起業者創出 企業誘致	1社 1企業
戦略構想計画の策定							
加工に適した作物の選定							
地域資源を活かした新たな加工品の開発、市場調査、販路開拓							
加工施設整備							
原料増産に向けた取組							
起業者創出、企業誘致に向けた取組							
「安田の白い夢」の販路の開拓							
大都市圏を中心とした営業活動の展開による販路の確保							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活かした6次産業化事業の推進					→	起業者創出 企業誘致	1社 1企業
戦略構想計画の策定							
加工に適した作物の選定							
地域資源を活かした新たな加工品の開発、市場調査、販路開拓							
加工施設整備							
原料増産に向けた取組							
起業者創出、企業誘致に向けた取組							
「安田の白い夢」の販路の開拓							
大都市圏を中心とした営業活動の展開による販路の確保							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
4 白下糖の生産拡大と新商品の開発 《芸西村》	伝統ある芸西村の白下糖の生産を拡大し、白下糖を活用した新商品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化を図り、認知度の向上を目指す。	・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ	アクションプランの取組開始:H24 ・生産者アンケート調査実施(H24、圃場確認・栽培継続の可否) ・脱葉機導入(H25) ・伝承館改修(製糖体験スペース増築)(H26) ・土壌検査の実施(化学性)(H26) ・栽培層の作成(H26) ・栽培層に沿ったサトウキビの試験的栽培(H27) ・サトウキビ買取りの試験的実施(H27) ・土壌検査の実施(物理性)(H27) ・体験メニューの実施(H27) ◆保冷庫を導入したことにより白下糖の品質保持及び年間を通じた販売が可能となった。	・後継者の育成 ・品質の統一化 ・白下糖を活用した新商品の開発 ・販売先の拡大 ・体験メニューの検証と磨き上げ	◆技術を継承する人材の育成 ◆白下糖の生産量の拡大 ◆白下糖の品質向上 ◆白下糖の販路拡大 ◆新商品の開発 ◆体験メニューの磨き上げ
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
4 白下糖の生産拡大と新商品の開発 《芸西村》	伝統ある芸西村の白下糖の生産を拡大し、白下糖を活用した新商品を開発・販売することにより、白下糖のブランド化を図り、認知度の向上を目指す。	・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ	アクションプランの取組開始:H24 ・生産者アンケート調査実施(H24、圃場確認・栽培継続の可否) ・脱葉機導入(H25) ・伝承館改修(製糖体験スペース増築)(H26) ・土壌検査の実施(化学性)(H26) ・栽培層の作成(H26) ・栽培層に沿ったサトウキビの試験的栽培(H27) ・サトウキビ買取りの試験的実施(H27) ・土壌検査の実施(物理性)(H27) ・体験メニューの実施(H27) ・土壌検査の実施(化学性)(H28) ◆栽培歴の活用により品質の統一化が図られるとともに品質の良い黒糖の製造につながった。	・後継者の育成 ・品質の統一化 ・白下糖を活用した新商品の開発 ・販売先の拡大 ・体験メニューの検証と磨き上げ	◆技術を継承する人材の育成 ◆白下糖の生産量の拡大 ◆白下糖の品質向上 ◆白下糖の販路拡大 ◆新商品の開発 ◆体験メニューの磨き上げ
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
技術を継承する人材の育成					→	サトウキビ収穫量 (H26:34t)	45t
人材の確保		製造技術の習得、その他関連する研修等への参加					
白下糖の生産量の拡大					→		
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保によるサトウキビ作付面積の拡大							
サトウキビの買取り実施							
白下糖の品質向上					→		
栽培層に沿った栽培	栽培層の磨き上げ						
白下糖の販路拡大					→		
テストマーケティング	商品の磨き上げ	商談会や展示会への出展					
新商品の開発					→		
商品検討・試作	試作商品テストマーケティング	試作商品磨き上げ・商品化					
体験メニューの磨き上げ					→		
体験メニューの実施							
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
技術を継承する人材の育成					→	サトウキビ収穫量 (H26:34t)	45t
人材の確保		製造技術の習得、その他関連する研修等への参加					
白下糖の生産量の拡大					→		
遊休農地の有効活用・新規生産者の確保によるサトウキビ作付面積の拡大							
サトウキビの買取り実施							
白下糖の品質向上					→		
栽培層に沿った栽培	栽培層の磨き上げ等による収穫量の拡大						
白下糖の販路拡大					→		
テストマーケティング	商品の磨き上げ	商談会や展示会への出展					
新商品の開発					→		
商品検討・試作	試作商品テストマーケティング	試作商品磨き上げ・商品化					
体験メニューの磨き上げ					→		
体験メニューの実施							
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ				

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図ることにより、産地としてのブランド力の向上を図る。	・室戸市木炭振興会 ・室戸木炭生産組合(仮称) ・土佐備長炭生産組合	アクションプランの取組開始:H21 [室戸市木炭振興会] ・組織化:H19設立 ・施設等整備(H21:研修寮2基、H22:研修寮1基) ・研修生の受入 (H21:3人、H22:5人、H23:2人、H24:0人、H25:0人、H26:2人、H27:2人) ◆施設整備により、研修生の継続した受入につながっている。 [土佐備長炭生産組合] ・組織化:H21設立 ・施設等整備(H21:共同寮2基、H22:共同寮1基、保管庫1棟、H25:共同寮4基、フォークリフト1台) ◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。 (H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱、H25:4,190箱、H26:3,630箱) ・研修生の受入 (H21:3人、H22:2人、H23:2人、H24:0人、H25:2人、H26:1人、H27:2人) ・原木の一括購入と製品の一括出荷(H21~) ◆出荷量の拡大と品質の安定化につながっている。 ・末端利用者のニーズに対応して、製品規格を10種から19種へ拡大(H21~)	・担い手の育成 ・生産施設等の整備 ・原木の確保 ・経営の強化と安定化 ・ブランド力の向上	◆従事者の拡大 ◆生産施設の整備 ◆カシ類原木の活用 ◆大規模所有者からの原木調達 ◆組織力の強化 ◆新商品の開発 ◆生産拠点の拡大に向けた検討

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 《室戸市、東洋町》	土佐備長炭の生産量の増大と後継者の育成を図ることにより、産地としてのブランド力の向上を図る。	・室戸市木炭振興会 ・土佐備長炭室戸生産組合 ・土佐備長炭生産組合	アクションプランの取組開始:H21 [室戸市木炭振興会] ・組織化:H19設立 ・施設等整備(H21:研修寮2基、H22:研修寮1基) ・研修生の受入 (H21:3人、H22:5人、H23:2人、H24:0人、H25:0人、H26:2人、H27:2人、H28:2人) ◆施設整備により、研修生の継続した受入につながっている。 [土佐備長炭生産組合] ・組織化:H21設立 ・施設等整備(H21:共同寮2基、H22:共同寮1基、保管庫1棟、H25:共同寮4基、フォークリフト1台) ◆施設整備により月産出荷能力(箱=12kg)が増加した。 (H21:2,150箱、H22:3,425箱、H23:3,548箱、H24:3,670箱、H25:4,190箱、H26:3,630箱) ・研修生の受入 (H21:3人、H22:2人、H23:2人、H24:0人、H25:2人、H26:1人、H27:2人、H28:2人) ・原木の一括購入と製品の一括出荷(H21~) ◆出荷量の拡大と品質の安定化につながっている。 ・末端利用者のニーズに対応して、製品規格を10種から19種へ拡大(H21~) [土佐備長炭室戸生産組合] ・組織化:H28設立	・担い手の育成 ・生産施設等の整備 ・原木の確保 ・経営の強化と安定化 ・ブランド力の向上	◆従事者の拡大 ◆生産施設の整備 ◆カシ類原木の活用 ◆大規模所有者からの原木調達 ◆組織力の強化 ◆新商品の開発 ◆生産拠点の拡大に向けた検討

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					出荷量 (H26:1,076t)	1,580t	
従事者の拡大					新規就労者数 (H24~27 11人)	26人(H28~H31 累計)	
		研修生の受入					
					製炭窯設置 (H24~26 増設7基)	21基(H28~H31 累計)	
生産施設の整備				炭窯、保管庫等の設置			
カン類原木の活用							
				製炭技術の改良等			
大規模所有者からの原木調達							
				原木林の共同購入等			
組織力の強化							
				未加入製炭者の組織化、生産者団体の事務局機能の強化等			
新商品の開発							
				ザツ白炭・黒炭の生産、広葉樹原木を活用した商品の生産			
生産拠点の拡大に向けた検討							
				安芸市等東部地域での生産拠点拡大に向けた検討			



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					出荷量 (H26:1,076t)	1,580t	
従事者の拡大					新規就労者数 (H24~27 11人)	26人(H28~H31 累計)	
		研修生の受入					
					製炭窯設置 (H24~26 増設7基)	21基(H28~H31 累計)	
生産施設の整備				炭窯、保管庫等の設置			
カン類原木の活用							
				製炭技術の改良等			
大規模所有者からの原木調達							
				原木林の共同購入等			
組織力の強化							
				未加入製炭者の組織化、生産者団体の事務局機能の強化等			
新商品の開発							
				ザツ白炭・黒炭の生産、広葉樹原木を活用した商品の生産			
生産拠点の拡大に向けた検討							
				安芸市等東部地域での生産拠点拡大に向けた検討			

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 安芸市のシラス漁業者所得の向上 《安芸市》 修正前	平成25年に設立したシラス加工所によるシラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化と、シラスの水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を図る。	・安芸漁協 ・(株)安芸水産	アクションプランの取組開始:H21 ・企業、漁協、漁業者による加工処理能力向上に向けた協議(H23) ・シラス加工施設完成(H24) ・地元からの雇用創出(H24～) ◆漁業者・漁協・シラス加工業者との協議を実施した結果、漁業関係者はシラス加工処理能力の向上による水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を希望していることが確認できた。 ◆各種イベントでのPRや直販所での販売を通じて商品の認知度が高まった。	・漁業者、漁協、シラス加工業者による関係者の事業収入向上に向けた取組体制の構築 ・製造・出荷体制の強化、収益性の向上、販路拡大 ・シラス漁の鮮度保持体制の構築	◆シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化 ◆商品力、販売力の強化と新たな販路確保 ◆シラスの鮮度向上



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 安芸市のシラス漁業者所得の向上 《安芸市》 修正後	平成25年に設立したシラス加工所によるシラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化と、シラスの水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を図る。	・安芸漁協 ・(株)安芸水産	アクションプランの取組開始:H21 ・企業、漁協、漁業者による加工処理能力向上に向けた協議(H23) ・シラス加工施設完成(H24) ・地元からの雇用創出(H24～) ◆漁業者・漁協・シラス加工業者との協議を実施した結果、漁業関係者はシラス加工処理能力の向上による水揚げ量の増加、及び漁家所得の向上を希望していることが確認できた。 ◆各種イベントでのPRや直販所での販売を通じて商品の認知度が高まった。	・漁業者、漁協、シラス加工業者による関係者の事業収入向上に向けた取組体制の構築 ・製造・出荷体制の強化、収益性の向上、販路拡大 ・シラス漁の鮮度保持体制の構築	◆シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化 ◆商品力、販売力の強化と新たな販路確保 ◆シラスの鮮度向上

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化					→	水揚げ金額 (H26.1月～12月: 201,740千円)	210,000千円
処理能力の向上に対応した漁業体制の強化(関係者間の協議)							
商品力、販売力の強化と新たな販路確保					→	シラス漁獲量 (H26.1月～12月:393t)	420t
製造・出荷体制の強化、販路拡大							
シラスの鮮度向上					→		
・鮮度調査 ・鮮度保持機器の導入に向けた検討			鮮度保持機器の導入				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
シラス加工処理能力の向上に対応した漁業体制の強化					→	水揚げ金額 (H26.1月～12月: 201,740千円)	210,000千円
処理能力の向上に対応した漁業者、漁協、加工業者、行政等の連携強化(関係者間の協議)							
商品力、販売力の強化と新たな販路確保					→	シラス漁獲量 (H26.1月～12月:393t)	420t
製造・出荷体制の強化、販路拡大							
シラスの鮮度向上					→		
・鮮度調査 ・鮮度保持機器の導入に向けた検討			鮮度保持機器の導入				

修正項目(案)



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 《東洋町》	高知県の東の玄関口である東洋町の観光拠点施設および地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」により地域の活性化を図る。	・東洋町 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始: H21 ・H20.1月、海の駅東洋町(木造平屋建、171㎡)開設 来場者: H21、134,896人 H22、153,446人 H23、156,063人 ・H24.7月の火災による焼失のため、産業振興総合補助金を活用しH25.12月再建(木造平屋建、267㎡) ・H26.1月から運営再開 ◆順調に売り上げを伸ばしている。	・運営体制の強化 ・地域産品を活用した加工品の確保 ・観光拠点機能の強化	◆運営体制の強化 ◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売
修正前					





【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 《東洋町》	高知県の東の玄関口である東洋町の観光拠点施設および地元特産品の販売、飲食施設等の機能を持つ「海の駅東洋町」により地域の活性化を図る。	・東洋町 ・東洋町観光振興協会	アクションプランの取組開始: H21 ・H20.1月、海の駅東洋町(木造平屋建、171㎡)開設 ・H24.7月の火災による焼失のため、産業振興総合補助金を活用しH25.12月再建(木造平屋建、267㎡) ・H26.1月から運営再開 ◆順調に売り上げを伸ばしている。 売上高 H27:161,151千円 来場者 H27:174,122人 ・教育旅行の受入(H28、1回) ・直販所支援アドバイザー派遣制度の活用(H28、接遇マナーとPOP作成研修)	・運営体制の強化 ・地域産品を活用した加工品の確保 ・観光拠点機能の強化	◆運営体制の強化 ◆地域特産品を活用した加工品の開発・販売
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H22: 133,765千円) (H26: 141,938千円)	168,990千円	
運営体制の強化 責任者の配置	出品者勉強会の開催、従業員研修の実施						来場者数 (H22: 153,446人) (H26: 157,790人)
							
地域特産品を活用した加工品の開発・販売							
加工品の開発・販売による地産外商							
加工施設の整備に向けた検討 ネット販売の検討	加工施設の整備		ネット販売の実施				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H22: 133,765千円) (H26: 141,938千円)	168,990千円	
運営体制の強化 責任者の配置	出品者勉強会の開催、従業員研修の実施						来場者数 (H22: 153,446人) (H26: 157,790人)
							
地域特産品を活用した加工品の開発・販売							
加工品の開発・販売による地産外商							
加工施設の整備に向けた検討 ネット販売の検討	加工施設の整備		ネット販売の実施				

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓 《東洋町》	有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、ジビエ振興による地域の活性化を図る。	・(株)熊谷ファーム	アクションプランの取組開始:H28		◆加工施設の整備 ◆商品開発と販路拡大
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓 《東洋町》	有害鳥獣であるイノシシやシカなどを活用して、食肉加工のほか町内で未利用となっている魚や野菜と組み合わせたペットフードを生産・販売するための加工施設を整備し、生産・販売体制を確立することにより、ジビエ振興による地域の活性化を図る。	・(株)熊谷ファーム ・(株)マルキョウ	アクションプランの取組開始:H28 ・町の補助金を活用し販促ツール等の作成(H28)		◆加工施設の整備 ◆商品開発と販路拡大
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
加工施設の整備					→	売上高 (H26:0千円)	20,000千円	
施設整備の検討		施設整備		加工体制の強化				
原料確保の強化								
商品開発と販路拡大					→			
新商品開発		商品のブラッシュアップ						
販促ソールの作成		販路開拓とブランド化に向けた取組						



第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
加工施設の整備					→	売上高 (H26:0千円)	20,000千円	
施設整備の検討・整備		加工体制の強化						
原料確保の強化								
商品開発と販路拡大					→			
新商品開発		商品のブラッシュアップ						
販促ソールの作成		販路開拓とブランド化に向けた取組						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 <<奈半利町>></p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>地域資源を活用した加工品をつくるために整備した施設を活用し、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。</p>	<p>・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・奈半利のおかつて加工グループ ・加領郷魚舎加工グループ</p>	<p>アクションプランの取組開始：H26 【JA加工施設(奈半利味噌)】 ・産振補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入(H26) ◆「奈半利味噌」の増産体制が整備された。</p> <p>【農水産加工施設】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の設計及び建設に着手(H27)</p> <p>【水産加工施設】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の設計及び建設に着手(H27)</p>	<p>・加工商品の販路拡大 ・新商品の開発及び販売体制の強化</p>	<p>◆商品づくり</p> <p>◆運営体制の強化</p>



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>14 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進 <<奈半利町>></p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>地域資源を活用した加工品をつくるために整備した施設を活用し、地域特産品の生産と販路の拡大を図るとともに地域の生産者の収入の安定化を目指す。</p>	<p>・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・(一社)なはりの郷 ・NCL48 ・協働女性グループ</p>	<p>アクションプランの取組開始：H26 【JA加工施設(奈半利味噌)】 ・産振補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入(H26) ◆「奈半利味噌」の増産体制が整備された。</p> <p>【農水産加工施設(奈半利のおかつて)】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が奈半利のおかつての指定管理者となる。(H26)</p> <p>【水産加工施設(加領郷魚舎)】 ・新商品の開発及び担い手の人材育成のため、エリアマネジメントを実施(H26) ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が加領郷魚舎の指定管理者となる。(H26)</p>	<p>・加工商品の販路拡大 ・新商品の開発及び販売体制の強化</p>	<p>◆商品づくり</p> <p>◆運営体制の強化</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商品づくり					→	JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(H26:5,140千円)	9,120千円
アドバイザーの活用等による加工商品の磨き上げ						農水産加工施設の売上高(H26:0千円)	9,000千円
販売ルートの開拓					→	水産加工施設の売上高(H26:3,220千円)	12,000千円
後継者の確保及び育成							
運営体制の強化							
人材育成事業の実施							
なんでも市加工グループ法人化							
奈半利のおかってグループ法人化							
加領郷魚舎グループ法人化							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商品づくり					→	JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(H26:5,140千円)	9,120千円
アドバイザーの活用等による加工商品の磨き上げ						農水産加工施設の売上高(H26:0千円)	9,000千円
販売ルートの開拓					→	水産加工施設の売上高(H26:3,220千円)	12,000千円
後継者の確保及び育成							
運営体制の強化							
人材育成事業の実施							
なんでも市加工グループ法人化等の検討							
NCL48の運営体制の整備(法人化等の検討)							
漁協女性グループの運営体制の整備(法人化等の検討)							

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
機能強化・小さな拠点化のための施設整備等					年間売上高(1月～12月) (H26:258,729千円)	400,000千円
今後のあり方検討 基本計画の策定 関係者間の協議	実施計画の策定	具体的な準備・実施				
直販・飲食機能の強化					年間入込数(1月～12月) (H26:221千人)	265千人
課題の洗い出しと改善の取組						
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)						
情報発信機能の強化・交流人口の拡大						
顧客のニーズ把握とインターネット・ガイドマップ等を活用した情報発信						
観光・宿泊施設との連携による情報の共有と誘客及び交流人口拡大のための取組						
人材育成(OJTによる育成、先進地視察等)						
加工品の開発・販売の強化						
加工品開発・販売に向けた態勢づくりと人材育成						
素材の掘り起こし、生産者と連携した加工品づくり						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
機能強化・小さな拠点化のための施設整備等					年間売上高(1月～12月) (H26:258,729千円)	400,000千円
・今後のあり方検討 ・基本計画の策定 ・関係者間の協議	・実施計画の策定	・具体的な準備 事業実施				
直販・飲食機能の強化					年間入込数(1月～12月) (H26:221千人)	265千人
課題の洗い出しと改善						
人材育成(スキルアップ研修、先進地視察等)						
情報発信機能の強化・交流人口の拡大						
顧客のニーズ把握とインターネット・ガイドマップ等を活用した情報発信						
観光・宿泊施設との連携による情報の共有と誘客及び交流人口拡大のための取組						
人材育成(OJTによる育成、先進地視察等)						
加工品の開発・販売の強化						
加工品開発・販売に向けた態勢づくりと人材育成						
素材の掘り起こし、生産者と連携した加工品づくり						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化 《芸西村》	地場産品直販所「かっぱ市」において、安定供給の仕組みを作るとともに、芸西村に開所する集落活動センターと連携し、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、地域経済の活性化につなげる。	・芸西村 ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ	アクションプランの取組開始:H22 ・H23.10月に産業振興総合補助金を活用しリニューアルオープン(H23) ・店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10月～) ・産振アドバイザーの助言による既存商品及び売り場の改善(H25) ・新商品「黒みつ」の販売と、黒みつを使用したかき氷の販売開始(H26) ・店内にイートインコーナー設置(H26) ・東京のアンテナショップ視察研修(H26) ・集荷システムの構築についての検討開始(H27) ・野菜ソムリエ取得講習受講(H27) ◆積極的な研修への参加や活動計画の作成によりサービス向上が図られ、売上増加につながった。	・商品集荷システムの構築による商品不足の解消 ・新商品の開発 ・集落活動センターとの連携	◆安定供給の仕組みづくり ◆新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 ◆地域観光情報の発信 ◆体験メニューの開発・実施
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化 《芸西村》	地場産品直販所「かっぱ市」において、安定供給の仕組みを作るとともに、芸西村に開所する集落活動センターと連携し、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、地域経済の活性化につなげる。	・芸西村 ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ	アクションプランの取組開始:H22 ・H23.10月に産業振興総合補助金を活用しリニューアルオープン(H23) ・店内調理場での弁当等加工品の販売開始(H24.10月～) ・産振アドバイザーの助言による既存商品及び売り場の改善(H25) ・新商品「黒みつ」の販売と、黒みつを使用したかき氷の販売開始(H26) ・店内にイートインコーナー設置(H26) ・東京のアンテナショップ視察研修(H26) ・集荷システムの構築についての検討開始(H27) ・野菜ソムリエ取得講習受講(H27) ・HACCP研修の受講(H28) ◆商品パッケージのリニューアル等により売上が増加した。	・商品集荷システムの構築による商品不足の解消 ・新商品の開発 ・集落活動センターとの連携	◆安定供給の仕組みづくり ◆新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 ◆地域観光情報の発信 ◆体験メニューの開発・実施
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
安定供給の仕組みづくり 集荷システムの検討・営業 時間の検討、試験的实施	見直し・本格的実施開始				売上高 (H22: 87,000千円) (H26: 135,000千円)	200,000千円
新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 検討・試作・テストマーケ ディング	商品化・販売開始	商談会や展示会への出展				
地域観光情報の発信 ホームページ等の整備	ホームページやfacebookでの情報発信・パンフレット設置コーナーの充実					
体験メニューの開発・実施	体験メニューの開発					
体験メニューの実施						
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ			



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
安定供給の仕組みづくり 集荷システムの検討・営業 時間の検討、試験的实施	見直し・本格的実施				売上高 (H22: 87,000千円) (H26: 135,000千円)	200,000千円
新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動 検討・試作・テストマーケ ディング	商品化・販売開始	商談会や展示会への出展				
地域観光情報の発信 ホームページ等の整備	ホームページやfacebookでの情報発信・パンフレット設置コーナーの充実					
体験メニューの開発・実施	体験メニューの開発					
体験メニューの実施						
検証	磨き上げ	検証	磨き上げ			

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
策定した広域観光組織の事業計画(3か年)に基づく基盤整備等の実施 旅行業の取得 マーケティング調査及び分析の実施並びに調査結果に基づく観光戦略づくり					国内主要施設訪問者数(国内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1月~12月) (H27:2,401,821人)	2,606,000人	
観光協会等の機能強化と広域観光組織との連携 観光協会等の機能強化							
戦略的な広報・PR活動の展開 東部地域のホームページ作 旅行エージェント、マスコミ等への戦略的な広報活動の展開及びホームページ、パンフレット等による観光情報の発信強化					国内宿泊者数(1月~12月) (H27:138,229人)	150,000人	
観光クラスターの整備に向けた観光資源の組み合わせによる周遊観光の商品化や観光拠点等の磨き上げ 観光拠点等の磨き上げ <室戸・東洋エリア> 空戸ジオパーク、生見・白浜海岸・吉良川町並みなど <中芸エリア> モネの庭・魚梁瀬森林鉄道遺産、中岡悳太郎館、奈半利海浜センター、安田まちなみ交流館・和、唐浜食わず貝、塩づくり体験ハウス、藤村製紙記念館など <安芸・芸西エリア> 岩崎弥太郎生家、土居蘭中、野良時計、伝承館、琴ヶ浜など 周遊観光の商品化や体験プログラムの磨き上げ							
教育旅行の受入体制の強化、スポーツツーリズムの推進及びインバウンド対策の実施 教育旅行の受入体制の強化による誘客の推進 地域内スポーツ拠点施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備 民泊の推進、人材の養成、インバウンド対策など受入体制の整備							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
東部観光協議会の事業計画(3か年)に基づく基盤整備等の実施 旅行業の登録 マーケティング調査及び分析の実施並びに調査結果に基づく観光戦略づくり マーケティング調査の継続実施及び観光戦略の実施					国内主要施設訪問者数(国内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1月~12月) (H27:2,401,821人)	2,606,000人	
観光協会等の機能強化と東部観光協議会との連携 観光協会等の機能強化・情報共有会議の継続開催による役割分担の明確化及び目標の共有							
戦略的な広報・PR活動の展開 東部地域のホームページ作成 旅行エージェント、マスコミ等への戦略的な広報活動の展開及びホームページ、パンフレット等による観光情報の発信強化					国内宿泊者数(1月~12月) (H27:138,229人)	150,000人	
着地型商品の造成・販売 旅行業の登録 体験プログラムの磨き上げやマーケティング調査結果を活用した東部地域での周遊観光の商品化及び東部地域での観光クラスターづくりへの支援							
教育旅行の受入体制の強化、スポーツツーリズムの推進及びインバウンド対策の実施 教育旅行の受入体制の強化による誘客の推進 地域内スポーツ拠点施設等を活用した大会や合宿等の誘致と施設整備 民泊の推進、人材の養成、インバウンド対策など受入体制の整備							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 修正前	森林鉄道遺産(産業遺産、森の仕事、当時の生活文化等)を中芸地区の新しい地域資源(地域遺産)ととらえ、一般層の利用も視野に入れた活用に取り組み、地域連携を通して、交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会	アクションプランの取組開始:H21 ・旅行会社等によるツアーの催行(H22~) ・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21~23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23~H24) ・ガイドの育成27人(H21~23) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置(H25) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の自主的な活動の充実(H25) ・東部博関連イベントとして魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展及びアート&ライブの実施(H27) ◆魚梁瀬森林鉄道に係る様々なイベントや研究活動等がなされており、林鉄ガイドも中芸地域の体験型観光の一つとして定着している。	・高知家まるごと東部博の成果を活かした更なる情報発信 ・5カ町村の整備・活用に向けた推進体制、仕組みづくり	◆遺産の活用と普及啓発活動 ◆保存活用計画策定後の整備、活用に向けた組織体制及び活用策の検討



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 《奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村》 修正後	森林鉄道遺産(産業遺産、森の仕事、当時の生活文化等)を中芸地区の新しい地域資源(地域遺産)ととらえ、一般層の利用も視野に入れた活用に取り組み、地域連携を通して、交流人口の拡大や文化活動の促進を図る。	・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会	アクションプランの取組開始:H21 ・旅行会社等によるツアーの催行(H22~) ・案内看板、遊歩道、駐車場の設置(H21~23) ・観光用ビデオの作成(H22) ・開通100周年事業の実施(H23~24) ・ガイドの育成27人(H21~23) ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会の設置(H25) ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会の自主的な活動の充実(H25) ・東部博関連イベントとして魚梁瀬森林鉄道ジオラマ展及びアート&ライブの実施(H27) ・保存活用計画策定(H27) ・日本遺産申請に向けた中芸5町村、地域団体、大学等による「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会の設立(H28) ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会による日本遺産認定申請(H28) ◆魚梁瀬森林鉄道に係る様々なイベントや研究活動等がなされており、林鉄ガイドも中芸地域の体験型観光の一つとして定着している。	・高知家まるごと東部博の成果を活かした更なる情報発信 ・5カ町村の整備・活用に向けた推進体制、仕組みづくり	◆遺産の活用と普及啓発活動 ◆保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討

第3期計画					H32以降	指標及び目標			
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)			
遺産の活用と普及啓発活動					→	ツアー等による林鉄ガイド実績 (H26:846人)	1,500人		
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した拠点づくりの検討	拠点施設整備	魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組						拠点施設年間来館者数 (H26:0人)	1,000人
遺構見学ツアー等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動									
大学連携事業を契機とした全国に向けた情報発信の取組									
保存活用計画策定後の整備、活用に向けた組織体制及び活用策の検討									
計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり									



第3期計画					H32以降	指標及び目標			
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)			
遺産の活用と普及啓発活動					→	ツアー等による林鉄ガイド実績 (H26:846人)	1,500人		
魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した拠点づくりの検討	拠点施設整備	魚梁瀬森林鉄道ジオラマを活用した交流人口の拡大に向けた取組						拠点施設年間来館者数 (H26:0人)	1,000人
遺構見学ツアー等の実施と森林鉄道のネットワークを活用した普及・啓発活動									
大学連携事業を契機とした全国に向けた情報発信の取組									
日本遺産認定申請に向けた取組	日本遺産認定後の活用								
保存活用計画策定後の整備及び活用策の検討									
計画に基づく施設整備等、保存と活用を支える仕組みづくり									

修正項目(案)




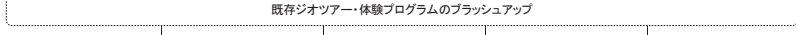
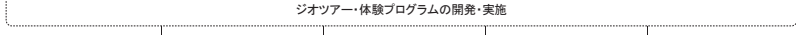




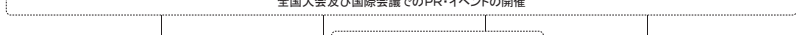
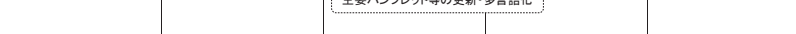


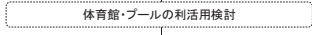
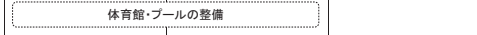


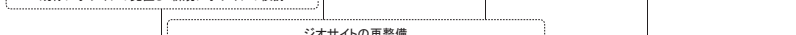
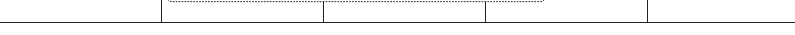
【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や旅行商品開発に取り組み交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~27) ・ガイド養成講座等の実施(H21~27) ・世界ジオパーク認証(H23) ・日本ジオパーク全国大会の開催(H24) ・室戸世界ジオパークセンターの整備(H25~26) ・室戸世界ジオパークセンターオープン(H27) ・世界ジオパーク再認定(H27) ◆日本ジオパーク全国大会(参加者:約2,200人)を開催し、宿泊・食事利用等の経済効果や地域住民との連携が図られるとともに、室戸ジオパークの理解が促進された。 また、ジオパークの拠点となる「室戸世界ジオパークセンター」の整備により、受入体制が強化された。	・受入体制の強化 ・ジオパークセンターの整備 ・ジオサイトの見直し	◆ガイド育成 ◆ジオツアー・体験プログラムの推進 ◆情報発信、国際交流 ◆ジオパークセンターの整備 ◆サイト整備
修正前					




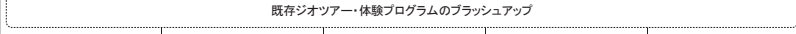
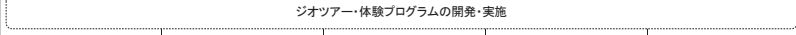
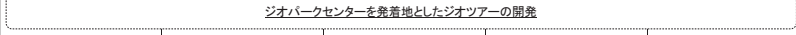



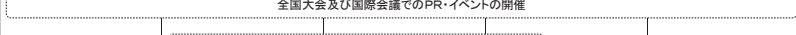
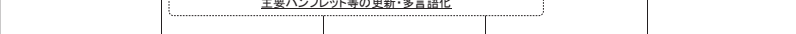


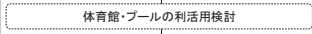




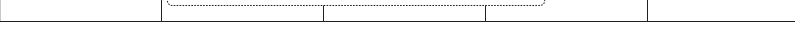


【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興 《室戸市》	世界ジオパークに認証された室戸ジオサイトにおける受入体制の整備や旅行商品開発に取り組み交流人口の拡大を図る。	・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会	アクションプランの取組開始:H21 ・看板や遊歩道、駐車場などの環境整備(H21~27) ・ガイド養成講座等の実施(H21~27) ・世界ジオパーク認証(H23) ・日本ジオパーク全国大会の開催(H24) ・室戸世界ジオパークセンターの整備(H25~26) ・室戸世界ジオパークセンターオープン(H27) ・世界ジオパーク再認定(H27) ◆日本ジオパーク全国大会(参加者:約2,200人)を開催し、宿泊・食事利用等の経済効果や地域住民との連携が図られるとともに、室戸ジオパークの理解が促進された。 また、ジオパークの拠点となる「室戸世界ジオパークセンター」の整備により、受入体制が強化された。 ジオパークガイド利用者数 H27: 15,888人 室戸世界ジオパークセンター来場者数 H27:103,065人 ・観光アドバイザーによる館内ガイド接遇研修実施(H26) ・土佐の観光創生塾に参加(H27:5人)	・受入体制の強化 ・ジオパークセンターの整備 ・ジオサイトの見直し	◆ガイド育成 ◆ジオツアー・体験プログラムの推進 ◆情報発信、国際交流 ◆ジオパークセンターの整備 ◆サイト整備
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					ジオパークガイド利用者数 (H28:7,869人)	10,000人
						
					室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H28:0人)	70,000人
						
						
						
						
 						
						
						
						
						
 						
						
						
						
						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					ジオパークガイド利用者数 (H28:7,869人)	10,000人
						
					室戸世界ジオパークセンター入館者数 (H28:0人)	70,000人
						
						
						
						
 						
						
						
						
						
 						
						
						
						
						

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 体制強化と人材育成 新規プログラムの開発 オリジナルグッズの開発 施設の磨き上げ ともむ内全施設が連携した情報発信					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22:22,181人) (H26:24,431人)	31,000人
室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 教育旅行の受入 魅力ある店舗づくりと広報・宣伝活動						
「貝類等収穫体験」の施設整備 施設整備に向けた検討 施設整備 規模拡大に向けた検討 体験プログラムの実施と広報・宣伝活動						
ダイビング事業展開に向けた施設整備等 施設整備の検討 施設整備 漁業関係者との調整 テナント募集・広報 運営体制の検討 ダイビング事業実施 ダイビングショップへの情報発信						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
室戸ドルフィンセンターの広報・営業力強化 体制強化と人材育成 新規プログラムの開発 オリジナルグッズの開発 施設の磨き上げ ともむ内全施設が連携した情報発信					室戸ドルフィンセンター来場者数 (H22:22,181人) (H26:24,431人)	31,000人
室戸黒潮協同組合(ちばうま八、くじらはま)の機能強化 教育旅行の受入 魅力ある店舗づくりと広報・宣伝活動						
「貝類等収穫体験」の施設整備 施設整備に向けた検討 施設整備 規模拡大に向けた検討 体験プログラムの実施と広報・宣伝活動						
ダイビング事業展開に向けた施設整備等 施設整備の検討 施設整備 関係者との調整 テナント募集・広報 運営体制の検討 ダイビング事業実施 ダイビングショップへの情報発信(ダイビングスポット)						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 藤村製絲を活用した観光振興 《奈半利町》	藤村製絲記念館を活用した観光振興に取り組むことにより、交流人口の拡大を図る。	・藤村製糸(株) ・奈半利町 ・なはり観光文化協会	アクションプランの取組開始・H26 ・高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、観光拠点施設となる藤村製絲記念館を建設(H26)	・藤村製絲記念館の活用拡大 ・関係機関との連携 ・広報等の強化	◆記念館の活用拡大
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 藤村製絲を活用した観光振興 《奈半利町》	藤村製絲記念館を活用した観光振興に取り組むことにより、交流人口の拡大を図る。	・藤村製糸(株) ・奈半利町 ・(一社)なはりの郷	アクションプランの取組開始・H26 ・高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、観光拠点施設となる藤村製絲記念館を建設(H26) ・奈半利町集落活動センター(なはりの郷)が事業主体となり、高知県観光拠点等整備事業費補助金を活用し、新たに観光案内看板、観光ガイドブック、町歩きマップ、展示用パネルを整備(H28)	・藤村製絲記念館の活用拡大 ・関係機関との連携 ・広報等の強化	◆記念館の活用拡大
修正後					

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
記念館の活用拡大 観光資源としての磨き上げ					→	来館者数(1月～12月) (H26:0人)	1,500人
新たな広域観光組織等と連携した誘客活動の強化							
町内ガイド組織との連携		町並みガイド等での活用拡大					
観光パンフレットの作成やホームページ等による情報発信の強化							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
記念館の活用拡大 観光資源としての磨き上げ					→	来館者数(1月～12月) (H26:0人)	1,500人
(一社)高知県東部観光協議会等と連携した誘客活動の強化							
町内ガイド組織との連携		町並みガイド等での活用拡大					
住民とのワークショップ による観光施策の検討	観光パンフレットの作成やホームページ等による情報発信の強化						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)	北川村温泉、北川村「モノの庭」マルモッタン及び中岡慎太郎関連施設の北川村観光3施設で実施するイベントの開催に関する広告宣伝や営業活動の強化等に取り組むことにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。	・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・中岡慎太郎先生顕彰会	【北川村「モノの庭」マルモッタン】 アクションプランの取組開始：H23年度 ・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22～23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23～) ・庭園整備(H22、H23) ・新支配人の着任(H25) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25～) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2～H22.1 60,040人 H22.2～H23.1 53,369人 H23.2～H24.1 59,101人 H24.2～H25.1 55,288人 H25.2～H26.1 56,281人 H26.2～H27.1 54,115人 H27.2～H28.1 66,533人 【北川村温泉】 アクションプランの取組開始：H26年度 ・北川村温泉リニューアル基本計画策定(H25) ・基本設計及び実施設計(H26) ・北川村温泉改修工事のため閉館(H27.8月～)	・東部博終了を踏まえた誘客対策の強化 ・県外での認知度の向上 ・外国人観光客の受入態勢の強化 ・3施設の連携強化	◆高知県内を中心に日帰り可能地域を対象とした広告宣伝と営業活動 ◆3施設の連携強化、各施設の磨き上げ ◆観光拠点としての温泉施設の整備 ◆県博覧会と連携した中岡慎太郎関連施設の集客の拡大

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)	北川村温泉、北川村「モノの庭」マルモッタン及び中岡慎太郎関連施設の北川村観光3施設で実施するイベントの開催に関する広告宣伝や営業活動の強化等に取り組むことにより、集客力を高め、交流人口の拡大を図る。	・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会	【北川村「モノの庭」マルモッタン】 アクションプランの取組開始：H23年度 ・旧ワイナリーを多目的ホールへ改修(H22) ・TVや専門誌等様々な広告媒体を用いたPR(H22～23) ・経営コンサルタントのアドバイスを受けたコスト削減への取組(H23～) ・庭園整備(H22、H23) ・接客アドバイザーによる接客マナー研修の実施(H25～) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、飲食施設の再建、魅力向上) ・モノの庭レストラン改修(H28) ◆入園者数(決算期の毎年2月から翌年1月までの年間入園者数) H21.2～H22.1 60,040人 H22.2～H23.1 53,369人 H23.2～H24.1 59,101人 H24.2～H25.1 55,288人 H25.2～H26.1 56,281人 H26.2～H27.1 54,115人 H27.2～H28.1 66,533人 H28.2～H28.11 57,247人 【北川村温泉】 アクションプランの取組開始：H26年度 ・北川村温泉リニューアル基本計画策定(H25) ・基本設計及び実施設計(H26) ・北川村温泉改修工事のため閉館(H27.8月～) 【中岡慎太郎関連施設】 ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、観光ガイドやイベント企画など)	・東部博終了を踏まえた誘客対策の強化 ・県外での認知度の向上 ・外国人観光客の受入態勢の強化 ・3施設の連携強化	◆3施設のターゲットに応じたプロモーション活動 ◆3施設の連携強化、各施設の磨き上げ ◆温泉施設の整備及び利活用

修正後

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
高知県内を中心に日帰り可能地域を対象とした広告宣伝と営業活動					→	各施設入園(館)者 合計数 (H26:80,983人) ※内訳 モネの庭 53,174人 (H26.4~H27.3) 北川村温泉 21,682人 中岡慎太郎館 6,127人	100,000人 ※内訳 モネの庭 65,000人 北川村温泉 28,000人 中岡慎太郎館 7,000人
マスコミへの情報提供、タウン誌やパンフレット、ロコミ等を使った広告営業活動							
各施設イベントの充実や3施設での連携イベントの企画、開催							
3施設の連携強化、各施設の磨き上げ							
観光クラスター整備による3施設連携強化					→		
外国人観光客対応等各施設の課題に向けた取組(wi-fi整備、多言語看板の整備)							
観光拠点としての温泉施設の整備					→		
温泉施設の整備		観光拠点施設としての集客の取組					
県博覧会と連携した中岡慎太郎関連施設の集客の拡大					→		
年2~3回の企画展の開催、企画展に付随した講演会の開催							
博覧会との連携(サテライト会場)							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
3施設のターゲットに応じたプロモーション活動					→	各施設入園(館)者 合計数 (H26:80,983人) ※内訳 モネの庭 53,174人 (H26.4~H27.3) 北川村温泉 21,682人 中岡慎太郎館 6,127人	108,000人 ※内訳 モネの庭 70,000人 北川村温泉 28,000人 中岡慎太郎館 10,000人
ターゲット(エリア別、属性、季節別)に応じたプロモーション方法の検討							
ターゲット別プロモーション活動の展開 (マスコミ、タウン誌、ロコミ、SNS、ブローガー、レストランなどの活用)					→		
3施設の連携強化、各施設の磨き上げ							
3施設の周遊の仕組みづくりの検討 (周遊マップの作成、レンタサイクル、スタンプラリー等「志国高知 幕末維新博」と連携したイベントの開催)					→		
3施設の周遊の仕組みの実践と磨き上げ (実施→課題の洗い出し→磨き上げ)							
外国人観光客受入促進のための施設整備等 (Wi-Fi整備、多言語看板の整備等)					モネ開園20周年に向けたPR施策づくり	モネ開園20周年イベントの開催(H32)	
温泉施設の整備及び利活用					→		
実施設計		施設の整備					
集客に向けた取組 (リニューアルオープン告知、パンフレットの作成、施設周辺での体験プログラムの提供など)							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 旧椎名小学校を活用した地域振興 《室戸市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	旧椎名小学校の改修にあわせてミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースなどを整備するとともに、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図るため集落活動センター設置に向けて取り組む。	・室戸市 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大敷組合	アクションプランの取組開始:H27 ・椎名小学校利活用検討委員会(3回) ・地元説明会(H27.9.10)	・施設の利活用及び運営体制の検討 ・ウミガメ協議会や椎名大敷組合との連携 ・住民の組織づくり ・外部人材の活用	◆施設整備 ◆集落活動センターの設置 ◆情報発信



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 旧椎名小学校を活用した地域振興 《室戸市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	旧椎名小学校の改修にあわせてミニ水族館、標本などの模型の展示、魚さばき体験スペースなどを整備するとともに、住民主体の活動を促進し、地域の課題解決や交流人口の拡大を図るため集落活動センター設置に向けて取り組む。	・室戸市 ・地域住民団体(椎名常会) ・椎名大敷組合 ・民間事業者	アクションプランの取組開始:H27 ・椎名小学校利活用検討委員会(H27.3回) ・地元説明会(H27.9) ・地域住民との先進地視察(H28.5) ・地区住民によるワークショップ(H28.7)	・施設の利活用及び運営体制の検討 ・ウミガメ協議会や椎名大敷組合との連携 ・住民の組織づくり ・外部人材の活用	◆施設整備 ◆集落活動センターの設置 ◆情報発信

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
施設整備 施設の改修							
管理運営体制の検討							
集落活動センターの設置 住民の組織づくり	事業内容の検討		事業活動の展開				
外部人材の活用							
情報発信 PR方法の検討		広報・PRの実施					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
施設整備 施設の改修		魚類等の展示と体験プログラムの実施					
管理運営体制の検討							
集落活動センターの設置 住民の組織づくり	事業内容の検討		事業活動の展開				
			外部人材の活用				
情報発信 PR方法の検討		広報・PRの実施					

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり 《安芸市》	安芸市東川地区の資源を活用した加工品の開発や、農産物の販路の拡大を通じて所得の向上を図るとともに、交流人口の拡大や移住促進の取組を通じて、持続可能な集落づくりを目指す。	・東川地域おこし協議会 ・かまん企画	アクションプランの取組開始:H26 ・集落活動センター「かまん東川」の開設(H25.9月) ・地域おこし協力隊による地域資源を活用した商品開発(紅茶やはちみつ等)や東京等での商品販売(H26) ・東川若いもんグループによるモニターツアー等イベントの企画、運営(H26~H27) ・東川ふれあい市の開催(H26~) ・HPの立ち上げ(H26) ・フェイスブックでの情報発信(H26~) ・入河内集落内の空き家調査(H26) ◆地域おこし協力隊により、地域資源を活用した新たな商品が出来た。また、HPやフェイスブックでの情報発信、新たな交流イベントの実施等により、地域外の方に関心を持ってもらえる機会が増えた。	・活動を収入につなげていく仕組みづくり ・集落活動センターの体制強化 ・地域資源を活用した加工品や農産物の販路の拡大 ・地域おこし協力隊への定住支援 ・移住促進に向けた住居の確保 ・交流イベントの内容充実と参加者の確保	◆地域資源を活用した新商品の開発 ◆農産物等の販路拡大 ◆交流人口の拡大 ◆移住促進への取組
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 集落活動センター「かまん東川」を拠点とした魅力ある地域づくり 《安芸市》	安芸市東川地区の資源を活用した加工品の開発や、農産物の販路の拡大を通じて所得の向上を図るとともに、交流人口の拡大や移住促進の取組を通じて、持続可能な集落づくりを目指す。	・東川地域おこし協議会 ・かまん企画	アクションプランの取組開始:H26 ・集落活動センター「かまん東川」の開設(H25.9月) ・地域おこし協力隊による地域資源を活用した商品開発(紅茶やはちみつ等)や東京等での商品販売(H26) ・東川若いもんグループによるモニターツアー等イベントの企画、運営(H26~27) ・東川ふれあい市の開催(H26~) ・HPの立ち上げ(H26) ・フェイスブックでの情報発信(H26~) ・入河内集落内の空き家調査(H26) ◆地域おこし協力隊により、地域資源を活用した新たな商品が出来た。また、HPやフェイスブックでの情報発信、新たな交流イベントの実施等により、地域外の方に関心を持ってもらえる機会が増えた。 ・任期を終えた元地域おこし協力隊(かまん企画)が中山間地域の買物困難者に対する支援として、移動販売事業を開始	・活動を収入につなげていく仕組みづくり ・集落活動センターの体制強化 ・地域資源を活用した加工品や農産物の販路の拡大 ・地域おこし協力隊への定住支援 ・移住促進に向けた住居の確保 ・交流イベントの内容充実と参加者の確保	◆地域資源を活用した新商品の開発 ◆農産物等の販路拡大 ◆交流人口の拡大 ◆移住促進への取組
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活用した新商品の開発					→	入河内大根生産量 (H26:3,000本)	5,000本
商品開発(新商品、ギフトセット等)							
販路拡大(ネット販売)							
販売体制の整備、東川のブランド作り							
農産物等の販路拡大					→	交流イベント参加者数 (H26:350人)	450人
入河内大根の栽培方法確立							
入河内大根生産拡大、販路拡大、加工品の検討							
交流人口の拡大					→	交流イベント参加者数 (H26:350人)	450人
交流イベントのブラッシュアップ、参加者との繋がりを継続できる取組の検討							
憩いの家の活用方法について検討・施設の改修等							
移住促進への取組					→	入河内大根生産量 (H26:3,000本)	5,000本
空き家を移住促進住宅へ改修		移住促進住宅の開設、移住者の受入					
空き家活用に向けた取組(掘り起こし、交渉)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域資源を活用した新商品の開発					→	入河内大根生産量 (H26:3,000本)	5,000本
商品開発(新商品、ギフトセット等)							
販路拡大(ネット販売)							
販売体制の整備、東川のブランド作り							
農産物等の販路拡大					→	交流イベント参加者数 (H26:350人)	450人
入河内大根の栽培方法確立							
入河内大根生産拡大、販路拡大、加工品の検討							
交流人口の拡大					→	交流イベント参加者数 (H26:350人)	450人
交流イベントのブラッシュアップ、参加者との繋がりを継続できる取組の検討							
憩いの家の活用方法について検討・施設の改修等							
移住促進への取組					→	入河内大根生産量 (H26:3,000本)	5,000本
空き家を移住促進住宅へ改修		移住促進住宅の開設、移住者の受入					
空き家活用に向けた取組(掘り起こし、交渉)							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 《奈半利町》	集落活動センターを拠点として、奈半利町内の生産物の増産及び新たな加工品の企画・開発を促進するとともに、ふるさと納税の取組や情報発信の強化による奈半利ブランドの確立を図ることで、外商や交流人口を拡大し、地域のにぎわいを生み出す。	・奈半利町 ・集落活動センター運営主体	アクションプランの取組開始(H28)		◆拠点整備(集落活動センターの設置) 《地産地消・外商推進部門》 ◆ふるさと納税制度を活用した地産外商の強化 《観光・移住部門》 ◆情報の発信・交流人口の拡大 《社会福祉部門》 ◆住民の集いの場、生きがいがづくり 《一次産業部門》 ◆一次産業の振興
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 《奈半利町》	集落活動センターを拠点として、奈半利町内の生産物の増産及び新たな加工品の企画・開発を促進するとともに、ふるさと納税の取組や情報発信の強化による奈半利ブランドの確立を図ることで、外商や交流人口を拡大し、地域のにぎわいを生み出す。	・奈半利町 ・(一社)なはりの郷	アクションプランの取組開始(H28) 【運営主体の取組】 ・集落活動センターなはりの郷活性化協議会設立(H27) ・(一社)なはりの郷設立(H27) ・集落活動センターなはりの郷開所(H27) ・奈半利駅構内、旧弘瀬家住宅、奈半利町海浜センター、奈半利のおかって、加領郷魚舎の指定管理の開始(H28) ・奈半利駅物産館無花果の運営の開始(H28) ・通販事業の開始(H28) ・奈半利町観光推進事業の実施(H28) ・農作業受委託のオペレーター受託(H28) ・農作物の生産開始(H28) 【外部人材の導入】 ・集落活動センター推進アドバイザー制度の活用(H28、センター事業の実施計画策定と実施体制の整備) ・産業振興アドバイザー制度の活用(H28、適正な会社の仕組みづくり)	事業運営体制の構築	◆拠点整備(集落活動センターの設置) 《地産地消・外商推進部門》 ◆ふるさと納税制度を活用した地産外商の強化 《観光・移住部門》 ◆情報の発信・交流人口の拡大 《社会福祉部門》 ◆住民の集いの場、生きがいがづくり 《一次産業部門》 ◆一次産業の振興
修正後					

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
拠点整備(集落活動センターの設置)					→		
仕組みづくり・活動の検討	活動の展開と見直し改善						
ふるさと納税制度を活用した地産外販の強化					→		
ふるさと納税返礼品手配事業の受託							
奈半利ブランドの確立のための商品開発、外販機能の強化及び町産品のPR等							
情報の発信・交流人口の拡大					→		
奈半利町観光協会の役割							
移住の促進(相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理)							
住民の集いの場、生きがいづくり					→		
住民サロンの運営、高齢者の生きがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討							
一次産業の振興					→		
農業複合拠点に向けた協議会の場での検討	農機具の貸出・作業受委託等、検討を踏まえた取組						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
拠点整備(集落活動センターの設置)					→	集出荷センター取扱 高 (H27.7月～H28.6月: 2億円)	3億円
仕組みづくり・活動の検討	活動の展開と見直し改善						
ふるさと納税制度を活用した地産外販の強化					→		
ふるさと納税返礼品手配事業の受託							
奈半利ブランドの確立のための商品開発、外販機能の強化及び町産品のPR等							
集出荷センターの整備							
情報の発信・交流人口の拡大					→		
奈半利町観光推進事業の実施							
移住の促進(相談窓口の設置、空き家バンク、モニターハウスの管理)							
住民の集いの場、生きがいづくり					→		
住民サロンの運営、高齢者のいきがいづくり活動等、社会福祉部門との連携策の検討							
一次産業の振興					→		
中山間農業複合経営拠点稼働に向けた運営委員会での検討	農機具の貸出・作業受委託・新規就農者受入等の取組						
農作物の生産							

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
旧中山小中学校を活用した多機能総合交流拠点施設の整備					→	交流人口 (H26:3,329人)	3,600人
活用策の検討						じねんレジ通過者 (H26:25,711人)	28,000人
	温泉本掘作業					集落活動センター利用者数 (H26.12月～H27.3月:689人)	3,200人
	施設整備	施設を活用した地域のにぎわいづくり					
集落活動センターの取組の充実					→		
地域福祉活動・支え合いの推進(集いの場・健康づくり活動等の発展と継続)							
大学連携事業による地域の活性化							
耕作放棄地の解消に向けた取組や空き家情報の収集活動							
観光資源の発掘と磨き上げ(魚梁瀬森林鉄道や郷土出身の維新の志士等の資源活用)	観光資源の活用による県観光博覧会との連携		観光素材として定着化に向けた取組の継続				
経済的自立に向けた取組					→		
自然蓄栽培拡大							
規格外品の加工、販売、販路の開拓							
ふるさと応援隊による特産品開発、販売							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
旧中山小中学校を活用した多機能総合交流拠点施設の整備					→	交流人口 (H26:3,329人)	3,600人
活用策の検討		施設整備(段階的に整備)				じねんレジ通過者 (H26:25,711人)	28,000人
		施設を活用した地域のにぎわいづくり				集落活動センター利用者数 (H26.12月～H27.3月:689人)	3,200人
集落活動センターの取組の充実					→		
地域福祉活動・支え合いの推進(集いの場・健康づくり活動等の発展と継続)							
大学連携事業による地域の活性化							
耕作放棄地の解消に向けた取組や空き家情報の収集活動							
観光資源の発掘と磨き上げ(魚梁瀬森林鉄道や郷土出身の維新の志士等の資源活用)	観光資源の活用による「志国高知 暮末維新博」との連携		観光素材として定着化に向けた取組の継続				
経済的自立に向けた取組					→		
自然蓄栽培拡大							
規格外品の加工、販売、販路の開拓							
ふるさと応援隊による特産品開発、販売							

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 北川村中部地区の活性化プロジェクト 《北川村》	北川村中部地区の集落活動の展開と北川村温泉の改修を契機とした誘客の強化により、交流人口を拡大することで、中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	・アクションプランの取組開始：H26 ・地場産品を販売する温泉直販市の設置(H25～) ・休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26～) ・温泉レストランでの地元産品の活用(H26)	・地域住民の高齢化にともなう人手不足 ・交流人口増加 ・中部地区集落活動協議会事務局体制の強化 ・地域住民の団結力や参画意識の醸成	◆地域交流活動の展開 ◆北川村温泉との連携 ◆田舎暮らし体験、移住促進への取組
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 北川村中部地区の活性化プロジェクト 《北川村》	北川村中部地区の集落活動の展開と北川村温泉の改修を契機とした誘客の強化により、交流人口を拡大することで、中山間地域の振興を図る。	・北川村 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・北川村観光協会	・アクションプランの取組開始：H26 ・地場産品を販売する温泉直販市の設置(H25～) ・休耕田の整地と花畑作り、イベントの開催(H26～) ・温泉レストランでの地元産品の活用(H26) ・ <u>地域産品を活かしたイベントの開催(H28)</u>	・地域住民の高齢化にともなう人手不足 ・交流人口増加 ・中部地区集落活動協議会事務局体制の強化 ・地域住民の団結力や参画意識の醸成	◆地域交流活動の展開 ◆北川村温泉との連携 ◆田舎暮らし体験、移住促進への取組
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域交流活動の展開					→	交流イベント参加者数 (H27:400人)	700人
休耕田を活用した花畑づくりや関連イベントの企画、開催							
地域おこし協力隊導入の検討	地域おこし協力隊の活用						
新たな活動の掘り起こし							
北川村温泉との連携					→		
温泉施設のリニューアル工事	温泉での直販コーナー運営等、温泉と地域との連携イベントの開催						
温泉再開後の活動の検討	チラシ、ホームページ、マスコミ等を活用したイベントに係る情報発信						
田舎暮らし体験、移住促進への取組					→		
小島地区への移住お試し住宅整備の検討	ホームページやマスコミ等を活用した移住お試し住宅のPR・活用						
田舎暮らし体験メニューづくり(ゆず収穫、鮎釣り、田舎寿司づくり、民泊、家庭菜園等)							
空家の掘り起こしと改修							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域交流活動の展開					→	交流イベント参加者数 (H27:400人)	700人
休耕田を活用した花畑づくりや関連イベントの企画、開催							
地域おこし協力隊導入の検討と公募	地域おこし協力隊の活用						
新たな活動の掘り起こし							
北川村温泉との連携					→		
温泉施設のリニューアル工事	チラシ、ホームページ、マスコミを活用した情報発信						
温泉再開後の北川村中部地区集落活動協議会の活動の検討	温泉での直販コーナー運営等、温泉と地域との連携イベントの開催						
田舎暮らし体験、移住促進への取組					→		
小島地区への移住お試し住宅整備の検討と改修工事	移住お試し住宅のPRと利活用(マスコミ、ホームページ、移住相談会での広報)						
田舎暮らし体験メニューづくり(ゆず収穫、鮎釣り、田舎寿司づくり、家庭菜園等)	体験メニューの実施・ブラッシュアップ						

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 《馬路村》	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会)	アクションプランの取組開始:H26 ・魚梁瀬ふるさと応援隊2人の採用(H26) ・ふるさと応援隊による魚梁瀬バスポート、雑祭りなど交流人口の拡大に向けた活動の開始(H26) ◆ふるさと応援隊がイベントや勝客の仕組みづくりを企画し、交流人口の拡大に向けた取組を行っている。地域住民もイベントに参加し、取組への参加意識が醸成されつつある。	・住民組織の活性化 ・ふるさと応援隊による地域の巻き込み、住民との連携(リーダー・担い手の確保、育成) ・新たな外部人材の導入による体制の強化	◆外部人材の導入と住民組織づくり ◆観光資源の発掘と住民主体の活動による資源の磨き上げ ◆新産業創出に向けた調査研究 ◆魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化

修正前



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 馬路村魚梁瀬地区の活性化プロジェクト 《馬路村》	馬路村魚梁瀬地区の資源と人材を有機的に結合させ、交流人口の拡大と新ビジネスの創出を目標とした事業を展開する。	・馬路村 ・魚梁瀬地区住民団体(自治会)	アクションプランの取組開始:H26 ・魚梁瀬ふるさと応援隊2人の採用(H26) ・ふるさと応援隊による魚梁瀬バスポート、雑祭りなど交流人口の拡大に向けた活動の開始(H26) ・農業振興センター、森林技術センターと連携した地域資源調査の開始(H26) ◆ふるさと応援隊による交流人口の拡大に向けた取組や魚梁瀬50年記念イベントの開催を通じて、地域住民の参加意識が醸成されつつある。	・住民組織の活性化 ・ふるさと応援隊による地域の巻き込み、住民との連携(リーダー・担い手の確保、育成) ・新たな外部人材の導入による体制の強化	◆外部人材の導入と住民組織づくり ◆地域資源を活用した産業おこし ◆魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
外部人材の導入と住民組織づくり					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
高知ふるさと応援隊の追加導入							
高知ふるさと応援隊による地域活性化、観光振興、生活支援等の活動							
応援隊と住民による地区活性化に向けた定期的な話し合い							
地域活性化に向けた地域住民、小中学校、村役場協働の組織づくりとその運営							
土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
観光資源の発掘と住民主体の活動による資源の磨き上げ							
住民主体によるやな漁実施に向けた準備							
やな漁の継続開催による観光客の定着							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘							
新産業創出に向けた調査研究					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
以前に行ったワークショップや調査等の整理							
資源の有効活用(資源のリスタアップ)							
事業化検討(人材の確保・育成、視察研修)					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
事業計画策定							
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化							
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進							
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
外部人材の導入と住民組織づくり					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
高知ふるさと応援隊の追加導入							
高知ふるさと応援隊による地域活性化、観光振興、生活支援等の活動							
応援隊と住民による地区活性化に向けた定期的な話し合い							
地域活性化に向けた地域住民、小中学校、村役場協働の組織づくりとその運営							
土佐MBA等を活用した、新たな人材の発掘と育成					山村留学による魚梁 瀬地区への転入 (H26:4組)	5組 (H28～31累計)	
地域資源を活用した産業おこし							
魚梁瀬50年記念行事を契機とした地域活性化の取組							
観光資源の磨き上げと新たな素材発掘							
農業・林産等の資源の有効活用に向けた検討(資源のリスタアップ)							
事業化検討(人材の確保・育成、視察研修)					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
事業の試行による課題抽出・改善							
事業計画策定							
事業の本格実施					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	
魚梁瀬小中学校山村留学制度の拡充、強化							
山村留学の多様な受け入れ方法等の検討及び情報発信							
学校・地域と連携した山村留学の実施・移住促進					丸山公園魚梁瀬森林 鉄道利用者数 (H24～26平均値: 1,523人)	1,830人以上	

修正項目(案)

【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり 《芸西村》	村内で活躍する住民が集落活動センターを中心に集結し、村産品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に取り組むことにより、村の強みを活かし、地域活性化を図る。	・芸西村 ・集落活動センター 運営主体	アクションプランの取組開始：H28		◆地域情報発信 ◆観光協会機能 ◆移住・定住サポート ◆特産品づくりと外商活動 ◆生きがいがづくりと生活支援
修正前					



【安芸地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり 《芸西村》	村内で活躍する住民が集落活動センターを中心に集結し、村産品の加工品づくりや磨き上げ、観光資源の発掘や活用等に取り組むことにより、村の強みを活かし、地域活性化を図る。	・芸西村 ・芸西村集落活動センター推進協議会	アクションプランの取組開始：H28 【運営主体の取組】 ・集落支援員導入(H27) ・芸西村集落活動センター推進協議会設立(H27) ・集落活動センター「げいせい」開所(H27) ・事務所開設(H28) ・定例会・部会の開催(H28～) 【外部人材の導入】 ・集落活動センター推進アドバイザー制度の活用(H28) ◆定例会・部会の開催により、地域の意見や課題の抽出が行われ、新規事業として耕作放棄地のサトウキビ栽培と住民の集いの場づくりの取組が始まった。また、地域住民の取組への参加意欲も醸成されつつある。	・集落活動センターの円滑な運営の継続 ・地域住民の参画	◆地域情報の発信 ◆移住・定住サポート ◆特産品づくりと外商活動 ◆生きがいがづくりと生活支援
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
地域情報発信 PR方法検討		PRの実施				
観光協会機能		村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営				
移住・定住サポート 空き家掘り起こし		移住相談会等への参加・情報発信				
特産品づくりと外商活動 加工施設の検討	加工施設の建設・運営・特産品開発		外商活動			
生きがいつくりと生活支援 調査・内容検討		活動の展開				



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
地域情報の発信 PR方法検討		PRの実施			サトウキビ収穫量 (H27:0t)	5t
観光協会機能		村内外のイベントへの出展・イベントの企画運営				
移住・定住サポート 空き家掘り起こし		移住相談会等への参加・情報発信			移住世帯数 (H24~27:3世帯)	5世帯 (H28~31累計)
特産品づくりと外商活動 加工施設の検討	加工施設の建設・運営・特産品開発		外商活動			
生きがいつくりと生活支援 調査・内容検討		活動の展開				

平成 29 年度物部川地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

物部川地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）と第

No.	平成28年度	南国市	香南市	香美市
		13	11	8
1	ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」		●	●
2	南国市の園芸基幹品目シシトウの振興	●		
3	還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化	●		
4	エメラルドメロンの販売力向上対策		●	
5	生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策			●
6	「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上	●		
7	「ごとおち市」の売上拡大による農家所得の向上	●		
8	地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化	●		
9	農園レストランによる地域食材の消費拡大	●		
10	加工品販売による夜須地域の活性化		●	
11	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組	●		
12	ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業	●		
13	民有林における原木の増産	●	●	●
14	シイラ等の加工商材活用		●	
15	地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～	●		
16	海洋堂ファクトリーと連携・連動した「ごめん」の賑わいづくり	●		
17	地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化		●	
18	香南市の地場産品販売促進		●	
19	香南市の商業振興への取組		●	①削除
20	香美市における特産品づくりの推進			●
21	地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興			●
22	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
23	広域観光の取組の推進	●	●	●
24	南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進	●		
25	体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信		●	
26	三宝山プロジェクト		●	
27	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●

3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表

【物部川地域】

南国市	香南市	香美市	No.	平成29年度
13	10	8		
	●	●	1	ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」
●			2	南国市の園芸基幹品目シシトウの振興
●			3	還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化
	●		4	エメラルドメロンの販売力向上対策
		●	5	生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策
●			6	「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上
●			7	「ごとおち市」の売上拡大による農家所得の向上
●			8	地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化
●			9	農園レストランによる地域食材の消費拡大
	●		10	加工品販売による夜須地域の活性化
●			11	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組
●			12	ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業
●	●	●	13	民有林における原木の増産
	●		14	シイラ等の加工商材活用
●			15	地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～
①拡充	●		16	海洋堂ファクトリーと連携・連動した「ごめん」の賑わいづくり
	●		17	地域産品を活用したヤ・シイパークを核とする地域の活性化
	●		18	香南市の地場産品販売促進
②拡充		●	19	香美市における特産品づくりの推進
		●	20	地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興
		●	21	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化
●	●	●	22	広域観光の取組の推進
●			23	南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進
	●		24	体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信
	●		25	三宝山プロジェクト
③拡充		●	26	香美市における滞在型・体験型観光の推進

物部川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 19 香南市の商業振興への取組（香南市） 【実施主体】香南市商工会、香南市内の商業者	取り組みの柱として進めてきたポイントカードの導入を断念し、商業振興に向けた新たな取り組みを再検討することとなったため、地域アクションプランから削除する。

■その他(拡充等)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 16 海洋堂ファクトリーと連携・連動した「ごめん」の賑わいづくり（南国市） 【実施主体】南国市商工会、南国市、南国市中心市街地活性化推進協議会、(株)海洋堂	【拡充】主な内容に、海洋堂ファクトリーの施設整備を追加する。
2	No. 20 香美市における特産品づくりの推進（香美市） 【実施主体】(一社)香美市観光協会、(協) 蕨生の里、奥ものべじじばばあんぜん会、コハマ農産物直販所	【拡充】主な内容に、地域の販売拠点施設の整備を追加するとともに、事業主体に「香美市」を加える。
3	No. 27 香美市における滞在型・体験型観光の推進（香美市） 【実施主体】香美市、(一社)香美市観光協会、地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体	【拡充】ピースフルセレネの改修に伴い、主な内容に、香北エリアを中心とした観光活性化を追加する。


削除項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 香南市の商業振興への取組 《香南市》	「生活情報ガイド」の配布や「コミュニティイベント」の開催及びポイントカード事業の導入により、地域の消費者に対し生活の利便性を提供するとともに、事業者のまとまりを再構築し、事業者が一体となった取組として、地域内での顧客の増加、さらには地域外への商圏拡大を目指す。	・香南市商工会 ・香南市内の事業者	アクションプランの取組開始：H21 ・お店紹介BOOK「香南市の・おいしい・たのしい・うれしい」の発刊（H21、H23） ・コミュニティイベント「香南百貨店おひろめ市」を開催し、事業者自らが店舗PRやアンケートを実施（H22～24） ・消費者及び商店者を対象としたポイントカードの導入に関するアンケートを実施するなど、新しいポイントカード制度導入に向けた調査・検討の実施（H25～） ◆「お店紹介BOOK」の発行が新規顧客の開拓につながった。	・来店客の増加	◆事業者が一体となった取組の推進



削除

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商業者が一体となった取組の推進 ・コミュニティイベントの開催 ・市内外へのPR強化 ・生活情報の提供 ・ポイントカード事業導入 ・新たな取組の検討、実施						ポイントカード事業加盟店舗数 (H27:0店舗)	100店舗(累計)



削除

修正項目(案)


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 海洋堂ファクトリーと連携・運動した「ごめん」の賑わいづくり 《南国市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 10px auto; text-align: center; padding: 2px 5px;">修正前</div>	海洋堂ファクトリーの誘致を契機として、関係者が連携して賑わい創出に取り組むことにより、空き店舗の活用を促進し、商店街の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・南国市商工会 ・南国市 ・南国市中心市街地活性化推進協議会 ・(株)海洋堂 	アクションプランの取組開始:H21 ・軽トラ市の定期的開催(H23～) ・高知農業高校アンテナショップの定期的開催(H25～) ・ごめんよって広場を中心としたイベントの開催(H25～) ・ごめん町イベント実行委員会が組織された(H26) ・後免防災コミュニティセンターの完成(H27) ◆軽トラ市や農業高校アンテナショップも定着し、安定的に集客が行われている。ごめん町イベント実行委員会も各種イベントを行っており、少しずつ賑わいが戻りつつある。	・イベント時の賑わいを日常的な賑わい創出につなげていくために、地域住民を巻き込んでいくこと	◆ビジョンに基づく賑わいの創出 ◆各種イベントの開催や空き店舗の活用等






【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 海洋堂ファクトリーと連携・運動した「ごめん」の賑わいづくり 《南国市》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 10px auto; text-align: center; padding: 2px 5px;">修正後</div>	海洋堂ファクトリーの誘致を契機として、関係者が連携して賑わい創出に取り組むことにより、空き店舗の活用を促進し、商店街の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・南国市商工会 ・南国市 ・南国市中心市街地活性化推進協議会 ・(株)海洋堂 	アクションプランの取組開始:H21 ・軽トラ市の定期的開催(H23～) ・高知農業高校アンテナショップの定期的開催(H25～) ・ごめんよって広場を中心としたイベントの開催(H25～) ・ごめん町イベント実行委員会が組織された(H26) ・後免防災コミュニティセンターの完成(H27) ・(株)海洋堂と南国市が連携協定締結(H28) ・海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」の開催など、海洋堂誘致に向けた気運の醸成(H28) ◆軽トラ市や農業高校アンテナショップも定着し、安定的に集客が行われている。ごめん町イベント実行委員会も各種イベントを行っており、少しずつ賑わいが戻りつつある。	・イベント時の賑わいを日常的な賑わい創出につなげていくために、地域住民を巻き込んでいくこと ・ものづくりサポートセンター建設に向け、管理・運営等を含めた基本計画の策定	◆ビジョンに基づく賑わいの創出 ◆各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ◆施設整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>ビジョンに基づく賑わいの創出</p> <p>市などの関係機関、団体だけでなく、地元・地域を巻き込んだビジョンの実行</p>					<p>空き店舗活用数 (H26:1件(累計))</p>	<p>7件(累計)</p>	
 <p>各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <p>・海洋堂と連携・連動した各種イベントや取組を行う。 ・空き店舗や地域資源を生かしたイベントや取組を行う。</p>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>ビジョンに基づく賑わいの創出</p> <p>市などの関係機関、団体だけでなく、地元・地域を巻き込んだビジョンの実行</p>					<p>空き店舗活用数 (H26:1件(累計))</p>	<p>7件(累計)</p>	
 <p>各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <p>・海洋堂と連携・連動した各種イベントや取組を行う。 ・空き店舗や地域資源を生かしたイベントや取組を行う。</p>							
 <p>施設整備</p> <p>・基本計画の策定 ・基本設計及び実施設計</p> <p>ものづくり、ひとづくり、まちづくりをコンセプトとした拠点施設の整備</p> <p>施設の管理及び運営体制の確立</p>							

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>20 香美市における特産品づくりの推進</p> <p>《香美市》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>地域資源を活用した魅力ある特産品(加工食品)づくりを行うことを通じて、働く場の確保と所得の向上を図る。</p>	<p>・(一社)香美市観光協会 ・(協)産生の里 ・奥ものべじじばばあんぜん会 ・コハマ農産物直販所</p>	<p>・アクションプランの取組開始: H21 ・地域特産品の加工・販売の仕組みづくり(H21~27) ・新たな加工食品の開発・販売(H21~27) ・H21年度から23年度まで香美市地域雇用創造協議会等が中心となり、シカ肉等を使った新商品の開発や地域特産品の県内外への販売促進、ショッピングサイトの開設等を行った。 ・H24年度から香美市雇用創造協議会から事業を継承した(一社)香美市観光協会や食品加工グループが地域内外のイベントに参加し、特産品の販売とPR活動を実施した。また、商談会等にも参加し、販路拡大に取り組んでいる。 ・H26年度からふるさと納税(香美市まちづくり寄附金)者への返礼品のセットとして、シカニクソーセージやじじばばあんぜん会の商品が選定された。 ◆香美市のユズやシカ肉を活用した特産品を開発し、緩やかながら順調な販路拡大に伴い、売上高も増加している。</p>	<p>・特産品開発が必要 ・販路が固定化 ・経営が脆弱 ・後継者が不足</p>	<p>◆特産品開発、販路拡大</p> <p>◆経営安定化、後継者育成</p>



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>19 香美市における特産品づくりの推進</p> <p>《香美市》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>地域資源を活用した魅力ある特産品(加工食品)づくりを行うことを通じて、働く場の確保と所得の向上を図る。</p>	<p>・(一社)香美市観光協会 ・(協)産生の里 ・奥ものべじじばばあんぜん会 ・コハマ農産物直販所 ・香美市</p>	<p>・アクションプランの取組開始: H21 ・地域特産品の加工・販売の仕組みづくり(H21~28) ・新たな加工食品の開発・販売(H21~28) ・H21年度から23年度まで香美市地域雇用創造協議会等が中心となり、シカ肉等を使った新商品の開発や地域特産品の県内外への販売促進、ショッピングサイトの開設等を行った。 ・H24年度から香美市雇用創造協議会から事業を継承した(一社)香美市観光協会や食品加工グループが地域内外のイベントに参加し、特産品の販売とPR活動を実施した。また、商談会等にも参加し、販路拡大に取り組んでいる。 ・ふるさと納税(香美市まちづくり寄附金)者への返礼品として、H26年度から(一社)香美市観光協会(べふ峰温泉)や奥ものべじじばばあんぜん会、H28年度からコハマ農産物直販所の商品が登録 ◆香美市のユズやシカ肉を活用した特産品を開発し、緩やかながら順調な販路拡大に伴い、売上高も増加している。</p>	<p>・特産品開発が必要 ・販路が固定化 ・経営が脆弱 ・後継者が不足</p>	<p>◆特産品開発、販路拡大</p> <p>◆経営安定化、後継者育成</p> <p>◆地域の販売拠点施設の整備</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
特産品開発、販路拡大 ・魅力ある特産品の開発(セミナー、勉強会等へ参加) ・県内外へ販路拡大(商談会、展示会等への参加、アンテナショップ、ネットショップ等での販売)					→	開発商品売上高 (H22:5,218千円(8商品) (H26:8,717千円(14商品))	10,000千円 (17商品)
経営安定化・後継者育成 ・経営安定化による所得向上(事業計画等の作成、規模拡大の検討) ・後継者確保、育成(OJTによる育成、セミナー、勉強会等へ参加)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
特産品開発、販路拡大 ・魅力ある特産品の開発(セミナー、勉強会等へ参加) ・県内外へ販路拡大(商談会、展示会等への参加、アンテナショップ、ネットショップ等での販売) ・特産品を活用したレストランメニューの提供 ・特産品の販売支援					→	開発商品売上高 (H22:5,218千円(8商品) (H26:8,717千円(14商品))	10,000千円 (17商品)
経営安定化・後継者育成 ・経営安定化による所得向上(事業計画等の作成、規模拡大の検討) ・後継者確保、育成(OJTによる育成、セミナー、勉強会等へ参加)							
地域の販売拠点施設の整備 ・魅力ある施設を目指したコンセプトづくり ・拠点施設の整備(基本設計・実施設計・工事)					→		

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 香美市における滞在型・体験型観光の推進 《香美市》	香美市の地域の資源を活かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。	・香美市 ・(一社)香美市観光協会 ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体	アクションプランの取組開始:H21 ・観光案内所「香美市いんふおめーしょん」、地域アンテナショップ「ふらっと中町」「龍河荘ぐる里」を開設(H22~23) ・観光コーディネート等を行う組織として、(一社)香美市観光協会が発足(H23~) ◆雇用の創出及び観光情報発信の強化が図られた。 ◆観光情報の一元化と香美市の観光推進を図ることを目的とした組織体制が構築された。 ・香美市地域雇用創造協議会が県観光アドバイザーによるガイド研修や先進地視察研修を実施(H21~23)。 ・観光協会職員や地域の体験型観光メニュー提供者が、県主催の「とさ旅セミナー」「観光創生塾」に参加(H24~27) ◆多くの関係者が地域の観光資源を知り、座学と実践を通して観光商品について深い知識を得ることができた。 ・べふ峡温泉林間広場の基盤整備、龍河洞の洞内照明LED化、「ほっと平山」の案内板の設置などの環境整備を行った(H25)。 ・龍河洞と工科大とで多言語対応アプリの共同開発を行った(H26) ・香美市地域雇用創造協議会や(一社)香美市観光協会による体験型観光ツアーや観光イベントを実施(H21~27) ◆主要な観光施設において、観光客の受け入れ体制の充実が図られた。 ◆外国人観光客の来場が顕著で今後も増加が見込まれる龍河洞において、外国人観光客の受け入れ体制ができた。	・体験型観光メニューの受け入れ体制づくり ・(一社)香美市観光協会の体制強化	◆体験型観光メニューづくりと推進 ◆観光協会の組織体制の充実と取組の推進

修正前



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 香美市における滞在型・体験型観光の推進 《香美市》	香美市の地域の資源を活かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。	・香美市 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)香北ふるさとみらい ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体	アクションプランの取組開始:H21 ・観光案内所「香美市いんふおめーしょん」、地域アンテナショップ「ふらっと中町」「龍河荘ぐる里」を開設(H22~23) ・観光コーディネート等を行う組織として、(一社)香美市観光協会が発足(H23~) ・観光案内所「香美市いんふおめーしょん」に窓口専門員を3名配置(H28~) ◆雇用の創出及び観光情報発信の強化が図られた。 ◆観光情報の一元化と香美市の観光推進を図ることを目的とした組織体制が構築された。 ・香美市地域雇用創造協議会が県観光アドバイザーによるガイド研修や先進地視察研修を実施(H21~23)。 ・観光協会職員や地域の体験型観光メニュー提供者が、県主催の「とさ旅セミナー」「観光創生塾」に参加(H24~27) ◆多くの関係者が地域の観光資源を知り、座学と実践を通して観光商品について深い知識を得ることができた。 ・べふ峡温泉林間広場の基盤整備、龍河洞の洞内照明LED化、「ほっと平山」の案内板の設置などの環境整備(H25)。 ・龍河洞と工科大とで多言語対応アプリを共同開発(H26) ・香美市地域雇用創造協議会や(一社)香美市観光協会による体験型観光ツアーや観光イベントを実施(H21~28) ・土佐塩の道保存会の事業拡張を目的とした備品整備(H28) ◆主要な観光施設において、観光客の受け入れ体制の充実が図られた。 ◆外国人観光客の来場が顕著で今後も増加が見込まれる龍河洞において、外国人観光客の受け入れ体制ができた。 ・ピースフルセレネの改修とエリアの活性化に向けた検討(H28)	・体験型観光メニューの受け入れ体制づくり ・(一社)香美市観光協会の体制強化 ・エリアにおける連携の強化	◆体験型観光メニューづくりと推進 ◆観光協会の組織体制の充実と取組の推進 ◆香北エリアを中心とした観光活性化

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型観光メニューの造成、実施 体験型観光メニューの受け皿(ガイド要請や受け入れ団体)づくり 					<p>主要3観光施設 ※の入り込み数 (H26:264,593人)</p> <p>※アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉</p>	300,000人
<p>観光協会の組織体制の充実と取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会のホームページ、広報誌等を活用した情報発信 既存の観光施設を核とした周遊プランの造成、実施 観光イベントの企画、実施 旅行業の取得、旅行商品の開発、セールス 						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<p>体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型観光メニューの造成、実施 体験型観光メニューの受け皿(ガイド要請や受け入れ団体)づくり 					<p>主要4観光施設 ※の入り込み数 (H26:284,665人)</p> <p>※アンパンマンミュージアム、ピースフルセレス、龍河洞、べふ峡温泉</p>	340,000人
<p>観光協会の組織体制の充実と取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会のホームページ、広報誌等を活用した情報発信 既存の観光施設を核とした周遊プランの造成、実施 観光イベントの企画、実施 旅行業の取得、旅行商品の開発、セールス 						
<p>香北エリアを中心とした観光活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修のコンセプトや目指すべき姿、改修内容の策定 管理運営体制の強化 施設改修工事、営業再開 アンパンマン原画レプリカの作成 周辺資源や地域との連携体制の構築 物部川DMO協議会と連携したプロモーション活動 						

修正項目(案)


【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化 <<南国市>></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">修正前</p>	還元水を活用した栽培技術を確認し、「還元野菜」としてのブランド化を図るとともに成分分析をし、機能性の検証を行う。	・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・高知大学	アクションプランの取組開始:H25 ・機能性の検証(H25) ・還元野菜の販売(H26) ・協力農家への灌水器の導入(H27) ◆高知大学での試験栽培では、特定の品目で有意差のあるデータが得られている。協力農家へも灌水器が導入され、生産体制の構築、機能性の検証は進みつつある。	・生産体制の強化 ・販路の拡大 ・機能性の検証	◆「還元野菜」の生産・栽培技術の確立 ◆「還元野菜」の販路開拓 ◆「還元野菜」の機能性の検証




【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化 <<南国市>></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">修正後</p>	還元水を活用した野菜の生産を拡大し、「還元野菜」としてのブランド化を図るとともに、成分分析により機能性の検証を行う。	・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・高知大学	アクションプランの取組開始:H25 ・機能性の検証(H25) ・還元野菜セットの販売(H26:230セット、H27:331セット) ◆高知大学での試験栽培では、特定の品目で有意差のあるデータが得られている。協力農家へも灌水器が導入され、生産体制の構築、機能性の検証は進みつつある。	・生産体制の強化 ・販路の拡大 ・機能性の検証	◆「還元野菜」の生産拡大 ◆「還元野菜」の販路開拓 ◆「還元野菜」の機能性の検証

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
「還元野菜」の生産・栽培技術の確立 ・協力農家の募集 ・栽培技術の確立 ・栽培技術のマニュアル化						協力農家の戸数 (H27 3戸)	7戸(H28～H31累計)
「還元野菜」の販路開拓 直接販売、料理教室への提供、商談会等出展等						「還元野菜」の売上 (H27 1,200千円)	10,000千円
「還元野菜」の機能性の検証 「還元野菜」の成分分析およびメカニズムの解明 機能性の検証						機能性に基づく差別化ができた品目数 (H27 累計0品目)	3品目(H28～H31累計)



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
「還元野菜」の生産拡大 ・次世代ハウスの整備、生産拡大 ・協力農家の募集						協力農家の戸数 (H27 3戸)	7戸(H28～31累計)
「還元野菜」の販路開拓 直接販売、料理教室への提供、商談会等出展等						「還元野菜」の売上 (H27 1,200千円)	10,000千円
「還元野菜」の機能性の検証 「還元野菜」の成分分析およびメカニズムの解明 機能性の検証						機能性に基づく差別化ができた品目数 (H27 累計0品目)	3品目(H28～31累計)

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 《南国市》	流通の少ない、ヤギミルクの安定供給を図るため、畜舎の整備等により生産体制を強化する。また、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。	・川添ヤギ牧場	アクションプランの取組開始:H28		<ul style="list-style-type: none"> ◆畜舎等の整備・機能拡充 ◆ヤギミルクの安定供給体制の確立 ◆高級食材としての販路開拓及び加工品の開発・販売





修正前







【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 《南国市》	流通の少ない、ヤギミルク及びヤギ肉の安定供給を図るため、畜舎の整備等により生産体制を強化する。また、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。	・川添ヤギ牧場	アクションプランの取組開始:H28 ・牧場が中心となり、高知県ヤギ飼料生産組合を設立(H28) ・ひまわり乳業㈱と連携し、飲料ヤギミルクの販売開始(H28) ・ヤギ肉試食会の開催、ヤギ肉の販売開始(H28) ・新畜舎の整備、搾乳・飼料生産機械の導入(H28予定) ・人材の育成(H28～) ◆TV・新聞を活用した効果的なPRにより販路を拡大した。 ◆新規雇用を積極的にを行い、今後の規模拡大を見込んだ運営体制の強化が図られた。	・生産体制の強化 ・経営の安定化(経営状況の分析、事業計画の見直し、人材育成) ・販路の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◆畜舎等の整備・機能拡充 ◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立 ◆販路開拓及び加工品の開発・販売

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					売上高 (H26:1,800千円)	22,500千円
畜舎等の整備・機能拡充 						
畜舎等の整備 施設の運営						
ヤギミルクの安定供給体制の確立 						
・ヤギ頭数の増加、ヤギミルク生産量の拡大 ・飼育データの収集・蓄積 ・事業拡大にあわせた組織体制づくり(人材の雇用を含む)						
高級食材としての販路開拓及び加工品の開発・販売 						
・ヤギミルク市場調査 ・成分分析による優位性の検証 ヤギミルクの販売ルートの確立、商談会等を活用した新規販路開拓 ヤギミルクを活用した加工品の開発、モニタリング、商品化						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					売上高 (H26:1,800千円)	30,200千円
畜舎等の整備・機能拡充 						
・高知県ヤギ飼料生産組合の設立 ・新畜舎の整備、搾乳・飼料生産機械の導入 施設の運営						
ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立 						
・ヤギ飼育頭数の増加、ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大 ・飼育データの収集・蓄積、高知大学等との共同研究による品質向上 ・事業拡大にあわせた組織体制づくり(新規雇用、人材育成等)						
販路開拓及び加工品の開発・販売 						
・ひまわり乳業社と連携したヤギミルクの販売、販路開拓 ・ヤギ肉試食会の開催、商談会への参加等によるヤギ肉の販路開拓 ・メディア、HP、フェイスブックを活用した情報発信 ヤギミルクを活用した自社加工品、県内事業者と連携した加工品の開発						

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化 《香南市》	ヤ・シィパークの新たな魅力となる施設として、香南市産のメロン、ミカン、文旦などを使用した氷菓と焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備することにより、地域産品の活用促進による生産農家の所得の向上と、交流人口の拡大を図る。	(株)ヤ・シィ ・香南市	アクションプランの取組開始:H27 ・「ヤ・シィパーク周辺地域活性化事業検討委員会」の開催(H27) ・高知県産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した加工所兼店舗の整備に着手(H27) ・商談会の実施(H27) ◆加工所兼店舗についての検討、計画づくりが進み、開業に向けた実施体制が関係者の間で共有された。	・安定した利用者、売上の確保 ・新商品の開発	◆加工所兼店舗の開業 ◆販路開拓 ◆商品開発
修正前					



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化 《香南市》	ヤ・シィパークの新たな魅力となる施設として、香南市産のメロン、ミカン、文旦などを使用した氷菓と焼き菓子類を製造・販売する加工所兼店舗を整備することにより、地域産品の活用促進による生産農家の所得の向上と、交流人口の拡大を図る。	(株)ヤ・シィ ・香南市	アクションプランの取組開始:H27 ・「ヤ・シィパーク周辺地域活性化事業検討委員会」の開催(H27) ・高知県産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した加工所兼店舗のオープン(H28) ・商談会の実施(H27～) ◆商談を重ねることで、地域外への販路が拡大した。	・安定した利用者、売上の確保 ・新商品の開発	◆加工所兼店舗の運営 ◆販路開拓 ◆商品開発
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
加工所兼店舗の開業					→	加工所兼店舗の売上高(新規) (H27:0円)	54,193千円
<ul style="list-style-type: none"> 開業準備 研修 	<ul style="list-style-type: none"> 加工所兼店舗の開業 イベント等の実施による集客 近隣店舗との連携 						
販路開拓					→		
<ul style="list-style-type: none"> 商談会参加 催事出店 広報・営業活動 ネット販売の実施、ギフトカタログ等への掲載 							
商品開発					→		
<ul style="list-style-type: none"> 試作品の作成 試食会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品の開発、既存商品の改善 旬の地域食材を活用した季節ごとの目玉商品の開発 						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
加工所兼店舗の運営					→	加工所兼店舗の売上高(新規) (H27:0円)	54,193千円
<ul style="list-style-type: none"> 開業準備 研修 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等の実施による集客 近隣店舗との連携 						
販路開拓					→		
<ul style="list-style-type: none"> 商談会参加 催事出店 広報・営業活動 ネット販売の実施、ギフトカタログ等への掲載 							
商品開発					→		
<ul style="list-style-type: none"> 試作品の作成 試食会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品の開発、既存商品の改善 旬の地域食材を活用した季節ごとの目玉商品の開発 						

修正項目(案)



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 香南市の地場産品販売促進 《香南市》 修正前	香南市の地場産品を事業者が一体となり販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。	・香南市観光協会 ・香南市内の事業者	アクションプランの取組開始:H21 ・商品開発(H21~27) ・商品カタログ販売(H22~27) ・商品ネット販売(H23~27) ◆市内事業者の商品をカタログやネットで販売することにより、事業者の商品開発やメニュー開発意欲の向上につながった。 ◆ふるさと寄付金の記念品等への採用で販売額が増加。	・商品及び販売機会の増加 ・商品販売体制の継続	◆地場産品の開発と販売促進 ◆地場産品販売促進体制の検討





【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 香南市の地場産品販売促進 《香南市》 修正後	香南市の地場産品を事業者が一体となり販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。	・香南市観光協会 ・香南市内の事業者	アクションプランの取組開始:H21 ・商品開発(H21~28) ・商品カタログ販売(H22~28) ・商品ネット販売(H23~28) ◆市内事業者の商品をカタログやネットで販売することにより、事業者の商品開発やメニュー開発意欲の向上につながった。 ◆ふるさと寄付金の記念品等への採用で販売額が増加した。	・商品及び販売機会の増加 ・商品販売体制の継続	◆地場産品の開発と販売促進 ◆地場産品販売促進体制の検討

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H26:8,407千円)	20,000千円	
地場産品の開発と販売促進 ・地場産品の開発 ・カタログ・ネット販売の促進 ・販路開拓への取組							
							
地場産品販売促進体制の検討 自立した継続運営を目指し、組織化等の検討							
	自立運営体制の構築		事業者が主体となった取組の実施				



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					売上高 (H26:8,407千円)	20,000千円	
地場産品の開発と販売促進 ・地場産品の開発 ・カタログ・ネット販売の促進 ・販路開拓への取組							
							
地場産品販売促進体制の検討 <u>自立した継続運営を目指し、組織化等の検討</u>							
	<u>自立運営体制の構築</u>		<u>事業者が主体となった取組の実施</u>				

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 広域観光の取組の推進 《物部川地域全域》	高知中央広域定住自立圏共生ビジョンの観光事業において、物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。	・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会	アクションプランの取組開始:H24 ・広域観光を推進する母体となる物部川地域観光振興協議会を設立(H23)、エージェントセールス活動やモニターツアーを行い、エージェントのニーズを全体で共有するとともに、旅行商品化に向け検討した。(～H24) ・高知中央広域定住自立圏構想の枠組みのもと、高知市と物部川地域(南国市・香南市・香美市)が連携して、高知中央広域観光協議会を設立し、広域観光パンフレットやポスター等を作成し、プロモーション(エージェントセールス・モニターツアー)、観光・物産展を開催した。(H25～) ◆4市(高知市及び物部川地域を構成する3市)による取組みがスタートし、広域観光を推進する体制がより充実した。	・地域の観光資源の一層の発掘・磨き上げによる更なる誘客促進 ・広域観光組織の体制の充実強化に向けた研究・検討	◆観光商品の充実 ◆観光客の広域誘致 ◆広域観光組織体制の充実・整備 ◆地域連携による周遊促進

修正前



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 広域観光の取組の推進 《物部川地域全域》	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせるとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。	・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会 ・物部川DMO協議会 ・(株)ものべみらい	アクションプランの取組開始:H24 ・広域観光を推進する母体となる物部川地域観光振興協議会を設立(H23)、エージェントセールス活動やモニターツアーを行い、エージェントのニーズを全体で共有するとともに、旅行商品化に向け検討した。(～H24) ・高知中央広域定住自立圏構想の枠組みのもと、高知市と物部川地域(南国市・香南市・香美市)が連携して、高知中央広域観光協議会を設立し、広域観光パンフレットやポスター等を作成し、プロモーション(エージェントセールス・モニターツアー)、観光・物産展を開催した。(H25～) ◆4市(高知市及び物部川地域を構成する3市)による取組みがスタートし、広域観光を推進する体制がより充実した。(H25) ・物部川地域の観光活性化に向け、地域内の関係事業者等により設立された物部川DMO協議会及び、高知県観光活性化ファンドを活用して設立された(株)ものべみらいが、地域への誘客イベントを実施(H28) ◆民間事業者の視点も踏まえた、3市による広域観光の推進体制が新たに構築された。(H28)	・地域の観光資源の一層の発掘・磨き上げによる更なる誘客促進 ・新たな広域観光組織による円滑な事業運営	◆観光商品の充実 ◆観光客の広域誘致 ◆広域観光組織体制の充実・整備 ◆地域連携による周遊促進

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光商品の充実 ・農林漁家民泊の推進 ・農林漁業者や行政との連携による研修会の開催 ・体験メニュー等の新商品の開発・磨き上げ ・関係団体等との連携による新たな観光資源の発掘・磨き上げの実施					観光客入込数 (H26:132.1万人) (対象施設) 南国市: 県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ、道の駅南国風良里(ショップ、直販所レジ通過人数) 香南市: 県立のいち動物公園、アクトランド、月見山こどもの森、絵金蔵、ヤ・シイパーク、弁天座(歌舞伎関係)、香南市サイクリングターミナル(宿泊以外) 香美市: アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉	140.5万人	
観光客の広域誘致 ・広域観光プロモーションツールの作成 ・ターゲット地域の旅行会社等に対する販売促進活動の実施 ・地域内観光情報の発信 ・観光物産展の開催							
広域観光組織体制の充実・整備 ・体制・機能の段階的充実 ・広域観光の推進に関する関係団体、県等との協議							
地域連携による周遊促進 ・広域観光活性化計画に関する関係機関、県等との協議 ・関係団体等との連携企画イベント等の実施							
(注: 各項目はH28からH31まで実施される計画を示している)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光商品の充実 ・農林漁家民泊の推進 ・農林漁業者や行政との連携による研修会の開催 ・体験メニュー等の新商品の開発・磨き上げ ・関係団体等との連携による新たな観光資源の発掘・磨き上げの実施					観光客入込数 (H26:134.1万人) (対象施設) 南国市: 県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ、道の駅南国風良里(ショップ、直販所レジ通過人数) 香南市: 県立のいち動物公園、アクトランド、月見山こどもの森、絵金蔵、ヤ・シイパーク、弁天座(歌舞伎関係)、香南市サイクリングターミナル(宿泊以外) 香美市: アンパンマンミュージアム、ピースフルセラネ、龍河洞、べふ峡温泉	144.5万人	
観光客の広域誘致 ・広域観光プロモーションツールの作成 ・ターゲット地域の旅行会社等に対する販売促進活動の実施 ・地域内観光情報の発信 ・観光物産展の開催 ・観光関係調査の実施・分析							
広域観光組織体制の充実・整備 ・体制・機能の段階的充実 ・広域観光の推進に関する関係団体、県等との協議 ・新たな組織体制の構築 ・計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)							
地域連携による周遊促進 ・関係団体等との連携企画イベント等の実施 ・広域観光活性化計画に関する関係機関、県等との協議 ・物部川地域の観光に携わる人材の育成							
(注: 各項目はH28からH31まで実施される計画を示している)							
(注: 各項目はH28からH31まで実施される計画を示している)							
(注: 各項目はH28からH31まで実施される計画を示している)							
(注: 各項目はH28からH31まで実施される計画を示している)							

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進 《南国市》	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪や市内観光への動機づけとなるよう繋げる「参加型観光」を推進していく。 また、ユニークな地名を活かした観光プロモーション・情報発信を行うとともに、主要観光施設の整備等により観光客の利便性向上を図る。	・(一社)南国市観光協会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ	アクションプランの取組開始:H21 ・観光コーディネート組織の設立(H21~23) ・観光協会に専任スタッフを配置(H24) ・観光協会の一般社団法人化(H25) ・観光ガイド組織「南国市観光案内人の会」の設立(H23) ◆観光協会の組織強化により、イベント運営体制の強化や観光資源のブラッシュアップが進んだ。 ◆市内の各観光施設の整備により、観光客の受け入れ体制が整いつつある。	・市内観光名所・施設に観光客を呼び込むための情報発信の強化 ・史跡の観光資源としての磨き上げ ・観光協会の体制強化	◆参加型観光の推進 ◆地域での消費拡大に繋げる仕組みづくり

修正前






【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進 《南国市》	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪や市内観光への動機づけとなるよう繋げる「参加型観光」を推進していく。 また、ユニークな地名を活かした観光プロモーション・情報発信を行うとともに、主要観光施設の整備等により観光客の利便性向上を図る。	・(一社)南国市観光協会 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ	アクションプランの取組開始:H21 ・観光コーディネート組織の設立(H21~23) ・観光協会に専任スタッフを配置(H24) ・観光協会の一般社団法人化(H25) ・観光ガイド組織「南国市観光案内人の会」の設立(H23) ◆観光協会の組織強化により、イベント運営体制の強化や観光資源のブラッシュアップが進んだ。 ◆市内の各観光施設の整備により、観光客の受け入れ体制が整いつつある。	・市内観光名所・施設に観光客を呼び込むための情報発信の強化 ・史跡の観光資源としての磨き上げ ・観光協会の体制強化	◆参加型観光の推進 ◆基末経新橋とタイアップした市内観光周遊ルートづくり ◆観光協会の体制強化

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>参加型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市の地域資源を活用した参加型観光の新たなメニューづくり、既存メニュー(長宗我部元親ラリー、土佐の食1グランプリなど)のブラッシュアップ ・SNSやメディア等のツールを有効活用した情報発信、プロモーション活動 ・県内外からの観光客の利便性向上に向けた主要観光施設の整備 ・観光協会の体制強化(会員増への取組、会員への支援) 					主要4観光施設※の観光客入込数 (H21:483,000人) (H26:539,000人)	555,000人	
 <p>地域での消費拡大に繋げる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画や情報発信とあわせて、訪れた観光客の滞在時間を延ばし、市内回遊、飲食、宿泊、交通機関の利用など市内にお金を落としてもらう仕組みづくり 							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>参加型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市の地域資源を活用した参加型観光の新たなメニューづくり、既存メニュー(長宗我部元親ラリー、土佐の食1グランプリなど)のブラッシュアップ ・SNSやメディア等のツールを有効活用した情報発信、プロモーション活動 ・県内外からの観光客の利便性向上に向けた主要観光施設の整備 ・イベントの企画や情報発信とあわせて、訪れた観光客の滞在時間を延ばし、市内回遊、飲食、宿泊、交通機関の利用など市内にお金を落としてもらう仕組みづくり 					主要4観光施設※の観光客入込数 (H21:483,000人) (H26:539,000人)	555,000人	
 <p>幕末維新博とタイアップした市内観光周遊ルートづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市観光クラスター連絡協議会の設立、運営 ・周遊ルートづくり ・観光案内ガイドの養成、観光案内パネル・ポスターの設置、歴史観光パンフレットの配布 ・レンタサイクルの拡充 ・観光パンフレットの多言語化 							
 <p>観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員増に向けた取組 ・会員への支援 					※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ(以上、来場者)、道の駅南国風良里(ショップ、直販所のレジ通過人数)		
<ul style="list-style-type: none"> ・周遊ルートのブラッシュアップおよび商品化 ・海外からの観光客の利便性向上に向けた主要観光施設の整備 							

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信 《香南市》 修正前	香南市の海と山と文化や歴史などの地域資源を活用した体験観光等を推進するとともに、観光資源としての歌舞伎を活用し、歌舞伎を核とした交流の場づくりを行うことにより、交流人口の拡大を図る。	・(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会 ・地域の体験メニュー等提供団体	アクションプランの取組開始:H21 ・体験メニューのブラッシュアップ(H21~27) ・旅行商品化に必要な観光情報の一元把握(H21~27) ・旅行商品の造成(H21~27) ・旅行商品の販売(H23~27) ・地域の観光情報の発信(H21~27) ・歌舞伎によるワークショップの開催(H27) ・歌舞伎による体験メニューの開発(H27) ・歌舞伎によるまちおこしの情報発信(H27) ◆香南市観光協会は、一般社団法人化し、旅行業第3種の登録を行ったことにより、旅行商品の企画から販売までの体制が整った。これに伴い、ウォーキングや坐禅体験、トレイルランニングレース大会、サンセット・シーカヤックツアーなど多様な商品を毎年企画・販売することで、地域資源の掘り起こし、活用につながった。	・旅行商品の企画・販売の継続 ・体験メニュー等商品素材の開発 ・エージェントに対するプロモーション ・広域で連携した滞在型観光メニューの開発 ・観光資源としての歌舞伎の活用	◆体験観光等に関する情報の一元把握 ◆体験メニューのブラッシュアップ等 ◆旅行商品の造成と販売 ◆地域の観光情報の発信 ◆歌舞伎を核とした交流の場づくり



【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信 《香南市》 修正後	香南市の海と山と文化や歴史などの地域資源を活用した体験観光等を推進するとともに、観光資源としての歌舞伎を活用し、歌舞伎を核とした交流の場づくりを行うことにより、交流人口の拡大を図る。	・(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会 ・香南市観光クラスター協議会 ・地域の体験メニュー等提供団体	アクションプランの取組開始:H21 ・体験メニューのブラッシュアップ(H21~) ・旅行商品化に必要な観光情報の一元把握(H21~) ・旅行商品の造成(H21~) ・旅行商品の販売(H23~) ・地域の観光情報の発信(H21~) ・歌舞伎によるワークショップの開催(H27~) ・歌舞伎による体験メニューの開発(H27~) ・歌舞伎によるまちおこしの情報発信(H27~) ◆香南市観光協会は、一般社団法人化し、旅行業第3種の登録を行ったことにより、旅行商品の企画から販売までの体制が整った。これに伴い、ウォーキングや坐禅体験、トレイルランニングレース大会、サンセット・シーカヤックツアーなど多様な商品を毎年企画・販売することで、地域資源の掘り起こし、活用につながった。	・旅行商品の企画・販売の継続 ・体験メニュー等商品素材の開発 ・エージェントに対するプロモーション ・広域で連携した滞在型観光メニューの開発 ・観光資源としての歌舞伎の活用	◆体験観光等に関する情報の一元把握 ◆体験メニューのブラッシュアップ等 ◆旅行商品の造成と販売 ◆地域の観光情報の発信 ◆歌舞伎を核とした交流の場づくり ◆幕末維新博とタイアップした歴史資源の磨き上げと周遊コースづくり

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
体験観光等に関する情報の一元把握 タリフ集の修正・追加					観光客入込数(H26: 51.8万人) (対象施設) 県立のいち動物公園、アクトランド、月見山こどもの森、絵金蔵、ヤ・シイパーク、弁天座(歌舞伎関係)、香南市サイクリングターミナル(宿泊以外)	55万人
体験メニューのブラッシュアップ等 体験メニューの振り起こし、磨き上げ						
旅行商品の造成と販売 ・コースプラン作成と販売、旅行代理店への売り込み ・募集型企画旅行の実施						
地域の観光情報の発信 インターネット等を活用したPRの展開						
歌舞伎を核とした交流の場づくり ・地歌舞伎等の招致及び公演 ・土佐絵金歌舞伎伝承会定期公演及びワークショップ ・歌舞伎による体験メニューの開発 ・歌舞伎によるまちおこしの情報発信						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
体験観光等に関する情報の一元把握 タリフ集の修正・追加					観光客入込数(H26: 51.8万人) (対象施設) 県立のいち動物公園、アクトランド、月見山こどもの森、絵金蔵、ヤ・シイパーク、弁天座(歌舞伎関係)、香南市サイクリングターミナル(宿泊以外)	55万人
体験メニューのブラッシュアップ等 体験メニューの振り起こし、磨き上げ						
旅行商品の造成と販売 ・コースプラン作成と販売、旅行代理店への売り込み ・募集型企画旅行の実施						
地域の観光情報の発信 インターネット等を活用したPRの展開						
歌舞伎を核とした交流の場づくり ・地歌舞伎等の招致及び公演 ・土佐絵金歌舞伎伝承会定期公演及びワークショップ ・歌舞伎による体験メニューの開発 ・歌舞伎によるまちおこしの情報発信						
幕末維新博とタイアップした歴史資源の磨き上げと周遊コースづくり ・香南市観光クラスター協議会の設立、運営 ・周遊コースづくり ・観光案内パネルの設置、観光パンフレットの作成・配布 ・観光パンフレット、ホームページ、観光案内パネル等の多言語化 ・レンタサイクルの充実						
周遊コースのブラッシュアップ 県外・海外からの誘客強化に向けた仕組みづくり						

修正項目(案)

【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 三宝山プロジェクト 《香南市》	香南市のシンボルである三宝山を観光拠点施設として整備するとともに、近隣の観光施設等と連携して、いろいろな楽しみ方ができる体験観光エリアを作ることで、県内外からの観光客の増加を目指す。	・香南市 ・民間事業者(予定)	アクションプランの取組開始:H28		◆施設整備 ◆委員会の開催 ◆周辺施設との連携




修正前






【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 三宝山プロジェクト 《香南市》	香南市のシンボルである三宝山を観光拠点施設として整備するとともに、近隣の観光施設等と連携して、いろいろな楽しみ方ができる体験観光エリアを作ることで、県内外からの観光客の増加を目指す。	・香南市 ・民間事業者(予定)	アクションプランの取組開始:H28 ・シャトー三宝の耐震診断(H28) ・土地・建物の借り受けの契約締結(H28)	・事業に参画する企業の選定	◆施設整備 ◆委員会の開催 ◆周辺施設との連携

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						観光客入込数 (H27:0人)	20万人
施設整備 基本計画の策定		実施設計	施設整備	開業	運営開始		
							
委員会の開催 三宝山基本計画策定委員会で協議							
							
周辺施設との連携 既存施設間での協力体制の強化、連携した取組の推進				三宝山を核とした体験型観光エリアの形成			



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						観光客入込数 (H27:0人)	20万人
施設整備 基本計画の策定		実施設計	施設整備	開業	運営開始		
							
委員会の開催 三宝山基本計画策定委員会で協議							
							
周辺施設との連携 既存施設間での協力体制の強化、連携した取組の推進				三宝山を核とした体験型観光エリアの形成			

平成 29 年度高知市地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

高知市地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）と第

No.	平成28年度
1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興
2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
3	生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興
4	イチゴの生産販売対策の強化による産地振興
5	ナシ産地の生産安定及びブランド強化
6	時代のニーズに対応できる米産地の振興
7	新ショウガの生産振興
8	ユズを核とした中山間農業の活性化
9	四方竹のブランド化による中山間地域の振興
10	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
11	直販店を核とした鏡地域の活性化
12	「食」の提供による地域農産物の消費拡大
13	伝統作物の復活と関連産業の振興
14	異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出
15	生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出
16	森の工場の拡大による原木の増産
17	県産材を使った安心・安全な木造住宅の普及促進
18	春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上
19	竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出
20	防災食の開発・製造・販売
21	「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売
22	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
23	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
24	近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
25	本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展
26	温泉開発による観光地としての魅力の向上
27	浦戸湾を活用した観光の振興
28	土佐の偉人を活かした観光の振興
29	食による観光の推進
30	県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

①削除

3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表)

【高知市地域】

No.	平成29年度
1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興
2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
3	生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興
4	イチゴの生産販売対策の強化による産地振興
5	ナシ産地の生産安定及びブランド強化
6	時代のニーズに対応できる米産地の振興
7	新ショウガの生産振興
8	ユズを核とした中山間農業の活性化
9	四方竹のブランド化による中山間地域の振興
10	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
11	直販店を核とした鏡地域の活性化
12	「食」の提供による地域農産物の消費拡大
13	伝統作物の復活と関連産業の振興
14	異業種間のコラボレーションによる新たな商品・サービスの創出
15	生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出
16	森の工場の拡大による原木の増産
17	県産材を使った安心・安全な木造住宅の普及促進
①追加	18 イタダリの外商推進による中山間地域の振興
	19 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上
	20 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出
	21 防災食の開発・製造・販売
	22 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
	23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
	24 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
	25 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展
	26 温泉開発による観光地としての魅力の向上
	27 浦戸湾を活用した観光の振興
	28 土佐の偉人を活かした観光の振興
	29 食による観光の推進
	30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実

高知市地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	<p>イタドリの外商推進による中山間地域の振興（高知市）</p> <p>【事業主体】高知県食品工業団地事業協同組合、連携農家</p>	<p>出荷量において全国一であり一般的に県内で食されているイタドリを県外に販売拡大していくため、イタドリの加工・外商体制を構築・強化することにより、「高知県産イタドリ」ブランドの確立に取り組む。</p> <p>また、イタドリの生産力を高めるため、イタドリを「栽培」品目と位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を広げるとともに、一次加工を行うことにより、中山間地域における新たな雇用の創出及び拡大を図る。</p>

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	<p>No. 21 「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売（高知市）</p> <p>【事業主体】（株）かつら</p>	<p>当該事業主体は、これまで鮮魚の加工・販売事業を進めてきたが、当面は需要の高い鮮魚の卸・流通に重点を置いた取り組みに移行し、加工・販売事業を休止することとしたため、地域アクションプランから削除する。</p> <p>なお今後、原魚や簡易な加工品の外商に取り組んでいく中で、食品加工・販売分野における新たなニーズを掘り起こし、事業戦略を再構築する予定である。</p>

■その他（拡充） なし

有望素材シート（29年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	高知市	素材名	イタドリ
		関連素材	山菜

現状・課題	<p><現状></p> <p>○高知県食品工業団地事業協同組合は、従前よりイタドリが持つ機能性に着目し、イタドリを今後の有望農産物として原料確保及び商品開発に関する取り組みを進めてきている。</p> <p>○高知県においてイタドリは、全国トップレベルの年間出荷量を誇っているが、主に天然採取であり生産者の顔が見えずトレーサビリティが担保されていないこと等から外商は活発ではない。県内においてはイタドリ栽培が普及していないのが現状であるが、高知市中山間部の鏡地域においてはこれまでイタドリを栽培してきた実績があり、加工品（しゃくしゃく漬）等を地域の直販店などに年間2トンほど販売してきている。</p> <p>○このたび、イタドリの栽培実績がある鏡地域の生産者と高知県食品工業団地事業協同組合が連携し、同地域のイタドリを用いた加工品を共同開発し、平成29年2月のスーパーマーケット・トレードショーに出展する予定としており、今後は同組合を中心にイタドリの外商に取り組んでいく方針としている。</p> <p><課題></p> <p>今後、高知県食品工業団地事業協同組合によるイタドリ加工品の商品開発や販促活動を強く進めていくためにも、高知市鏡地域を中心に安定的かつ充実した原料の供給体制を整えていくが必要になる。</p> <p>○イタドリ栽培地の不足 ○マンパワーの不足 ○生産・一次加工体制が脆弱</p>
今後の方向性	<p>①耕作放棄地等を活用した、新たなイタドリの圃場確保による生産規模の拡大。</p> <p>②新たな担い手の雇用。</p> <p>③鏡地域全域を巻き込んだイタドリの生産・加工に係る連携体制を構築し、供給力の底上げを図る。</p> <p>④イタドリ加工品の外商の推進によるブランド化の促進。</p> <p>⑤高知県食品工業団地事業協同組合と高知市鏡地域の生産者等による推進組織の結成。</p> <p>⑥高知市鏡地域を中心とする取り組みをモデルとして県内各地の中山間地域に産地を拡大させ、「高知県産イタドリ」ブランドとしてさらなる外商の強化を目指す。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	イタドリの外商推進による中山間地域の振興
	関係市町村名	高知市



事業の概要	<p>出荷量において全国一であり一般的に県内で食されているイタドリを県外に販売拡大していくため、イタドリの加工・外商体制を構築・強化することにより、「高知県産イタドリ」ブランドの確立に取り組む。</p> <p>また、イタドリの生産力を高めるため、イタドリを「栽培」品目と位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を広げるとともに、一次加工を行うことにより、中山間地域における新たな雇用の創出及び拡大を図る。</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 高知県食品工業団地事業協同組合、連携農家</p> <p>【関係機関】 高知市農業協同組合鏡支所園芸部特作部会、鏡村直販店、J A 高知市鏡支所女性部</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	外商の推進によるブランド化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 加工品の開発・販売 イタドリのレシピ提案と普及 				
指標・目標	鏡地域全域での産地強化	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大 地域を巻き込んだ栽培体制の構築 			鏡地域をモデルとし、イタドリの産地化を県内各地に展開	
	項目	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33以降】
	加工品販売額	5,000千円	10,000千円	15,000千円	20,000千円	25,000千円
	【設定根拠】	【推計の考え方】				
		<p>H29年度：年間仕入価格1,000円/kg（見込）を3,000kg程買い取りと仮定し、それを元に加工品販売額を試算。</p> <p>H30年度以降：産地強化を図りながら、生産量を拡大するとともに、市場の動向に応じて高付加価値で販売を行っていく。</p>				

総事業費等	総事業費（内訳）	千円	（うち29年度）	千円	その他	（ ）
	（内訳）	国：	県：	市町村：	その他：	
備考	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）					
	（内訳）	国：	県：	市町村：	その他：	人的支援：

追加項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 イタダリの外商推進による中山間地域の振興 《高知市》</p>	<p>出荷量において全国一であり一般的に県内で食されているイタダリを県外に販売拡大していくため、イタダリの加工・外商体制を構築・強化することにより、「高知県産イタダリ」ブランドの確立に取り組む。 また、イタダリの生産力を高めるため、イタダリを「栽培」品目と位置付け、耕作放棄地などを活用して栽培面積を拡げるとともに、一次加工を行うことにより、中山間地域における新たな雇用の創出及び拡大を図る。</p>	<p>・高知県食品工業団地事業協同組合 ・運携農家</p>	<p>アクションプランの取組開始：H29</p>		<p>◆外商の推進によるブランド化の促進</p> <p>◆鏡地域全域での産地強化</p>

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	 <p>外商の推進によるブランド化の促進</p>				加工品販売額 (H28:0円)	15,000千円
	<p>・加工品の開発・販売 ・イタダリのレシピ提案と普及</p> <p>商談会等への出展・PR</p>					
	 <p>鏡地域全域での産地強化</p>					
	耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大			鏡地域をモデルとしたイタダリの産地化を県内各地に展開		
		地域を巻き込んだ栽培体制の構築				
			鏡地域における加工・保存体制の強化			

削除項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 「弘化台ブランドの創出」 地元鮮魚を活用した食品 の製造・販売	規格外の地元鮮魚を活用して食品加工を行い、弘化台ブランドとして販売していくことで、水産物の消費拡大を図る。	・(株)かつら	アクションプランの取組開始：H25 ・加工設備の整備(H25) ・各種許可の取得(H25) ・主力商品の完成(H25) ・医療機関や介護施設に対する業務用食材としての販路開拓(H26) ・(株)永邦水産から(株)かつらに社名変更(H27.9月) ◆各関係機関からアドバイスを受け、主力となる商品が完成したことで、本格的な商談を開始し、契約実績ができてきた。	・安定した売上のための商品づくり ・販路拡大	◆地元鮮魚を活用した食品加工 ◆販路拡大・販売促進



削除

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地元鮮魚を活用した食品加工					→	食品加工品の売上高 (H23:0円) (H26:0.9億円)	1.5億円
地元鮮魚を活用した商品の製造、量販店とタイアップした販売							
販路拡大・販売促進					→		
展示・商談会への参加及び新商品の開発							



削除

修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 ナシ産地の生産安定及びブランド強化	生産安定のための基本技術の習得と温暖化に対応した対策を行うとともに、針木産新高梨のブランド「まるはり」を強化し、農家所得の向上を図る。	・JA高知市 ・針木梨組合	アクションプランの取組開始:H21 ・高付加価値販売、加工品の開発、販売(H21~27) ・高温障害等対策(H21~27) ・カラス対策協議会の設置(H23) ・鳥獣害対策の実践(H24~27) ・パッケージデザインの統一、商標の取得(H24) ◆高収量、高品質化等の対策が進んだ。	・針木産新高梨「まるはり」ブランドをPRする流通・販売対策 ・温暖化による収量の減少	◆産地計画の見直し及び実践 ◆地球温暖化に対応した栽培技術の確立 ◆産地ブランドの強化

修正前



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
5 ナシ産地の生産安定及びブランド強化	生産安定のための基本技術の習得と温暖化に対応した対策を行うとともに、針木産新高梨のブランド「まるはり」を強化し、農家所得の向上を図る。	・JA高知市 ・針木梨組合	アクションプランの取組開始:H21 ・高付加価値販売、加工品の開発、販売(H21~28) ・高温障害等対策(H21~28) ・カラス対策協議会の設置(H23) ・鳥獣害対策の実践(H24~28) ・パッケージデザインの統一、商標の取得(H24) ◆高収量、高品質化等の対策が進んだ。	・針木産新高梨「まるはり」ブランドをPRする流通・販売対策 ・温暖化による収量の減少	◆産地計画の見直し及び実践 ◆地球温暖化に対応した栽培技術の確立 ◆産地ブランドの強化

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
産地計画の見直し及び実践					→	生産量 (H23年産: 500t) (H27年産: 320t)	H31年産: 400t
産地計画の見直し	実践(加工品の開発及び改良等)						
地球温暖化に対応した栽培技術の確立					→		
高温対策、干ばつ対策等の実証及び普及							
産地ブランドの強化					→		
共同出荷体制の維持強化							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
産地計画の見直し及び実践					→	生産量 (H23年産: 500t) (H27年産: 320t)	H31年産: 400t
産地計画の見直し	実践(品種の選定、担い手の確保等)						
地球温暖化に対応した栽培技術の確立					→		
高温対策、干ばつ対策等の実証及び普及							
産地ブランドの強化					→		
共同出荷体制の維持強化							

修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>6 時代のニーズに対応できる米産地の振興</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">修正前</p>	栽培技術や耕作環境の改善により所得向上を図ることで、持続的な稲作経営を定着させる。	・JA高知市 ・JA高知市稲作部会	アクションプランの取組開始: H21 ・乾燥機等の整備(H21~25) ・各種調査ほの設置、講習会、現地検討会等の実施(H21~27) ◆リレー出荷体制(南国そだち→ナツヒカリ→コシヒカリ)が確立し、集荷量もほぼ目標とする水準を維持している。 ◆無人防除ヘリ1機の導入により、効果的な防除体制が整備された(H26)。	・多様なニーズに対応した米づくり ・水田経営の合理化を目指す地区戦略の推進 ・水田フル活用を促進する耕作環境の改善	◆白未熟粒軽減対策 ◆特定用途需要米の検討 ◆非主食用米生産の取組 ◆大規模経営体等の支援 ◆基盤整備モデル事業による農地整備検討



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>6 時代のニーズに対応できる米産地の振興</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px;">修正後</p>	栽培技術や耕作環境の改善により所得向上を図ることで、持続的な稲作経営を定着させる。	・JA高知市 ・JA高知市稲作部会	アクションプランの取組開始: H21 ・乾燥機等の整備(H21~25) ・各種調査ほの設置、講習会、現地検討会等の実施(H21~28) ◆リレー出荷体制(南国そだち→ナツヒカリ→コシヒカリ)が確立し、集荷量もほぼ目標とする水準を維持している。 ◆無人防除ヘリ1機の導入により、効果的な防除体制が整備された(H26)。	・多様なニーズに対応した米づくり ・水田経営の合理化を目指す地区戦略の推進 ・水田フル活用を促進する耕作環境の改善	◆白未熟粒軽減対策 ◆特定用途需要米の検討 ◆非主食用米生産の取組 ◆大規模経営体等の支援 ◆基盤整備モデル事業による農地整備検討

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
白未熟粒軽減対策					→	主要品種1等米比率 (H27年産:8.4%)	4ヶ年平均12%
コンヒカリ及び極早生品種の白未熟粒対策(品種、作型、肥料、栽植密度、苗質改善等)の実証、対策技術の実践						非主食用米生産面積 (H27年産:98ha)	
特定用途需要米の検討					→	酒米生産面積 (H27年産:39.8ha)	H31年産:43ha
特定用途米(品種、作型、肥料、栽植密度、苗質改善等)の実証、実証技術の実践							
実需者へのPR、ニーズのサーチ							
非主食用米生産の取組					→		
「経営所得安定対策」の導入(研修会等による推進)		次期対策の導入(研修会等による推進)					
乾燥受け込み体制の確立		次期対策の分析と推進方向の策定					
酒米安定生産技術(品種、作型、肥料、栽植密度、苗質改善等)の実証、実証技術の実践							
大規模経営体等の支援					→		
組織づくり・受託運営の学習(研修会、先進地視察等の開催)							
農地集積の推進(研修会等の開催)							
基盤整備モデル事業による農地整備検討					→		
基盤整備モデル事業概要検討、基盤整備モデルほ場での生産性改善実証							
モデルほ場の実績分析、基盤整備事業導入の検討							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
白未熟粒軽減対策					→	主要品種1等米比率 (H27年産:8.4%)	4ヶ年平均12%
コンヒカリ及び極早生品種の白未熟粒対策(品種、肥料、栽植密度等)の実証、対策技術の実践						非主食用米生産面積 (H27年産:98ha)	
特定用途需要米の検討					→	酒米生産面積 (H27年産:39.8ha)	H31年産:43ha
特定用途米(品種、肥料、栽植密度等)の実証、実証技術の実践							
実需者へのPR、ニーズのサーチ							
非主食用米生産の取組					→		
「経営所得安定対策」の導入(研修会等による推進)		次期対策の導入(研修会等による推進)					
乾燥受け込み体制の確立		次期対策の分析と推進方向の策定					
酒米安定生産技術(品種、肥料、栽植密度等)の実証、実証技術の実践							
大規模経営体等の支援					→		
組織づくり・受託運営の学習(研修会、先進地視察等の開催)							
農地集積の推進(研修会等の開催)							
基盤整備モデル事業による農地整備検討					→		
基盤整備モデル事業概要検討、基盤整備モデルほ場での生産性改善実証							
モデルほ場の実績分析、基盤整備事業導入の検討							

修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9 四方竹のブランド化による中山間地域の振興	全国的に希少性の高い四方竹を高知県のブランド品として育て、中山間地域の産業として振興するため、加工施設の整備等により、生産と地域加工の促進を図る。	・JA高知市 ・JA高知市特産部会 (セツ澁菊加工組合、土佐山四方竹生産組合、鏡特産部会) ・(一財)夢産地とさやま開発公社	アクションプランの取組開始:H21 ・製氷機の導入(H22) ・冷水機の導入(H24) ・販路開拓(H22~27) ・高知市四方竹振興計画の策定(H25) ・放棄圃及び圃地マップの個票整理(H25) ・四方竹加工施設の整備(H25~26) ・選別作業の機械化に関する検討(H25~27) ◆商品性のアップを目指し、消費期限の延長や調理済み加工品の開発に取り組み、高級量販店への真空パック商品の販売が開始されるなど、販路拡大の動きも具体化している。 ◆加工施設の整備等により作業能力が向上し、出荷量が増加。 販売額 H22:39,820千円→H26:41,530千円	・加工能力の増強および適正化 ・特産品としての魅力アップ ・中山間地域農業の6次産業化モデルへの挑戦 ・鳥獣害(イノシシ)による被害増 ・高齢化による圃地の管理・収穫作業不足	◆四方竹の振興方策の実践 ◆四方竹の生産安定対策 ◆加工能力の改善と適正化 ◆四方竹のブランド化戦略の実践
修正前					



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9 四方竹のブランド化による中山間地域の振興	全国的に希少性の高い四方竹を高知県のブランド品として育て、中山間地域の産業として振興するため、加工施設の整備等により、生産と地域加工の促進を図る。	・JA高知市 ・JA高知市特産部会 (セツ澁菊加工組合、土佐山四方竹生産組合、鏡特産部会) ・(一財)夢産地とさやま開発公社	アクションプランの取組開始:H21 ・製氷機の導入(H22) ・冷水機の導入(H24) ・販路開拓(H22~28) ・高知市四方竹振興計画の策定(H25) ・放棄圃及び圃地マップの個票整理(H25) ・四方竹加工施設の整備(H25~26) ・選別作業の機械化に関する検討(H25~27) ・自動選別機の導入および導入後の改善(H28) ◆商品性のアップを目指し、消費期限の延長や調理済み加工品の開発に取り組み、高級量販店への真空パック商品の販売が開始されるなど、販路拡大の動きも具体化している。 ◆加工施設の整備等により作業能力が向上し、出荷量が増加。 販売額 H22:39,820千円→H26:41,530千円→H28:57,326千円(見込)	・加工能力の増強および適正化 ・特産品としての魅力アップ ・中山間地域農業の6次産業化モデルへの挑戦 ・鳥獣害(イノシシ)による被害増 ・高齢化による圃地の管理・収穫作業不足	◆四方竹の振興方策の実践 ◆四方竹の生産安定対策 ◆加工能力の改善と適正化 ◆四方竹のブランド化戦略の実践
修正後					

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 四方竹の振興方策の実践 </div>					→	販売額 (H19:33,600千円) (H22:39,820千円) (H27見込:37,000千円)	40,000千円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 中長期振興方針・計画の実践及び見直し </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 四方竹の生産安定対策 </div>					→		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害対策の推進 ・新規栽培者の確保 ・集荷等により高齢農家の出荷を支援 </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 加工能力の改善と適正化 </div>					→		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・選別作業の機械化(選別機の導入) ・一次加工施設の作業効率の見直し、加工能力の向上・整備 ・鮮度保持対策の改善・実践 </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 四方竹のブランド化戦略の実践 </div>					→		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 都市圏での四方竹の認知度向上、他産地とも連携した販路開拓・拡大 </div>							



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 四方竹の振興方策の実践 </div>					→	販売額 (H19:33,600千円) (H22:39,820千円) (H27:37,900千円)	40,000千円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 中長期振興方針・計画の実践及び見直し </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 四方竹の生産安定対策 </div>					→		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害対策の推進 ・新規栽培者の確保 ・集荷等により高齢農家の出荷を支援 </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 加工能力の改善と適正化 </div>					→		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・選別作業の機械化(選別機の導入) ・一次加工施設の作業効率の見直し、加工能力の向上・整備 ・鮮度保持対策の改善・実践 </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 四方竹のブランド化戦略の実践 </div>					→		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 都市圏での四方竹の認知度向上、他産地とも連携した販路開拓・拡大 </div>							

修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 伝統作物の復活と関連産業の振興	「牧野野菜」を中心に、伝統野菜の生産拡大と業務・加工需要を含む販路を開拓することにより、伝統作物のブランド化と生産者の所得向上を目指す。また、伝統的な加工品の復活や新たな加工品を開発する。併せて、生産者と消費者の交流拡大や地域観光への活用を目指す。	・Team Makino	アクションプランの取組開始:H28		◆推進体制の確立 ◆生産拡大 ◆販売拡大 ◆加工品開発

修正前



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 伝統作物の復活と関連産業の振興	「牧野野菜」を中心に、伝統野菜の生産拡大と業務・加工需要を含む販路を開拓することにより、伝統作物のブランド化と生産者の所得向上を目指す。また、伝統的な加工品の復活や新たな加工品を開発する。併せて、生産者と消費者の交流拡大や地域観光への活用を目指す。	・Team Makino	アクションプランの取組開始:H28 ・「Team Makino」組織化(H28) ・新規生産者の開拓と栽培指導(H28) ・伝統作物のPR活動(H28) ・加工品の試作・販売(H28) ◆「伝統作物セミナー・商談会」等を通じて、「牧野野菜」も含めた伝統作物の知名度は上がりつつある。	・生産者および栽培面積の拡大 ・販路に合わせた重点栽培品目の絞り込み ・加工品の試作に見合う機械・器具の不足	◆推進体制の確立 ◆生産拡大 ◆販売拡大 ◆加工品開発

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>推進体制の確立</p> <p>Team Makino組織体制の整備</p> <p>「下知ねぎ」生産農家の組織化</p> <p>Team Makino組織体制の強化</p> <p>推進ビジョンの策定</p> <p>推進ビジョンの改訂</p> </div>						販売額 (H27:0円)	9,000千円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生産拡大</p> <p>連携農家等の拡大</p> <p>連携農家等の拡大と組織化</p> <p>栽培・採種技術等の実証</p> <p>採種技術・種子管理体制の確立</p> </div>						品目数・面積 (H27:0品目・0a)	10品目・150a(累計)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>販売拡大</p> <p>ロゴ・商品説明リーフレット作成</p> <p>商品説明リーフレット改訂</p> <p>「牧野野菜図譜」(仮称)の作成</p> <p>商談会等への参加</p> <p>交流活動の試行</p> <p>交流活動・地域観光の試行</p> <p>交流活動・観光の受入体制確立</p> </div>						加工品数 (H27:0品目)	7品目(累計)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>加工品開発</p> <p>漬物類</p> <p>菓子類</p> </div>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>推進体制の確立</p> <p>Team Makino組織体制の整備</p> <p>Team Makino組織体制の強化</p> <p>推進ビジョンの策定</p> <p>推進ビジョンの改訂</p> </div>						販売額 (H27:0円)	9,000千円
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生産拡大</p> <p>連携農家等の拡大</p> <p>連携農家等の拡大と組織化</p> <p>栽培・採種技術等の実証</p> <p>採種技術・種子管理体制の確立</p> </div>						品目数・面積 (H27:0品目・0a)	10品目・150a(累計)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>販売拡大</p> <p>ロゴ・商品説明リーフレット作成</p> <p>商品説明リーフレット改訂</p> <p>「牧野野菜図譜」(仮称)の作成</p> <p>商談会等への参加</p> <p>交流活動の試行</p> <p>交流活動・地域観光の試行</p> <p>交流活動・観光の受入体制確立</p> </div>						加工品数 (H27:0品目)	7品目(累計)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>加工品開発</p> <p>漬物類</p> <p>菓子類</p> </div>							

修正項目(案)

【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 土佐の偉人を活かした観光の振興	坂本龍馬をはじめとする土佐の偉人ゆかりの地の魅力を高め、県外に情報発信するとともに、歴史、文化、町並みや食などを活用した「まち歩き」を充実させることにより県内外からの観光客の誘客につなげる。	・高知市 ・(公社)高知市観光協会 ・特定非営利活動法人土佐観光ガイドボランティア協会 ・長宗我部連絡協議会等関係団体	アクションプランの取組開始:H21 ・龍馬の生まれたまち記念館のパンフレット作成及び展示物の外国語ガイド開始(H22) ◆土佐っ歩はH23.4月からコースをリニューアルして参加者のニーズに対応したコースとなり、また、高知市郊外を巡る「土佐勤王党コース」及び「長宗我部コース」を設定する等魅力が向上している。 ・瑞山記念館のリニューアル(H22) ・瑞山記念館茶館用トイレを整備(H25) ・長宗我部関連マップの作成、配布(H22～27) ◆武市半平太旧宅と墓周辺の観光資源の磨き上げを行ったことにより、県内外からの観光客から好評を得ている。また、長宗我部関連イベントも定着しつつある。 ◆龍馬生誕180年という節目を活かした各種記念事業の実施により、県内外より多くの観光客及び龍馬ファンが訪れ、龍馬のふるさと高知のPRを図ることができた。	・まち歩きの変更魅力向上と団体客の確保 ・土佐の偉人関連施設の整備充実とルート化	◆「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の魅力向上 ◆土佐の偉人関連イベントの充実 ◆歴史を中心とした博覧会への対応 ◆土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上

修正前



【高知市地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 土佐の偉人を活かした観光の振興	坂本龍馬をはじめとする土佐の偉人ゆかりの地の魅力を高め、県外に情報発信するとともに、歴史、文化、町並みや食などを活用した「まち歩き」を充実させることにより県内外からの観光客の誘客につなげる。	・高知市 ・(公社)高知市観光協会 ・特定非営利活動法人土佐観光ガイドボランティア協会 ・長宗我部連絡協議会等関係団体	アクションプランの取組開始:H21 ・龍馬の生まれたまち記念館のパンフレット作成及び展示物の外国語ガイド開始(H22) ◆土佐っ歩はH23.4月からコースをリニューアルして参加者のニーズに対応したコースとなり、また、高知市郊外を巡る「土佐勤王党コース」及び「長宗我部コース」を設定する等魅力が向上している。 ・瑞山記念館のリニューアル(H22) ・瑞山記念館茶館用トイレを整備(H25) ・長宗我部関連マップの作成、配布(H22～28) ◆武市半平太旧宅と墓周辺の観光資源の磨き上げを行ったことにより、県内外からの観光客から好評を得ている。また、長宗我部関連イベントも定着しつつある。 ◆龍馬生誕180年という節目を活かした各種記念事業の実施により、県内外より多くの観光客及び龍馬ファンが訪れ、龍馬のふるさと高知のPRを図ることができた。	・まち歩きの変更魅力向上と団体客の確保 ・土佐の偉人関連施設の整備充実とルート化	◆「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の魅力向上 ◆土佐の偉人関連イベントの充実 ◆歴史を中心とした博覧会への対応 ◆土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の魅力向上					→	「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」等の参加人数 (H23.1.1～12.31: 3,790人) (H26.1.1～12.31: 2,695人)	3,800人
観光客のニーズに対応したコースの見直し・新設							
土佐の偉人関連イベントの充実					→		
坂本龍馬、長宗我部元親など土佐の偉人関連イベントの実施、情報発信							
歴史を中心とした博覧会への対応					→		
博覧会の準備及び実施に向けた取組							
土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上					→		
関連史跡等の整備、PR活動の推進							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の魅力向上					→	「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」等の参加人数 (H23.1.1～12.31: 3,790人) (H26.1.1～12.31: 2,695人)	3,800人
観光客のニーズに対応したコースの見直し・新設							
土佐の偉人関連イベントの充実					→		
坂本龍馬、長宗我部元親など土佐の偉人関連イベントの実施、情報発信							
歴史を中心とした博覧会への対応					→		
博覧会の準備及び実施に向けた取組							
土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上					→		
関連史跡等の磨き上げ、PR活動の推進							

平成 29 年度嶺北地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

嶺北地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）と第3

No.	平成28年度	本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村
		17	18	17	14
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	JA出資型法人(株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組	●	●	●	●
3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進	●	●	●	
4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組	●			
5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組		●		
6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
8	嶺北地域における林業クラスター化の取組	●	●	●	●
9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成	●	●	●	●
10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進	●	●	●	●
11	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組			●	
12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援	●	●	●	●
13	クラウドファンディングを活用した地域活性化	●	●	●	●
14	ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組	●			
15	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開		●		
16	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化			●	
17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり	●	●	●	●
19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備	●	●	●	●
20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興	●	●	●	●
21	嶺北地域の連携による移住促進の取組	●	●	●	●
22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築	●	●	●	●
23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組		●		

期計画Ver. 2 (H29年度) の対比表

【嶺北地域】

本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村	No.	平成29年度
17	18	17	14		
●	●	●	●	1	れいほくブランドの園芸産地の維持
●	●	●	●	2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組
●	●	●		3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進
●				4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組
	●			5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組
●	●	●		6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興
			●	7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
●	●	●	●	8	嶺北地域における林業クラスター化の取組
●	●	●	●	9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成
●	●	●	●	10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進
		●		11	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組
●	●	●	●	12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援
●	●	●	●	13	クラウドファンディングを活用した地域活性化
●				14	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組
	●			15	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
		●		16	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
●	●	●	●	17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大
●	●	●	●	18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり
●	●	●	●	19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備
●	●	●	●	20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興
●	●	●	●	21	嶺北地域の連携による移住促進の取組
●	●	●	●	22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築
	●			23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組

嶺北地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充等) なし

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 嶺北地域における林業 クラスター化の取組 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな森林資源を活かし、間伐から素材生産、製材・加工を集約したクラスター化を図ることで、林業での地域活性化を目指す。	・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業者 ・高知おとおよ製材(株) ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始: H21 <木材生産・供給システム> ・森の工場の推進(H21~27) 18工場(3,515.30ha) ・林業事業者の育成(H21~27) ・林業の担い手の育成確保(H21~27) ◆林業の担い手の減少や木材製品販売の低迷などにより、第2期計画ではH27末の目標に達しなかったが、大型製材工場の本格稼働に伴い、木材の安定供給を図る必要があるため、搬出(利用)間伐を通じて更なる森林整備の推進が期待される。 <大型製材工場> ・大型製材工場の誘致(H21~25) ◆誘致先企業と具体的な誘致交渉の結果、H23.9月に大豊町への進出協定の締結が実現した。 ◆造成工事等を経てH25.8月操業開始した。 ・生産体制の確立(H25~27) ◆計画に従い、生産量、人員体制等の拡充を実施した。	<木材生産・供給システム> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴う再造林の推進 ・林業事業者の体質強化 ・林業従事者及び担い手の育成確保 ・原木の安定供給体制の構築 <大型製材工場> ・フル生産に向けた原木の安定供給(高知おとおよ製材(株))	◆安定的な木材生産・供給システムの構築 ◆再造林の推進 ◆ストックヤードの整備による原木の供給体制づくり ◆木質バイオマス発電施設等の導入検討 ◆製材品等の生産

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 嶺北地域における林業 クラスター化の取組 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな森林資源を活かし、間伐から素材生産、製材・加工を集約したクラスター化を図ることで、林業での地域活性化を目指す。	・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業者 ・高知おとおよ製材(株) ・嶺北広域原木安定供給協議会 ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始: H21 <木材生産・供給システム> ・森の工場の推進(H21~28) 37工場(3,773.48ha) ・林業事業者の育成(H21~28) ・林業の担い手の育成確保(H21~28) ◆林業の担い手の減少や木材製品販売の低迷などにより、第2期計画ではH27末の目標に達しなかったが、大型製材工場の本格稼働に伴い、木材の安定供給を図る必要があるため、搬出(利用)間伐を通じて更なる森林整備の推進が期待される。 <大型製材工場> ・大型製材工場の誘致(H21~25) ◆誘致先企業と具体的な誘致交渉の結果、H23.9月に大豊町への進出協定の締結が実現した。 ◆造成工事等を経てH25.8月操業開始した。 ・生産体制の確立(H25~28) ◆計画に従い、生産量、人員体制等の拡充を実施した。	<木材生産・供給システム> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴う再造林の推進 ・林業事業者の体質強化 ・林業従事者及び担い手の育成確保 ・原木の安定供給体制の構築 <大型製材工場> ・フル生産に向けた原木の安定供給(高知おとおよ製材(株))	◆安定的な木材生産・供給システムの構築 ◆再造林の推進 ◆ストックヤードの整備による原木の供給体制づくり ◆木質バイオマス発電施設等の導入検討 ◆製材品等の生産

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値 (H31)	
<p>安定的な木材生産・供給システムの構築</p> <p>→</p> <p>原木生産体制の強化(間伐・皆伐の推進、木材生産・供給システムの構築、C材の安定供給)</p> <p>林業事業体の育成、林業の担い手の育成確保</p>					<p>素材生産量 (H19: 76,404㎡) (H22: 56,484㎡) (H26: 98,515㎡)</p>	<p>130,000 ㎡</p>	
<p>再造林の推進</p> <p>→</p> <p>皆伐施業地の拡大に伴い、再造林の補助制度を活用した伐採跡地の更新</p>							
<p>ストックヤードの整備による原木の供給体制づくり</p> <p>→</p> <p>造成工事 (大豊町)</p> <p>ストックヤード施設整備 (大豊町)</p>							
<p>木質バイオマス発電施設等の導入検討</p> <p>→</p> <p>木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討・誘致 (大豊町)</p>							
<p>製材品等の生産</p> <p>→</p> <p>フル生産</p> <p>健全運営</p> <p>CLTパネル工場の整備検討</p>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値 (H31)	
<p>安定的な木材生産・供給システムの構築</p> <p>→</p> <p>原木生産体制の強化(間伐・皆伐の推進、木材生産・供給システムの構築、C材の安定供給)</p> <p>林業事業体の育成、林業の担い手の育成確保</p>					<p>素材生産量 (H19: 76,404㎡) (H22: 56,484㎡) (H26: 98,515㎡)</p>	<p>130,000 ㎡</p>	
<p>再造林の推進</p> <p>→</p> <p>皆伐施業地の拡大に伴い、再造林の補助制度を活用した伐採跡地の更新</p>							
<p>ストックヤードの整備による原木の供給体制づくり</p> <p>→</p> <p>造成工事 (大豊町)</p> <p>ストックヤード施設整備 (大豊町)</p>							
<p>木質バイオマス発電施設等の導入検討</p> <p>→</p> <p>木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討・誘致 (大豊町)</p>							
<p>製材品等の生産</p> <p>→</p> <p>フル生産</p> <p>健全運営</p> <p>CLTパネル工場の整備検討</p>							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 れいほくスケルトン(嶺北材の卸別販売)の促進及び建築人材の育成 《嶺北地域全域》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>れいほくスケルトン(嶺北材の卸別販売)の促進に向けた取組により、嶺北材の販路拡大を図る。</p>	<p>・(株)SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・本山町 ・土佐町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・企画・品質管理(H21~23) ・販売先との連携(H21~23) ・PR活動(H21~27) ◆四国島内を中心とする卸別販売実施により1,844㎡(H24~28合計)の嶺北材が出荷できた。</p>	<p>・嶺北材の販路拡大 ・エンドユーザーへの木の良さをPR強化 ・建築士等との連携</p>	<p>◆販売促進</p> <p>◆エンドユーザーへのPR活動</p> <p>◆「木」について学ぶセミナー等の開催</p>



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 れいほくスケルトン(嶺北材の卸別販売)の促進及び建築人材の育成 《嶺北地域全域》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>れいほくスケルトン(嶺北材の卸別販売)の促進に向けた取組により、嶺北材の販路拡大を図る。</p>	<p>・(株)SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン) ・本山町 ・土佐町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・企画・品質管理(H21~23) ・販売先との連携(H21~23) ・PR活動(H21~28) ・「木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン)設立(H28) ・地域材の特性や木造住宅のメリット等について学ぶセミナーの開催(H28) ◆四国島内を中心とする卸別販売実施により3,036㎡(H24~27合計)の嶺北材が出荷できた。</p>	<p>・嶺北材の販路拡大 ・エンドユーザーへの木の良さをPR強化 ・建築士等との連携</p>	<p>◆販売促進</p> <p>◆エンドユーザーへのPR活動</p> <p>◆「木」について学ぶセミナー等の開催</p>

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販売促進					木材の出荷量 (H26: 744㎡)	2,000㎡
主に四国島内における営業活動の展開						
エンドユーザーへのPR活動						
れいほくスケルトンのPR活動						
「木」について学ぶセミナー等の開催						
開催手法等の検討						
セミナー等の開催						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販売促進					木材の出荷量 (H26: 744㎡)	2,000㎡
主に四国島内における営業活動の展開						
エンドユーザーへのPR活動						
れいほくスケルトンのPR活動						
「木」について学ぶセミナー等の開催						
開催手法等の検討						
セミナー等の開催						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援 《嶺北地域全域》	移住者等を受入している農業法人等が大阪圏の関係者(行政、企業等)と連携し、小規模農家等の直接販売向けの農産物を集約して大阪圏の小中規模飲食店等を対象に販売する仕組みをつくる。あわせて、ネット販売等により嶺北地域の特産品の地産外需を促進する。	(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめ うら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山市 ・大豊町 ・大川村	アクションプランの取組開始:H28		◆県外飲食店との農産物の直接販売 ◆特産品のネット販売 ◆ポータルサイトの定着・広報・販売促進

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援 《嶺北地域全域》	移住者等を受入している農業法人等が大阪圏の関係者(行政、企業等)と連携し、小規模農家等の直接販売向けの農産物を集約して大阪圏の小中規模飲食店等を対象に販売する仕組みをつくる。あわせて、ネット販売等により嶺北地域の特産品の地産外需を促進する。	(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめ うら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山市 ・大豊町 ・大川村	アクションプラン取組開始:H28 ・登録管理システムを活用した農産物の直接販売(H28) ・販売商品(農産物)の発信(H28) ・商談会への参加(H28) ◆直接販売(外需)の仕組みづくりを目指し、生産・集荷体制が確立してきた。 ・ポータルサイトによる嶺北産品の販売	・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ・販売商品の更なる発信 ・ポータルサイトのリニューアルによる販売額の増加	◆県外飲食店との農産物の直接販売 ◆ポータルサイトの定着・広報・販売促進

修正後

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
県外飲食店との農産物の直接販売 システム(集荷、出荷、受発注管理(電子)、マネジメント組織)構築	集出荷・取引強化					・県外飲食店等との直接取引による販売額 (H27:0円)	85,200千円
	新たな販路開拓、PR活動						
特産品のネット販売	サイト運営(商品見直し、サイト改善、SNSを活用したPR活動)						
ポータルサイトの定着・広報・販売促進	ポータルサイト「土佐さめうらe商店街」の定着(随時、運営体制の検証・改善)					ポータルサイト年間売上高 (H24:391千円) (H26:564千円)	1,200千円
	掲載商品(セット商品を含む)の検証・改善						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
県外飲食店との農産物の直接販売 システム(集荷、出荷、受発注管理(電子)、マネジメント組織)構築	集出荷・取引強化					・県外飲食店等との直接取引による販売額 (H27:0円)	85,200千円
	新たな販路開拓、PR活動						
ポータルサイトの定着・広報・販売促進	ポータルサイト「土佐さめうらe商店街」の定着(随時、運営体制の検証・改善)					ポータルサイト年間売上高 (H24:391千円) (H26:564千円)	1,200千円
	掲載商品(セット商品を含む)の検証・改善						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 碓石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 《大豊町》	高知県大豊町で生産される日本で唯一の微生物発酵茶「碓石茶」の需要拡大に取り組み、400余年継承される製造技術の伝承と農家所得の向上を図る。	・大豊町碓石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町	アクションプランの取組開始:H21 ・加工品づくりビジネスの展開(H21~23) ・碓石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(H24~27) ◆H26.12末時点までは、過年度の在庫を大量に持つ状況が続き、H24~26は生産調整せざるを得ないなど、厳しい状況であった。 この間、カートカンやティーバックなど入口商品の開発を行い、地道な販促活動を行うことで、主に関東圏での取引先が徐々に増え、全国に商流を持つ食品卸業者との取引も開始された。H27.3月に全国放送のテレビ番組に取り上げられたことから、一気に知名度が向上し、注文が殺到、過年度在庫の課題は一掃された。	・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 ・機能性表示等の活用による付加価値の向上	◆碓石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 碓石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 《大豊町》	高知県大豊町で生産される日本で唯一の微生物発酵茶「碓石茶」の需要拡大に取り組み、400余年継承される製造技術の伝承と農家所得の向上を図る。	・大豊町碓石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町	アクションプランの取組開始:H21 ・加工品づくりビジネスの展開(H21~23) ・碓石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(H24~26) ・碓石茶製造アルバイトの導入(H26) ・機能性表示に向けた臨床試験の実施(H26) ◆H26.12末時点までは、過年度の在庫を大量に持つ状況が続き、H24~26は生産調整せざるを得ないなど、厳しい状況であった。 この間、カートカンやティーバックなど入口商品の開発を行い、地道な販促活動を行うことで、主に関東圏での取引先が徐々に増え、全国に商流を持つ食品卸業者との取引も開始された。H27.3月に全国放送のテレビ番組に取り上げられたことから、一気に知名度が向上し、注文が殺到、過年度在庫の課題は一掃された。 H28は生産量を確保するための新たな取組として、碓石茶の生産体験を兼ねたアルバイトを導入したところ、多くの参加者があり、移住にもつながってきている。	・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 ・機能性表示等の活用による付加価値の向上	◆碓石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 </div>					碁石茶関連商品の総 販売額 (H19:0.1億円) (H22:0.2億円) (H26:0.1億円)	0.6億円
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新規生産者(組合員)の育成・確保 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 原材料となる茶葉(茶園)の確保 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 碁石茶製造施設の整備 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 共同利用による生産拡大、OJT </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 商品開発、PR活動、販路拡大 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 機能性表示等への対応(臨床試験などデータの蓄積) </div>						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 </div>					碁石茶関連商品の総 販売額 (H19:0.1億円) (H22:0.2億円) (H26:0.1億円)	0.6億円
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新規生産者(組合員)の育成・確保 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 原材料となる茶葉(茶園)の確保 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 碁石茶製造施設の整備 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 共同利用による生産拡大、OJT </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 商品開発、PR活動、販路拡大 </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 機能性表示等への対応(臨床試験などデータの蓄積) </div>						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 嶺北広域観光アウトドアの星づくり 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな自然を活かし、全国ブランドを有する企業の監修によるアウトドア拠点施設を整備し、広域観光の推進につなげる。	・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山市白髪山・工石山保全活用推進協議会	アクションプランの取組開始：H28		◆拠点施設の整備・運営 ◆誘客の促進 ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト) ◆観光客(白髪山・工石山)の誘致
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 嶺北広域観光アウトドアの星づくり 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな自然を活かし、全国ブランドを有する企業の監修によるアウトドア拠点施設を整備し、広域観光の推進につなげる。	・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山市白髪山・工石山保全活用推進協議会	アクションプランの取組開始：H28 ・アウトドア拠点の整備に向けた基本計画の策定及び実施設計の発注開始(H28) ・カー、ラフティング、山岳等アウトドアインストラクター養成の実施(H28) ◆インストラクター等の人材育成が着実に進んでいる。	・アウトドア拠点施設整備に向けた管理・運営体制等の検討 ＜白髪山・工石山＞ ・天然記念物としての保護、観光客に配慮したハード面の整備 ・ガイドの確保	◆拠点施設の整備・運営 ◆誘客の促進 ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト) ◆観光客(白髪山・工石山)の誘致
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
拠点施設の整備・運営 施設実施設計、施設整備工事 管理運営方法の検討、決定 体験インストラクターの育成					アウトドア拠点施設の 利用者数 (H27:0人)	50,000人
誘客の促進 ・新たな体験プログラムの開発、磨き上げ ・4町村での連携方策の検討、実践 ・旅行会社等へのセールス・プロモーション活動、地域情報も含めた情報発信						
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) 遊歩道の整備 ベンチ・案内版等の補修					白髪山・工石山への 観光客数 (H24~28累計:58人)	200人 (H28~31累計)
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト) ガイドの養成研修・スキルアップ研修の実施						
観光客(白髪山・工石山)の誘致 白髪山・工石山観光のPR 民間企業と連携した誘客						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
拠点施設の整備・運営 施設実施設計、施設整備工事 管理運営方法の検討、決定 体験インストラクターの育成 カヌー指導者の招致 カヌー人材の育成					アウトドア拠点施設の 利用者数 (H27:0人)	50,000人
誘客の促進 ・新たな体験プログラムの開発、磨き上げ ・4町村での連携方策の検討、実践 ・旅行会社等へのセールス・プロモーション活動、地域情報も含めた情報発信						
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) 遊歩道の整備 ベンチ・案内版等の補修					白髪山・工石山への 観光客数 (H24~28累計:58人)	200人 (H28~31累計)
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト) ガイドの養成研修・スキルアップ研修の実施						
観光客(白髪山・工石山)の誘致 白髪山・工石山観光のPR 民間企業と連携した誘客						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興 《嶺北地域全域》	早明浦ダムでのスポーツフィッシング大会の開催や、湖面を活用したウォータースポーツなどのアクティビティ等のほか、嶺北地域内の資源と連携し、さめうら湖を核とした交流人口の拡大を図るため、H25年度に組織した「さめうら荘建設検討委員会」の検討を踏まえ、宿泊施設等、湖面一帯の整備を行う。 また、早明浦ダムの湖畔を中心に嶺北地域内でサイクリングコースを設定するとともに、サイクリストの受入環境等を整備する。	・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町	アクションプランの取組開始：H21 ・モニターツアーの実施(H22～27) ・スポーツフィッシング大会の開催(H22～27) ・PR活動(H21～27) ・研修会等への参加(H21～27) ・地域(出身)学生等との連携事業(H22～27) ・NPOさめうらプロジェクト設立(H24) ・さめうら湖の利用に関する検討委員会(H23～24) ・さめうら荘建設検討委員会(H25～27) ◆NPOさめうらプロジェクトを中心に、さめうら湖を利用した交流事業等が構築され、地域(出身)学生との連携や各種利用メニューなど、一定のかたちが出てきている。しかし、湖面でのアクティビティについては実施コストの高さや、気象条件等により安定した湖面利用が難しいことなどから、本格的な事業化には課題が多い。 H26には活動フィールドの拡大に向け、さめうら湖畔でのロードバイクの取組を開始した。高知工科大サイクリング部等とも連携し、モニター大会を開催するなど、一定の成果が上がっている。 ◆土佐町ではH23から、さめうら湖の利用に関する検討委員会が開催され、水をキーワードにした観光振興策が示された。H25からは新たに、さめうら荘建設検討委員会が組織され、上配観光振興の具体化とさめうら荘の改修について検討が進められている。 H26には検討委員会の答申がまとめられ、それを踏まえた改修設計案が出されたが、財源の確保等課題も多く、慎重に検討を進めていく予定である。	・嶺北内町村の連携による事業の展開 ・年間を通して利用者が訪れる取組の構築 ・地域経済へ波及効果が生まれる仕組みづくり	◆さめうら荘建設検討委員会等・早明浦湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等) ◆嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興 《嶺北地域全域》	早明浦ダムでのスポーツフィッシング大会の開催や、湖面を活用したウォータースポーツなどのアクティビティ等のほか、嶺北地域内の資源と連携し、さめうら湖を核とした交流人口の拡大を図るため、H25年度に組織した「さめうら荘建設検討委員会」の検討を踏まえ、宿泊施設等、湖面一帯の整備を行う。 また、早明浦ダムの湖畔を中心に嶺北地域内でサイクリングコースを設定するとともに、サイクリストの受入環境等を整備する。	・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町	アクションプランの取組開始：H21 ・モニターツアーの実施(H22～28) ・スポーツフィッシング大会の開催(H22～28) ・PR活動(H21～28) ・研修会等への参加(H21～28) ・地域(出身)学生等との連携事業(H22～28) ・NPOさめうらプロジェクト設立(H24) ・さめうら湖の利用に関する検討委員会(H23～24) ・さめうら荘建設検討委員会(H25～28) ◆NPOさめうらプロジェクトを中心に、さめうら湖を利用した交流事業等が構築され、地域(出身)学生との連携や各種利用メニューなど、一定のかたちが出てきている。しかし、湖面でのアクティビティについては実施コストの高さや、気象条件等により安定した湖面利用が難しいことなどから、本格的な事業化には課題が多い。 H26には活動フィールドの拡大に向け、さめうら湖畔でのロードバイクの取組を開始した。高知工科大サイクリング部等とも連携し、モニター大会を開催するなど、一定の成果が上がっている。 ◆土佐町ではH23から、さめうら湖の利用に関する検討委員会が開催され、水をキーワードにした観光振興策が示された。H25からは新たに、さめうら荘建設検討委員会が組織され、上配観光振興の具体化とさめうら荘の改修について検討が進められている。 H26には検討委員会の答申がまとめられ、それを踏まえた改修設計案が出された。しかしながら、財源の確保等課題も多いことから、H28には役員内に新たにワーキンググループを組織し、H30年度の完成を目指して基本設計案等の検討を進めている。	・嶺北内町村の連携による事業の展開 ・年間を通して利用者が訪れる取組の構築 ・地域経済へ波及効果が生まれる仕組みづくり	◆さめうら荘建設検討委員会等・早明浦湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等) ◆嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>さめうら荘建設検討委員会等:さめうら湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等)</p> <p>検討委員会等による事業内容の検討・選定</p> <p>検討委員会等の検討を踏まえ、さめうら荘の改修等</p> <p>試行事業の実施</p> <p>環境整備</p> <p>さめうら湖を核とした、土佐町観光・交流資源等の一体的活用</p> <p>事業展開</p>					<p>さめうら荘利用者 (宿泊・レストラン) 数 (H22:2万人) (H26:2万人)</p>	<p>2.5万人</p>	
<p>嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p> <p>自転車関係者等のネットワーク強化、体制の確立</p> <p>嶺北地域のサイクリングコース・プランづくり</p> <p>環境整備</p> <p>試行的実施</p> <p>事業展開</p>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>さめうら荘建設検討委員会等:さめうら湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等)</p> <p>検討委員会等による事業内容の検討・選定</p> <p>検討委員会等の検討を踏まえ、さめうら荘の改修等</p> <p>試行事業の実施</p> <p>環境整備</p> <p>さめうら湖を核とした、土佐町観光・交流資源等の一体的活用</p> <p>事業展開</p> <p>カヌー指導者の招致</p> <p>さめうら湖を活用した合宿等の誘致</p>					<p>さめうら荘利用者 (宿泊・レストラン) 数 (H22:2万人) (H26:2万人)</p>	<p>2.5万人</p>	
<p>嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p> <p>自転車関係者等のネットワーク強化、体制の確立</p> <p>嶺北地域のサイクリングコース・プランづくり</p> <p>環境整備</p> <p>試行的実施</p> <p>事業展開</p>							

平成 29 年度仁淀川地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

仁淀川地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）と第

No.	平成28年度	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
		13	12	10	9	9	12
1	仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進		●	●	●	●	●
2	薬用作物の産地拡大による所得の向上			●	●	●	●
3	力強い高糖度トマト産地の確立			●	●		●
4	園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化	●	●				
5	加工用ワサビの生産と販売	●					
6	加工用土佐文旦の販売促進	●					
7	生姜の増産と加工品の生産拡大	●					
8	いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進		●				
9	本川きじの販路拡大		●				
10	食用山椒の生産体制の確立と販売促進					●	
11	日高村アグリネットワークによる日高村まるごとブランド化						●
12	仁淀川流域における林業・木材産業の振興	●	●	●	●	●	●
13	地域性の高い特用林産物の生産拡大	●	●	●	●	●	●
14	自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化				●		
15	宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化	●					
16	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化	●					
17	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	●	●	●			●
18	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化	●					
19	いの町中心市街地の活性化		●				
20	地域産品を活用した冷菓等の製造販売		●				
21	(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大			●			
22	地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進				●		
23	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大					●	
24	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進						●
25	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化						●
26	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
27	観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化	●					
28	土佐市における体験型観光と食観光の推進	●					
29	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進		●				
30	いの町本川地区での山岳観光の推進		●				
31	仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実			●			
32	歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進				●		
33	越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進					●	
34	体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化					●	
35	「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化						●
36	小村神社周辺の仁淀川かわまちづくり整備による交流人口の拡大と地域の活性化						●
37	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進			●			

3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表

【仁淀川地域】

						No.	平成29年度
土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村		
13	12	10	9	9	12		
	●	●	●	●	●	1	仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進
		●	●	●	●	2	薬用作物の産地拡大による所得の向上
		●	●		●	3	力強い高糖度トマト産地の確立
●	●					4	園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化
●						5	加工用ワサビの生産と販売
●						6	加工用土佐文旦の販売促進
●						7	生姜の増産と加工品の生産拡大
	●					8	いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進
	●					9	本川きじの販路拡大
				●		10	食用山椒の生産体制の確立と販売促進
拡充①					●	11	日高村まるごとブランド化
	●	●	●	●	●	12	仁淀川流域における林業・木材産業の振興
	●	●	●	●	●	13	地域性の高い特産林産物の生産拡大
			●			14	自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化
●						15	宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化
●						16	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化
●	●	●			●	17	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承
●						18	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化
拡充②	●					19	いの町中心市街地の活性化
	●					20	地域産品を活用した冷凍等の製造販売
		●				21	(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大
→		●				22	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進
			●			23	地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進
				●		24	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大
					●	25	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進
					●	26	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化
●	●	●	●	●	●	27	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進
●						28	観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化
●						29	土佐市における体験型観光と食観光の推進
	●					30	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進
	●					31	いの町本川地区での山岳観光の推進
		●				32	仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実
			●			33	歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進
				●		34	越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進
				●		35	体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化
					●	36	「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化
					●	37	小村神社周辺の仁淀川かわまちづくり整備による交流人口の拡大と地域の活性化

仁淀川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 11 日高村アグリネットワークによる日高村まるごとブランド化（日高村） 【実業主体】 ・日高村 ・JA コスモス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか	【拡充】 日高アグリネットワークの連携強化に関する取り組みの内容を修正するとともに、トマトの産地化を核として策定した農業クラスタープランに位置づけられた「日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進」を主な内容に追加する。 併せて、事業主体にJA出資型法人「(株)コスモスアグリサポート」及び「(株)イチネンホールディングス」を追加する。 また、プラン名を「日高まるごとブランド化」に変更する。
2	No. 19 いの町中心市街地の活性化（いの町） 【実業主体】 ・いの町 ・いの町商工会	【拡充】 町内への開業の誘致の取り組みに、町所有の建物や土地、空き店舗等の活用による交流人口の増や、土佐和紙職人など産業人材の育成も視野に入れた「いの町中心市街地再構築プラン（H29.2月策定予定）」に基づく取り組みを追加する。

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 日高村アグリネットワークによる日高村まるごとブランド化 《日高村》	生産農家、加工品製造者、農産物等販売者等によるネットワークを活用し、日高村ブランドの特産品等の開発や販売活動を行うことにより、日高村の知名度の向上、ネットワークメンバーの所得向上及び地域の活性化を目指す。	・日高村 ・JAコスモス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始:H24 ・日高村アグリネットワークの開催(H24~) ・県外への特産品等販促活動(サニーマート、福島屋、まるごと高知他)(H25~) ・日高あぐり大会の開催(H26) ・PR資材の制作(H26) ◆生産農家、加工品製造者、農産物販売者等のネットワークの構築と日高村の知名度向上につながった。	・日高村アグリネットワークの連携強化 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ・新たな特産品の開発	◆日高村アグリネットワークの連携強化 ◆日高村ブランド商品の開発・販売

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 日高村まるごとブランド化 《日高村》	日高村アグリネットワーク(生産農家、加工品製造者、農産物等販売者等)を活用した特産品等の開発・販売活動や日高村特産のトマトを活かした「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図り、交流人口の拡大や移住促進など地域の活性化につなげる。	・日高村 ・JAコスモス ・(株)コスモスアグリサポート ・㈱イネンホールディングス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始:H24 ・日高村アグリネットワーク会議の開催(H24~28) ・県外への特産品等販促活動(サニーマート、福島屋、まるごと高知他)(H25~28) ・日高あぐり大会の開催(H26~28) ・PR資材の制作(H26~28) ◆生産農家、加工品製造者、農産物販売者等のネットワークの構築と日高村の知名度向上につながった。 ・「オムライス街道スタンプラリー」の開催(H26~28) ・「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の展開(H28~) ◆「オムライス街道」の協力店舗はスタート時の6店舗から11店舗に増え、H26~27の累計でオムライス104,500食を販売するなど村の知名度向上及び事業者等の連携強化につながった。	・日高村アグリネットワークの連携強化 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ・雇用及び移住者の増	◆日高村アグリネットワークの連携強化 ◆「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日高村アグリネットワークの連携強化					→	農産物等の販売額 (H22:3.2億円) (H26:4.3億円)	4.5億円
定期的なネットワーク会議の開催							
新たな事業者等の参加を促す仕組みづくりとネットワーク組織の強化							
日高村ブランド商品の開発・販売					→		
展示商談会等への参加、連携した販促活動の実施							
日高村ブランド商品の検討・試作品づくり		日高村ブランド商品の販売					
村を売り出すためのPRグッズ等の制作							
テレビ・新聞・雑誌等のメディアやインターネットを活用した情報発信							
村の駅ひだかと連携した情報発信							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日高村アグリネットワークの連携強化					→	農産物等の販売額 (H22:3.2億円) (H26:4.3億円)	4.5億円
定期的なネットワーク会議の開催							
新たな事業者等の参加を促す仕組みづくりとネットワーク組織の強化							
新たな特産品の開発及び展示商談会等への参加、連携した販促活動の実施					→	[オムライス街道]による オムライス販売数 (H26:38,300食) (H27:66,200食)	100,000食
テレビ・新聞・雑誌等のメディアやインターネットを活用した情報発信							
商品・加工品開発件数 (H27:0件)							
県外からの移住者数 (H27:2組)							
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進					→	新規就農者数 (H27:2名)	4名(H28～31累計)
<ul style="list-style-type: none"> ・トマトを活かしたローカルブランディング(情報発信事業、日高村プロモーション映像の制作 他) ・「オムライス街道スタンプラリー」の拡充 ・トマトを活かした商品・加工品開発 ・トマトを介した健康づくり等各種イベントの開催 ・移住促進策の推進 ・JA出資型法人(株)コスモスアグリサポート・株式会社ネンホールディングスとの連携による雇用の拡大 							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 いの町中心市街地の活性化 《いの町》	いの町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。	・いの町 ・いの町商工会	アクションプランの取組開始:H24 ・イベント「よどがわ七色ロード」の実施(H24~25) ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24.12月) ・小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し、中心市街地の活性化プランを策定(H25) ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき和紙職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協働を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・いの町商店街を含む町内の飲食店(21店舗)による「～いのは生業やき～なないろ生業焼き街道スタンプラリー」を開催(H26、27) ・いの町商工会による空き店舗活用への家賃補助(2年間家賃の半額補助。上限5万円)をH27.4月から開始。2店舗が事業を活用して開業。(H27) ・「紙のまち博覧会」の後継事業を行う実行委員会「いの通信局」を立ち上げ、大園さまの大家に合わせて紙、職人、食をPRする「Kami祭」を開催(H27) ・いの町全域で空き店舗、空き家調査を実施(H27) ・産業競争力強化法に基づき、いの町が関係団体と連携して行う、新規創業者に対する支援計画を策定した。経済産業省が認定する見込み(H28.1月) ◆全国展開支援事業の取組を通じて事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。また、商店街の注目度が上がリ、新規開店、店舗の改装、移転など新たな展開を行う事業者が現れるとともに、空き店舗に関する問い合わせも増え、活気が出てきつつある。	・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用	◆中心市街地の連携強化 ◆「いの通信局」によるイベント等の定着 ◆町内への開業の誘致

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 いの町中心市街地の活性化 《いの町》	いの町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。	・いの町 ・いの町商工会	アクションプランの取組開始:H24 ・イベント「よどがわ七色ロード」の実施(H24~25) ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24.12月) ・小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し、中心市街地の活性化プランを策定(H25) ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき和紙職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協働を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・いの町商店街を含む町内の飲食店(21店舗)による「～いのは生業やき～なないろ生業焼き街道スタンプラリー」を開催(H26~28) ・いの町商工会による空き店舗活用への家賃補助(2年間家賃の半額補助。上限5万円)をH27.4月から開始。2店舗が事業を活用して開業。(H27) ・「紙のまち博覧会」の後継事業を行う実行委員会「いの通信局」を立ち上げ、大園さまの大家に合わせて紙、職人、食をPRする「Kami祭」を開催(H27~28) ・いの町全域で空き店舗、空き家調査を実施(H27) ・産業競争力強化法に基づき、いの町が関係団体と連携して行う、新規創業者に対する支援計画を策定した。経済産業省が認定する見込み(H28.1月) ◆全国展開支援事業の取組を通じて事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。また、商店街の注目度が上がリ、新規開店、店舗の改装、移転など新たな展開を行う事業者が現れるとともに、空き店舗に関する問い合わせも増え、活気が出てきつつある。 ・産業振興アドバイザー事業の活用により移住促進情報サイト「ハッピーいの町ターン」をリニューアル(H28) ◆移住促進にとどまらず住民のための総合情報サイトとしても機能強化された。 ・いの町中心市街地再構築検討委員会を立ち上げ、いの町中心市街地再構築プラン策定に向けて協議を開始(H28)	・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用	◆中心市街地の連携強化 ◆「いの通信局」によるイベント等の定着 ◆町内への開業の誘致

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中心市街地の連携強化</p> <p>暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の運営・体制の見直し</p> </div>							中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所) 8事業所 (H28~31累計)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情報発信等の機能強化</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生姜焼き街道の推進</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いの通信局」によるイベント等の定着</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>定期的な「いの通信局」各部会の開催</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いの通信局」によるKamij祭等のイベント開催</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>町内への開業の誘致</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>顧客ニーズに合った店舗の誘致</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>創業、移住及び補助制度等に関するワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>空き店舗活用への家賃補助事業</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場に係る固定資産税相当額)による支援</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援</p> </div>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中心市街地の連携強化</p> <p>暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の運営・体制の見直し</p> </div>							中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所) 8事業所 (H28~31累計)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情報発信等の機能強化</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いの生姜焼き街道」の推進</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生姜スイーツ開発・販売、PR活動</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いの通信局」によるイベント等の定着</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>定期的な「いの通信局」各部会の開催</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いの通信局」によるKamij祭等のイベント開催</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>町内への開業の誘致</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>顧客ニーズに合った店舗の誘致</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>創業、移住及び補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>空き店舗活用への家賃補助事業の実施</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場に係る固定資産税相当額)による支援</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援</p> </div>							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いの町中心市街地再構築プランの策定</p> </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いの町中心市街地再構築プランに基づく施設整備・運営の検討</p> </div>		

修正項目(案)

【仁淀川地域】


項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 力強い高糖度トマト産地の確立 《仁淀川町、佐川町、日高村》	「学び教え合う場」を中心とした技術の平準化から一歩進めて次世代型の環境制御技術を活用した生産技術の強化を推進する。また、市場や卸売り業者と連携した販路拡大を図るとともに、担い手の確保育成を進めることで高糖度トマトの産地の確立を目指す。	・JAコスモス ・JAコスモトマト生産部会	アクションプランの取組開始:H21 ＜高糖度トマトの産地間競争力の強化＞ ・人材育成及び産地の体制づくりに向けた組織力の強化、栽培マニュアルによる栽培技術の平準化(H21～) ◆生産技術の向上により生産量アップが図られた。 ・食の安全・安心への取組強化、新たな糖度区分による商品開発、販促活動(H21～) ◆高品質なトマトを生産し、安定した出荷が実施できる産地としてのブランド化が進み、販売準備が向上した。 ・「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用した集出荷施設整備及び選果ラインの高度化(H26.12月稼働)(H24～27) ◆軟化果実・芯腐れ果実の選別作業の効率化等につながった。	・生産技術の向上、高位平準化 ・担い手の確保、育成 ・他産地商品との差別化、販売促進の強化	◆経営管理能力及び生産力の強化 ◆産地力強化のための担い手の確保・育成 ◆市場関係者と連携した業務需要の強化



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 力強い高糖度トマト産地の確立 《仁淀川町、佐川町、日高村》	「学び教え合う場」を中心とした技術の平準化から一歩進めて次世代型の環境制御技術を活用した生産技術の強化を推進する。また、市場や卸売り業者と連携した販路拡大を図るとともに、担い手の確保育成を進めることで高糖度トマトの産地の確立を目指す。	・JAコスモス ・JAコスモトマト生産部会 ・(株)コスモスアグリサポート	アクションプランの取組開始:H21 ＜高糖度トマトの産地間競争力の強化＞ ・人材育成及び産地の体制づくりに向けた組織力の強化、栽培マニュアルによる栽培技術の平準化(H21～) ◆生産技術の向上により生産量アップが図られた。 ・食の安全・安心への取組強化、新たな糖度区分による商品開発、販促活動(H21～) ◆高品質なトマトを生産し、安定した出荷が実施できる産地としてのブランド化が進み、販売準備が向上した。 ・「攻めの農業実践緊急対策事業」を活用した集出荷施設整備及び選果ラインの高度化(H26.12月稼働)(H24～27) ◆軟化果実・芯腐れ果実の選別作業の効率化等につながった。 -JA出資型法人「(株)コスモスアグリサポート」設立(H28.8月)	・生産技術の向上、高位平準化 ・担い手の確保、育成 ・他産地商品との差別化、販売促進の強化	◆経営管理能力及び生産力の強化 ◆産地力強化のための担い手の確保・育成 ◆販売戦略の再構築

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					トマト販売額 (H19:4.2億円) (H22:3.7億円) (H26:4.6億円)	5.1億円	
経営管理能力及び生産力の強化 個別コンサルティングや農業簿記記帳による経営管理の強化、栽培マニュアルの改正・環境制御技術の導入による生産技術の強化							
複合経営拠点整備の仕組みづくり・検討		複合経営拠点整備・運用					
							
産地力強化のための担い手の確保・育成 産地提案型等による担い手の確保、研修生の受け入れ体制及び就農支援体制の強化、企業との連携 他							
							
市場関係者と連携した業務需要の強化 市場関係者との販売戦略等の連携、新たな販路の確保、地域ネットワークの活用 等							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					トマト販売額 (H19:4.2億円) (H22:3.7億円) (H26:4.6億円)	5.1億円	
経営管理能力及び生産力の強化 個別コンサルティングや農業簿記記帳による経営管理の強化、栽培マニュアルの改正・環境制御技術の導入による生産技術の強化							
							
産地力強化のための担い手の確保・育成 産地提案型等による担い手の確保、研修生の受け入れ体制及び就農支援体制の強化、「JA出資型法人「株コスモスアグリサポート」等との連携							
							
販売戦略の再構築 新たな販路の確保、地域ネットワークの活用等							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>4 園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化</p> <p>《土佐市・いの町》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など農業を取り巻く厳しい環境の中で、高収量技術の取り組みを推進するとともに、安全・安心を求める消費者ニーズに対応した出荷・販売体制を強化することによって園芸産地を維持・発展させる。</p>	<p>・JAとさし ・JAコスモス伊野支所</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・JAとさし園芸産地ビジョン及びJAコスモス伊野支所管内の園芸産地ビジョンに基づき、技術の向上、担い手の育成等を推進</p> <p>・ピーマンを中心にオランダを参考にした環境制御による高品質安定生産技術(炭酸ガス施用や船差等)への取組の推進(JAとさしH25~27) ◆環境制御技術新規導入農家の増に伴い導入面積が2.8ha増えた。</p> <p>・JAとさし宇佐ピーマン集出荷場を整備、自動秤量包装機の導入(H22~23) ・JAとさしのキュウリの集荷場整備を行い、2JAの合同集出荷を開始(H27) ◆販売力強化につながった。</p> <p>・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)によるミネラルメロンのPRやブランド化(H27)</p>	<p>・JAとさし・JAコスモス伊野支所における園芸産地ビジョンの早期実現と販売力強化</p>	<p>◆各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践</p> <p>◆高品質・高収量技術の普及</p> <p>◆販売力の強化</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>4 園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化</p> <p>《土佐市・いの町》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など農業を取り巻く厳しい環境の中で、高収量技術の取り組みを推進するとともに、安全・安心を求める消費者ニーズに対応した出荷・販売体制を強化することによって園芸産地を維持・発展させる。</p>	<p>・JAとさし ・JAコスモス伊野支所</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・JAとさし園芸産地ビジョン及びJAコスモス伊野支所管内の園芸産地ビジョンに基づき、技術の向上、担い手の育成等を推進</p> <p>・ピーマンを中心にオランダを参考にした環境制御による高品質安定生産技術(炭酸ガス施用や船差等)への取組の推進(JAとさしH25~28) ◆環境制御技術新規導入農家の増に伴い導入面積が2.8ha増えた。</p> <p>・JAとさし宇佐ピーマン集出荷場を整備、自動秤量包装機の導入(H22~23) ・JAとさしのキュウリの集荷場整備を行い、2JAの合同集出荷を開始(H27) ◆販売力強化につながった。</p> <p>・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)によるミネラルメロンのPRやブランド化(H27)</p>	<p>・JAとさし・JAコスモス伊野支所における園芸産地ビジョンの早期実現と販売力強化</p>	<p>◆各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践</p> <p>◆高品質・高収量技術の普及</p> <p>◆販売力の強化</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践					→	・JAとさしピーマン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:3,386t(767t))	3,488t(844t)
提案型担い手確保及び環境保全型農業等の推進、進捗状況の確認による対策の見直し							
高品質・高収量技術の普及					→	・JAとさしキュウリ出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:1,991t(0t))	2,051t(202t)
「まとまりのある園芸産地総合対策事業」、「環境制御技術普及加速化事業」等の実施による生産者への技術導入							
販売力の強化					→	・JAとさしメロン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:11,963ケース(803ケース))	12,322ケース(880ケース)
GAPエコシステム、ブランド化等による販売力の強化							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
各品目ごとのビジョンに基づいた対策の実践					→	・JAとさしピーマン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:3,386t(767t))	3,488t(844t)
提案型担い手確保及び環境保全型農業等の推進、進捗状況の確認による対策の見直し							
高品質・高収量技術の普及					→	・JAとさしキュウリ出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:1,991t(0t))	2,051t(202t)
「まとまりのある園芸産地総合対策事業」、「環境制御技術普及加速化事業」等の実施による生産者への技術導入							
販売力の強化					→	・JAとさしメロン出荷量(うち環境制御技術導入農家の出荷量) (H27園芸年度:890t(7t))	917t(8t)
GAPエコシステム、ブランド化等による販売力の強化							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>8 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進</p> <p>《いの町》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>仁淀川地域の基幹品目である生姜の増産及び加工品の生産性の向上を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することにより、いの町内をはじめとする生姜生産者の所得の向上及び地域の雇用拡大につなげる。</p>	<p>・西村青果(株)</p>	<p>アクションプランの取組開始:H26</p> <p>・産業振興総合補助金を活用して保冷施設の整備に着手(H27)</p> <p>・生姜生産農家及び高知県園芸連(当該事業者が生姜原料供給の指定業者となっている)との長年の信頼関係による取引を継続(H27)</p>	<p>・生姜等の加工品の生産能力の維持及び販売力の強化</p> <p>・原材料となる生姜の安定的な調達</p>	<p>◆生産体制の維持と販売強化</p> <p>◆原材料の確保</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>8 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進</p> <p>《いの町》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>仁淀川地域の基幹品目である生姜の増産及び加工品の生産性の向上を図り、顧客からの受注に対応できる安定的な生産体制を確立することにより、いの町内をはじめとする生姜生産者の所得の向上及び地域の雇用拡大につなげる。</p>	<p>・西村青果(株)</p>	<p>アクションプランの取組開始:H26</p> <p>・産業振興総合補助金を活用して保冷施設の整備に着手(H27)</p> <p>・生姜生産農家及び高知県園芸連(当該事業者が生姜原料供給の指定業者となっている)との長年の信頼関係による取引を継続(H27~28)</p>	<p>・生姜等の加工品の生産能力の維持及び販売力の強化</p> <p>・原材料となる生姜の安定的な調達</p>	<p>◆生産体制の維持と販売強化</p> <p>◆原材料の確保</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産体制の維持と販売強化					 生姜等加工品の販売額 (H26:3.4億円)	3.6億円	
安定的な生姜等加工品の製造 大手食品会社等の取引先とのパートナーシップ							
原材料の確保					 生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続		
生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産体制の維持と販売強化					 生姜等加工品の販売額 (H26:3.4億円)	4.0億円	
安定的な生姜等加工品の製造 大手食品会社等の取引先とのパートナーシップ							
原材料の確保					 生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続		
生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係による取引の継続							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 本川きじの販路拡大 《いの町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正前</p>	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町	<p>アクションプランの取組開始:H21</p> <p>・生産体制の強化(H21～26)</p> <p>◆生産設備(貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機)の整備(H26)により増産体制を確立した。</p> <p>◆本川手箱きじ生産企業組合を設立(H26.12.5)し、経営組織を強化した。</p> <p>・「きじ鍋セット」など首都圏百貨店でインターネット販売を開始(H24)</p> <p>・通年商品として新商品「きじ重」を開発し、高知市内の料理店でメニュー化、村の駅ひだか、ドラゴン広場、レストパークいのでの販売を開始(H26)</p> <p>◆メディアに取り上げられたことで認知度が高まり、販売先も増やしたことで売上アップにつながった。</p>	<p>・販路拡大(県内の知名度アップ、首都圏・関西圏)</p> <p>・大口の販売先の確保</p> <p>・需要に対応した安定的な生産体制</p>	<p>◆営業力の強化による販路拡大</p> <p>◆安定した生産体制の確保</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 本川きじの販路拡大 《いの町》</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">修正後</p>	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町	<p>アクションプランの取組開始:H21</p> <p>・生産体制の強化(H21～26)</p> <p>◆生産設備(貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機)の整備(H26)により増産体制を確立した。</p> <p>◆本川手箱きじ生産企業組合を設立(H26.12.5)し、経営組織を強化した。</p> <p>・「きじ鍋セット」など首都圏百貨店でインターネット販売を開始(H24)</p> <p>・通年商品として新商品「きじ重」を開発し、高知市内の料理店でメニュー化、村の駅ひだか、ドラゴン広場、レストパークいのでの販売を開始(H26)</p> <p>◆メディアに取り上げられたことで認知度が高まり、販売先も増やしたことで売上アップにつながった。</p> <p>・HACCP研修への参加(H28)</p>	<p>・販路拡大(県内の知名度アップ、首都圏・関西圏)</p> <p>・大口の販売先の確保</p> <p>・需要に対応した安定的な生産体制</p>	<p>◆営業力の強化による販路拡大</p> <p>◆安定した生産体制の確保</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大					→	販売額 (H25:7,444千円) (H26:4,913千円)	13,580千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
安定した生産体制の確保					→		
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大					→	販売額 (H25:7,444千円) (H26:4,913千円)	13,580千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
県版HACCP(第2ステージ)の取得	県版HACCP(第3ステージ)又は国際基準HACCP取得に向けた検討・取得				→		
安定した生産体制の確保							
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 ◀仁淀川地域全域▶ 修正前	地域の特徴を持った特用林産物(シキミ・サカキ、きのこ類)の生産量の増加や品質向上により、販売を拡大し生産者の所得の向上を図る。	・特用林産物生産団体	アクションプランの取組開始:H21 ・シキミ、サカキの生産の拡大と品質向上への取組(H21~27) ◆生産者や森林技術センターとの連携により作成された栽培指針及び病虫害防除マニュアルが地域内外の生産者に活用されているが、高齢化等によりH25以降生産量は若干減少傾向にある。 ・越知町野老山地区では、補助事業により約17haのシキミ・サカキの圃場整備がされたものの、現在、放置状態となっている。 ・マッシュルームの栽培技術及び生産団体の経営改善にかかる支援、乾燥機導入、商品販売拡大(H25~27) ◆乾燥機導入や栽培技術支援によりマッシュルームの品質が向上するとともに、有利な販路の開拓等により収益増となった。 ・原木マイタケの栽培技術支援(H28~27) ◆いの町越裏門・寺川地区で集落による原木マイタケ栽培が新たに開始された。	・シキミ・サカキ生産の組織化及び産地化 ・生産量の増加 ・品質の向上 ・病虫害対策の徹底	◆栽培技術・品質の向上



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 ◀仁淀川地域全域▶ 修正後	地域の特徴を持った特用林産物(シキミ・サカキ、きのこ類)の生産量の増加や品質向上により、販売を拡大し生産者の所得の向上を図る。	・特用林産物生産団体	アクションプランの取組開始:H21 ・シキミ、サカキの生産の拡大と品質向上への取組(H21~28) ・栽培、流通関係研修会の実施(H28) ◆生産者や森林技術センターとの連携により作成された栽培指針及び病虫害防除マニュアルが地域内外の生産者に活用されているが、高齢化等によりH25以降生産量は若干減少傾向にある。 ・越知町野老山地区では、補助事業により約17haのシキミ・サカキの圃場整備がされたものの、H27現在、放置状態となっている。 越知町役場と体制づくりの協議(H28) ◆組織の柱となる生産予定者の辞退、既存品種の市場ニーズとの相違、再整備に係る費用対効果等から計画断念 ・マッシュルームの栽培技術及び生産団体の経営改善にかかる支援、乾燥機導入、商品販売拡大(H25~28) ◆乾燥機導入や栽培技術支援によりマッシュルームの品質が向上するとともに、有利な販路の開拓等により収益増となった。 ・マッシュルーム以外の新たな栽培品種(原木キクラゲ)の試行開始(H28~) ・原木マイタケの栽培技術支援(H28~28) ◆いの町越裏門・寺川地区で集落による原木マイタケ栽培が新たに開始された。	・シキミ・サカキ生産の組織化及び産地化 ・生産量の増加 ・品質の向上 ・病虫害対策の徹底 ・きのこ類の新たな品種の栽培	◆栽培技術・品質の向上

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
栽培技術・品質の向上					シキミ・サカキ生産量 (H27:0.0t)	17.0t	
	移住者の参画や副業者の掘り起こしによる生産体制の拡大				マッシュルーム出荷量 (H25:9.5t) (H26:14.3t)	22.0t	
	生産者の栽培技術向上と安定的な生産				原木マイタケ生産量 (H27:0.1t)	0.6t	
	流通体制の整備に向けた支援						
	遊休地や放棄地を活用した栽培地の拡大 (シキミ・サカキ)						
	栽培施設の増設、資材の安定的な調達による生産環境の整備 (マッシュルーム)						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
栽培技術・品質の向上					シキミ・サカキ生産量 (H27:19.0t)	21.0t	
	移住者の参画や副業者の掘り起こしによる生産体制の拡大				マッシュルーム出荷量 (H25:9.5t) (H26:14.3t)	22.0t	
	生産者の栽培技術向上と安定的な生産				原木マイタケ生産量 (H27:0.1t)	0.6t	
	流通体制の整備に向けた支援						
	遊休地や放棄地を活用した栽培地の拡大 (シキミ・サカキ)						
	栽培施設の増設、資材の安定的な調達による生産環境の整備 (マッシュルーム)						
	マッシュルーム以外の栽培品目の拡大(原木クラゲ等)						

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
自伐型林業の確立					林業関連新規就業者数 (H27:5人)	24人(H28~31累計)
	地域おこし協力隊の採用とその自立化				山林の集約化面積 (H27:0ha)	400ha(H28~31累計)
	林地の集約化					
	自伐型林業研修の実施					
低質材の活用促進						
	バイオマス燃料の利用促進と販路拡大					
	中間土壌の整備と運営の検討					
さかわ産木材を活用したものづくりの推進					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	佐川ものづくり大学の開設・運営とその自立化					
	デジタル加工機の導入・活用					
	低質材を活用した木工品の開発・販売					
学校教育・地域等と連携した人材育成						
	環境教育の実施、体験学習の受入					
	学校教育の現場への加工機導入・活用					
	集落活動センターなどのものづくり拠点の整備・運営					



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
自伐型林業の確立					林業関連新規就業者数 (H27:5人)	24人(H28~31累計)
	地域おこし協力隊の採用とその自立化				山林の集約化面積 (H27:0ha)	400ha(H28~31累計)
	林地の集約化					
	自伐型林業研修の実施					
低質材の活用促進						
	バイオマス燃料の利用促進と販路拡大					
	中間土壌の整備と運営の検討					
さかわ産木材を活用したものづくりの推進					ものづくりと連携した 起業家 (H27:0人)	3人(H28~31累計)
	さかわ発明ラボの開設・運営とその自立化					
	デジタル加工機の導入・活用					
	低質材を活用した木工品の開発・販売					
学校教育・地域等と連携した人材育成						
	環境教育の実施、体験学習の受入					
	学校教育の現場への加工機導入・活用					
	集落活動センターなどのものづくり拠点の整備・運営					

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化 《土佐市》 修正前	「宇佐の一本釣りうるめいわし」を原料にした新たな加工品の開発や鮮魚の販路の開拓により需要の拡大を図るとともに、地域限定の名物食として提供する体制づくりを進め、地域での雇用創出と経済効果の波及を目指す。	・企業組合宇佐もん工房	アクションプランの取組開始:H21 ・宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(H21~27) ◆年間を通じての生産・販売体制の構築、市場調査、うるめを使ったレシピの開発により、販売拡大とブランド化が一定進んだ。 ・加工場の新設及び加工機械等の整備(H22) ◆加工場の新設によって、顧客からのニーズに対応でき、取引件数や売上も着実に伸びてきている。 ・食の旅行商品化に向けた取組(H26~27) ◆食のイベント「一本釣りうるめ祭り」は、市内飲食店等との連携により地域を巻き込んだ取り組みに成長した。また、共通メニュー(つみれ団子を使ったうるめ丼)づくりが進み、うるめいわしの利用促進と関係者の意欲向上につながっている。	・宇佐もん工房の経営の安定化と営業力の強化 ・原材料の安定的な確保	◆販路拡大と販売促進 ◆原材料の確保、新商品の開発



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化 《土佐市》 修正後	「宇佐の一本釣りうるめいわし」を原料にした新たな加工品の開発や鮮魚の販路の開拓により需要の拡大を図るとともに、地域限定の名物食として提供する体制づくりを進め、地域での雇用創出と経済効果の波及を目指す。	・企業組合宇佐もん工房	アクションプランの取組開始:H21 ・宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(H21~28) ◆年間を通じての生産・販売体制の構築、市場調査、うるめを使ったレシピの開発により、販売拡大とブランド化が一定進んだ。 ・加工場の新設及び加工機械等の整備(H22) ◆加工場の新設によって、顧客からのニーズに対応でき、取引件数や売上も着実に伸びてきている。 ・加工場の増改築及び加工機器の整備(H28) ◆既存加工施設の増改築等により、加工処理能力の向上及び高度な衛生管理が可能となり、販路拡大、売上増に向けた生産体制が整った。 ・食の旅行商品化に向けた取組(H26~27) ・一本釣りうるめいわし推進委員会の設立(H27) ◆食のイベント「一本釣りうるめ祭り」は、市内飲食店等との連携により地域を巻き込んだ取り組みに成長した。また、共通メニュー(つみれ団子を使ったうるめ丼)づくりが進み、うるめいわしの利用促進と関係者の意欲向上につながっている。	・宇佐もん工房の経営の安定化と営業力の強化 ・原材料の安定的な確保	◆販路拡大と販売促進 ◆原材料の確保、新商品の開発

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大と販売促進					うるめ商品の販売額 (H19: 0千円) (H22: 5,493千円) (H26: 61,550千円)	100,000千円	
展示・商談会への参加							
加工施設の増設の検討・整備							
原材料の確保、新商品の開発					原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発		
原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大と販売促進					うるめ商品の販売額 (H19: 0千円) (H22: 5,493千円) (H26: 61,550千円)	100,000千円	
展示・商談会への参加							
「宇佐の一本釣りうるめいわし」の認知度向上に向けた販売促進活動(一本釣りうるめ祭り・うるめいわしシールラリーの開催等)							
加工施設の増設	県版HACCPの取得						
原材料の確保、新商品の開発					原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発		
原材料を安定的に確保できる仕組みづくり(漁業者の確保等)、新商品の開発							

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大					土佐和紙の販売額 (H22:4.8億円) 機械すき 4.1億円 手すき 0.5億円 (H28:4.8億円) 機械すき 4.4億円 手すき 0.4億円	4.8億円 機械すき4.4億円 手すき 0.4億円
既存の販売ルートへの新たな提案等による販売拡大						
見本市、商談会等への参加による新たな販売ルートの開拓						
紙の博物館売店で販売する土佐和紙商品の品ぞろえの充実						
県内の学校・公共団体等での消費拡大						
首都圏の美術大学や高級雑貨店等をターゲットにした商談会の開催及びセールス活動						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ受付窓口」での対応の充実						
紙の博物館HPでの土佐和紙商品の情報発信及び注文受付						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に向けた版画用紙の見本帳の作成、配布						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に併せた産地商談会の開催						
商品開発					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
製紙会社及び手すき職人の自社製品の開発及びブラッシュアップ						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ窓口」や見本市等で得られるニーズに対応できる商品づくり						
地域が一体となった紙の文化の発信					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
紙産業に関わる事業者等のネットワークの構築・連携強化						
かみのひな祭り、Kami祭、紙のこいのぼり等のイベント時や、新商品の発表の場としての土佐和紙職人市の開催						
いの町(高知県)のお土産にできる土佐和紙商品の開発、販売						
紙に親しむ体験メニューづくりと売り込み						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客等の受け入れと観光商品づくり						
・「国際版画トリエンナーレ展」の開催 ・関連イベントの実施						
手すき和紙職人の後継者育成						
手すき職人の人材育成						
土佐和紙の原料確保						
植生産者の維持・確保のための支援策の検討・実践						
紙漉き用具の確保					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
現存する用具の保存、管理 用具職人の人材育成						



第9期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大					土佐和紙の販売額 (H22:4.8億円) 機械すき 4.1億円 手すき 0.5億円 (H28:4.8億円) 機械すき 4.4億円 手すき 0.4億円	4.8億円 機械すき4.4億円 手すき 0.4億円
既存の販売ルートへの新たな提案等による販売拡大						
見本市、商談会等への参加による新たな販売ルートの開拓						
紙の博物館売店のリニューアル						
紙の博物館売店で販売する土佐和紙商品の品ぞろえの充実						
県内の学校・公共団体等での消費拡大						
首都圏の美術大学や高級雑貨店等をターゲットにした商談会の開催及びセールス活動						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ受付窓口」での対応の充実						
紙の博物館HPでの土佐和紙商品の情報発信及び注文受付						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に向けた版画用紙の見本帳の作成、配布						
「国際版画トリエンナーレ展」の開催に併せた産地商談会の開催						
商品開発					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
製紙会社及び手すき職人の自社製品の開発及びブラッシュアップ						
紙の博物館内「土佐和紙に関するお問合せ窓口」や見本市等で得られるニーズに対応できる商品づくり						
地域が一体となった紙の文化の発信					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
紙産業に関わる事業者等のネットワークの構築・連携強化						
かみのひな祭り、Kami祭、紙のこいのぼり等のイベント時や、新商品の発表の場としての土佐和紙職人市の開催						
いの町(高知県)のお土産にできる土佐和紙商品の開発、販売						
紙に親しむ体験メニューづくりと売り込み						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客等の受け入れと観光商品づくり						
・「国際版画トリエンナーレ展」の開催 ・関連イベントの実施						
手すき和紙職人の後継者育成						
手すき職人の人材育成						
土佐和紙の原料確保						
植生産者の維持・確保のための支援策の検討・実践						
紙漉き用具の確保					手すき和紙協同組合加入の事業体 (H27:31事業体)	31事業体
現存する用具の保存、管理 用具職人の人材育成						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化 《土佐市》	サンシャイン高岡跡地に観光案内機能や農産物等の直販所などを備えた拠点施設を整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることにより来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市 ・土佐市商工会 ・JAとさし 他	アクションプランの取組開始:H23 ・基本計画の策定(H23) ・「ドラゴン広場」整備(H24) ・「ドラゴン広場」オープン(H25) ・「ドラゴン広場」の安定した運営に向けた取組(H26～27) ◆土佐市、商工会、JA等の関係者でドラゴン広場運営協議会を立ち上げ、運営改善に向けた協議を継続して実施しており、関係者のドラゴン広場運営改善に対する意識の高まりと売上増につながった。	・「ドラゴン広場」の安定的な運営 ・高岡商店街への来街者の増	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化 《土佐市》	サンシャイン高岡跡地に観光案内機能や農産物等の直販所などを備えた拠点施設を整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることにより来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市 ・土佐市商工会 ・JAとさし 他	アクションプランの取組開始:H23 ・基本計画の策定(H23) ・「ドラゴン広場」整備(H24) ・「ドラゴン広場」オープン(H25) ・「ドラゴン広場」の安定した運営に向けた取組(H26～28) ◆土佐市、商工会、JA等の関係者でドラゴン広場運営協議会を立ち上げ、運営改善に向けた協議を継続して実施しており、関係者のドラゴン広場運営改善に対する意識の高まりと売上増につながった。 ・チャレンジショップの開設(H28)	・「ドラゴン広場」の安定的な運営 ・高岡商店街への来街者の増	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり					→	施設直販所での販売額 (H26:43,466千円)	79,000千円
経営改善による集客施設の安定した運営							
観光案内、情報発信の強化							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の誘致							
商店街を巻き込んだイベントの実施							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり					→	施設直販所での販売額 (H26:43,466千円)	79,000千円
経営改善による集客施設の安定した運営							
観光案内、情報発信の強化							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の誘致							
商店街を巻き込んだイベントの実施							
チャレンジショップの開設・チャレンジャーへの経営指導及び商店街への出店支援・フォローアップ							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 地域産品を活用した冷凍等の製造販売 《いの町》	地域の特産品であるゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上と販売拡大を図るとともに、生産者の所得向上を目指す。	(有)高知アイス	アクションプランの取組開始：H22 ・生産体制及び品質管理の強化(H22～24) ・商品開発及び販路拡大(H22～27) ◆給水設備の改良並びに冷凍保管庫建屋、発送室及び冷凍設備の増設により、安定した生産ラインへの水の供給、海外向けアイテムのストックヤードの確保、出荷作業等の効率化及び、コスト削減につながった。 ◆海外の商談会等への出展を通じて販路開拓に結びついた。また、アイスクリーム・飲料メーカーで四国初のハラール認証を受けたことによりマレーシア等への販路も広がり、日本国内でのハラール商品の取扱いも始まった。未開拓地である中東地域(UAE)での市場調査や商談会に出展し、ジャパンハラールエキスポを通じて国内での取引先が増加(5社)した。 ◆直営売店の飲食・売り場スペースの拡張、視察用施設(窓・見学通路)を整備し観光客等の満足度が向上したことで売上の売上が大きく伸びている。	・国内外での販路拡大 ・連年販売できる商品の開発 ・直営売店や工場を仁淀川流域の観光拠点施設としてツアー客など観光客の満足度向上	◆販路拡大と販売促進 ◆観光客や工場見学者等への販売強化 ◆新商品の開発
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 地域産品を活用した冷凍等の製造販売 《いの町》	地域の特産品であるゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上と販売拡大を図るとともに、生産者の所得向上を目指す。	(有)高知アイス	アクションプランの取組開始：H22 ・生産体制及び品質管理の強化(H22～24、H28、H28) ・商品開発及び販路拡大(H22～28) ◆給水設備の改良並びに冷凍保管庫建屋、発送室及び冷凍設備の増設により、安定した生産ラインへの水の供給、海外向けアイテムのストックヤードの確保、出荷作業等の効率化及び、コスト削減につながった。 ◆海外の商談会等への出展を通じて販路開拓に結びついた。また、アイスクリーム・飲料メーカーで四国初のハラール認証を受けたことによりマレーシア等への販路も広がり、日本国内でのハラール商品の取扱いも始まった。未開拓地である中東地域(UAE)での市場調査や商談会に出展し、ジャパンハラールエキスポを通じて国内での取引先が増加(5社)した。 ◆直営売店の飲食・売り場スペースの拡張、視察用施設(窓・見学通路)を整備し観光客等の満足度が向上したことで売上の売上が大きく伸びている。 ・HACCP研修への参加(H28) ・売店2号店の開設(H28.11月)	・国内外での販路拡大 ・連年販売できる商品の開発 ・直営売店や工場を仁淀川流域の観光拠点施設としてツアー客など観光客の満足度向上	◆販路拡大と販売促進 ◆観光客や工場見学者等への販売強化 ◆新商品の開発
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大と販売促進					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
国内・海外での展示・商談会への出展・営業力の強化						
ハラール認証を生かした販売強化						
・高速道路SAや関東方面への営業強化 ・冷凍車(2t)及び移動販売車両の購入						
インターネットを活用した販売の強化						
営業力強化のための人材育成						
売店の県外・海外展開を検討						
観光客や工場見学者等への販売強化						
売店及び菓子工房での新商品・メニューの開発・販売						
売店2号店(県内)の検討・整備 菓子工房の検討・整備						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携によるツアー客等の誘致						
TV・ラジオ・新聞・雑誌等による宣伝広告の実施						
新商品の開発					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
新商品(冷菓及び通年販売できる商品)の開発・販売						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
販路拡大と販売促進					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
国内・海外での展示・商談会への出展・営業力の強化						
ハラール認証を生かした販売強化						
高速道路SAや関東方面への営業強化						
インターネットを活用した販売の強化						
営業力強化のための人材育成						
生産体制の強化(工場・設備の拡充・整備)						
県版HACCPの取得						
売店の県外・海外展開の検討・整備						
観光客や工場見学者等への販売強化						
売店での新商品・メニューの開発・販売						
売店(1号店)施設の拡充・整備 売店(2号店)の整備						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携によるツアー客等の誘致						
TV・ラジオ・新聞・雑誌等による宣伝広告の実施						
新商品の開発					冷菓等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
新商品(冷菓及び通年販売できる商品)の開発・販売						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 《仁淀川町》	カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家	アクションプランの取組開始:H21 ・産業振興総合補助金を活用して仁淀川町が専用水道施設を整備(H21) ◆加工処理能力が向上し、カット野菜の販売が拡大された。 ・産業振興推進総合支援事業費補助金による施設規模の拡大に向けた現状分析と事業計画策定(H25、26) ・四国(H25～)、関西圏(H27～)への営業強化 ・カット野菜のブランド化推進(H26、27) ・農商工等連携事業による新商品開発(H26～) ◆新商品の開発や販路の拡大により、売上高が増加した。 3.2億円(H22)→4.6億円(H27) ◆中山間地域の雇用増につながった。 ・県内における原料供給体制の検討・推進(H20～) ◆県内農家と連携して大根やグリーンリーフの県内調達が進んだ。	・現施設の生産能力の限界と老朽化	◆生産能力拡大に向けた施設整備 ◆販路拡大、商品開発 ◆原料供給体制の強化

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 《仁淀川町》	カット野菜事業を展開する(株)フードプランを仁淀川町での基幹産業として位置付け、事業の継続的な実施と販売拡大によって雇用の確保や農業者の所得向上につなげる。	(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家	アクションプランの取組開始:H21 ・産業振興総合補助金を活用して仁淀川町が専用水道施設を整備(H21) ◆加工処理能力が向上し、カット野菜の販売が拡大された。 ・産業振興推進総合支援事業費補助金による施設規模の拡大に向けた現状分析と事業計画策定(H25、26) ・四国(H25～)、関西圏(H27～)への営業強化 ・カット野菜のブランド化推進(H26～28) ・農商工等連携事業による新商品開発(H26～27) ◆新商品の開発や販路の拡大により、売上高が増加した。 3.2億円(H22)→5.6億円(H28) ◆中山間地域の雇用増につながった。 ・県内における原料供給体制の検討・推進(H20～28) ◆県内農家と連携してネギや大根、グリーンリーフの県内調達が進んだ。	・現施設の生産能力の限界と老朽化	◆生産能力拡大に向けた施設整備 ◆販路拡大、商品開発 ◆原料供給体制の強化

修正後

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
生産能力拡大に向けた施設整備				→	(株)フードプランの販売額 (H19:2.2億円) (H22:3.2億円) (H26:4.7億円)	7.6億円
生産規模拡大や効率的な生産に向けた関係者による財源対策・設備仕様等の協議						
施設整備				→		
販路拡大、商品開発						
経営改善計画を基にした販路拡大、新商品開発				→		
原料供給体制の強化						
県内をはじめとする各産地との原料供給体制の確立				→		



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
生産能力拡大に向けた施設整備				→	(株)フードプランの販売額 (H19:2.2億円) (H22:3.2億円) (H26:4.4億円)	6.4億円
生産能力拡大に向けた関係者による協議						
施設整備				→		
高知県版HACCPの取得						
販路拡大、商品開発				→		
経営改善計画を基にした販路拡大、新商品開発						
原料供給体制の強化				→		
契約農家との取引増、自社による原料生産の仕組みづくり						
				→		

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21～27) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定(H26) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25～27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。 ・牛乳の販路拡大	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21～28) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定(H26) ・産振アドバイザー事業を活用し、イベントの効果的な実施等地乳ブランド普及に向けた取り組みを検討(H28) ・南吉本乳業が産業振興総合補助金を活用して、さかわの地乳製造施設整備を実施(H28) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25～27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.3億円	
 売れる仕組みづくり 施設整備の検討など							
 牛乳加工施設の整備及び販路拡大 南吉本乳業加工施設の整備 県版HACCPの取得などにより、県外量販店への外商等販路拡大							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.57億円	
 売れる仕組みづくり 施設整備の検討など							
 牛乳加工施設の整備及び販路拡大 南吉本乳業加工施設の整備 高知県版HACCPの取得 県外量販店等への販路拡大							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化 【日高村】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	村の駅ひだかを拠点とし、日高村をはじめとする特産品の販売を促進するとともに、周辺の観光施設と連携したネットワークを形成することで、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・日高村 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始:H21 ・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)を活用してさんさん市施設整備計画策定(H24) ・産業振興アドバイザー事業を活用し日高村総合発信拠点施設整備検討委員会を実施し運営体制等を検討(H25) ・日高村観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめ、観光ガイド組織の立上げやガイド育成、モニターツアー等を実施(H25) ・産業振興総合補助金を活用してさんさん市施設の拡充整備(直販所)に加えて、観光情報発信コーナー、喫茶店、厨房・イートインコーナーを新設(H25～) ・公募により駅長(支配人)を採用(H26.7月) ・運営母体となる第三セクターを設立し、「村の駅ひだか」をオープン(H26.11月) ・駐車スペース拡大により47台分を確保(村事業) ◆「村の駅ひだか」としてリニューアルオープンし、特産品のトマトをはじめとする地域ならではの商品を前面に出した売り場づくりや地域住民のための毎日買えるワンストップ店舗づくりに取り組んでおり、オープン以降売上が好調。また、施設内に「村の案内所ひだか」が併設されたことで、観光をはじめとする日高村の情報発信機能が充実し、日高村の魅力を十分にPRできるようになった。	・夏場や時間帯での野菜等の品薄 ・日高村の商品のラインアップの増 ・加工品の充実 ・出荷者部会活動の停滞 ・店舗の狭隘 ・観光案内所機能の充実	◆直販市の機能強化及び観光情報の発信



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化 【日高村】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	村の駅ひだかを拠点とし、日高村をはじめとする特産品の販売を促進するとともに、周辺の観光施設と連携したネットワークを形成することで、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・日高村 ・(株)村の駅ひだか	アクションプランの取組開始:H21 ・産業振興総合補助金(ステップアップ事業)を活用してさんさん市施設整備計画策定(H24) ・産業振興アドバイザー事業を活用し日高村総合発信拠点施設整備検討委員会を実施し運営体制等を検討(H25) ・日高村観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめ、観光ガイド組織の立上げやガイド育成、モニターツアー等を実施(H25) ・産業振興総合補助金を活用してさんさん市施設の拡充整備(直販所)に加えて、観光情報発信コーナー、喫茶店、厨房・イートインコーナーを新設(H25～26) ・公募により駅長(支配人)を採用(H26.7月) ・運営母体となる第三セクターを設立し、「村の駅ひだか」をオープン(H26.11月) ・駐車スペース拡大により47台分を確保(村事業) ◆「村の駅ひだか」としてリニューアルオープンし、特産品のトマトをはじめとする地域ならではの商品を前面に出した売り場づくりや地域住民のための毎日買えるワンストップ店舗づくりに取り組んでおり、オープン以降売上が好調。また、施設内に「村の案内所ひだか」が併設されたことで、観光をはじめとする日高村の情報発信機能が充実し、日高村の魅力を十分にPRできるようになった。	・夏場や時間帯での野菜等の品薄 ・日高村の商品のラインアップの増 ・加工品の充実 ・出荷者部会活動の停滞 ・店舗の狭隘 ・観光案内所機能の充実	◆直販市の機能強化及び観光情報の発信

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
直販市の機能強化及び観光情報の発信						直販市の販売額 (H23:59,126千円) (H26:104,382千円)	200,000千円
経営改善による直販市の安定した運営						フットバス等体験観光 客数 (H26:241人)	400人
継続した品揃えの充実や集荷体制の確立など出荷者部会との連携強化							
特産品等の開発・販売							
日高村の情報発信拠点としての機能の充実							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
直販市の機能強化及び観光情報の発信						直販市の販売額 (H23:59,126千円) (H26:104,382千円)	200,000千円
経営改善による直販市の安定した運営						フットバス等体験観光 客数 (H26:241人)	400人
継続した品揃えの充実や集荷体制の確立など出荷者部会との連携強化							
特産品等の開発・販売							
日高村の情報発信拠点としての機能の充実							
店舗の課題対策の検討	店舗の拡充・整備						
	観光案内所の拡充・整備	観光協会組織の立ち上げ検討・整備		観光協会設立・運営			

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 <<仁淀川地域全域>>	仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ファンを拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川のブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会	アクションプランの取組開始:H23 ・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22) ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした観光・物販情報の発信(H23～) ・旅行商品及び観光資源等のプロモーション活動と商品化に向けた旅行会社のサポート(H23～) ・着地型観光旅行商品の造成(H23～) ・市町村や観光協会の観光資源の磨き上げに関するサポート(H23～) ・中長期計画の策定(H27.3月) ・インバウンド対応の推進(H27～) ・一般社団法人化(H27.12月) ◆H22の仁淀川地域観光協議会設立以降、地域の観光施設や観光資源にマッチした旅行会社を中心にセールスやサポートを行い、実現したツアーによる流域への誘客数は、年々実績を伸ばしている。 ◆旅行会社のパンフレット掲載、HP、ブログ、FB、観光物産展の開催など、一般旅行者に向けた観光情報の発信事業にも取り組み、テレビや雑誌等マスコミにも仁淀川が取り上げられ、着実に知名度が向上している。 ◆H27.3月には広域観光の推進及び協議会の安定した運営を目指して「中長期計画」を策定し、毎月の幹事会でも中長期計画の実現に向けた協議を継続して行っている。この中でこれまでの任意団体から法人化(「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」を設立(H27.12月))することで運営組織の体制強化が図られ、取組のバージョンアップに着手している。 ・ツアー催行本数 H24:110本 H25:149本 H26:164本 ・ツアー客数 H24:2,477人 H25:3,660人 H26:4,153人	・旅行会社や観光客の多様なニーズに対応できる旅行商品の企画及び商品化 ・観光地としての認知度のさらなる向上 ・外国人観光客の受け入れ環境の整備 ・6市町村、観光協会及び地域の観光関係者とのさらなる連携の強化 ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録等)	◆観光客の誘致 ◆観光資源の旅行商品化 ◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化 ◆外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備 ◆仁淀川地域の観光に携わる人材の育成 ◆中長期計画に基づく組織体制の強化

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 <<仁淀川地域全域>>	仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ファンを拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川のブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会	アクションプランの取組開始:H23 ・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22) ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした観光・物販情報の発信(H23～) ・旅行商品及び観光資源等のプロモーション活動と商品化に向けた旅行会社のサポート(H23～) ・着地型観光旅行商品の造成(H23～) ・市町村や観光協会の観光資源の磨き上げに関するサポート(H23～) ・中長期計画の策定(H27.3月) ・インバウンド対応の推進(H27～) ・一般社団法人化(H27.12月) ◆H22の仁淀川地域観光協議会設立以降、地域の観光施設や観光資源にマッチした旅行会社を中心にセールスやサポートを行い、実現したツアーによる流域への誘客数は、年々実績を伸ばしている。 ◆旅行会社のパンフレット掲載、HP、ブログ、FB、観光物産展の開催など、一般旅行者に向けた観光情報の発信事業にも取り組み、テレビや雑誌等マスコミにも仁淀川が取り上げられ、着実に知名度が向上している。 ◆H27.3月には広域観光の推進及び協議会の安定した運営を目指して「中長期計画」を策定し、毎月の幹事会でも中長期計画の実現に向けた協議を継続して行っている。この中でこれまでの任意団体から法人化(「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」を設立(H27.12月))することで運営組織の体制強化が図られ、取組のバージョンアップに着手している。 ・ツアー催行本数 H24:110本 H25:149本 H26:164本 H27:147本 ・ツアー客数 H24:2,477人 H25:3,660人 H26:4,153人 H27:3,784人 ・産業振興アドバイザー事業を活用して重信銀行ノベルティグッズ及び土産品を開発(H28)	・旅行会社や観光客の多様なニーズに対応できる旅行商品の企画及び商品化 ・観光地としての認知度のさらなる向上 ・外国人観光客の受け入れ環境の整備 ・6市町村、観光協会及び地域の観光関係者とのさらなる連携の強化 ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録等)	◆観光客の誘致 ◆観光資源の旅行商品化 ◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化 ◆外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備 ◆仁淀川地域の観光に携わる人材の育成 ◆中長期計画に基づく組織体制の強化

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光客の誘致					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行会社へのプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)						
「奇跡の清流仁淀川」を生かした仁淀川地域での観光戦略の策定、知名度の向上(ブランド化)						
ワンストップ窓口の機能強化(ランドオペレーター機能及び地域コーディネート機能の強化)						
観光関係調査の実施(モニターツアー等によるアンケート調査の実施、指標や目標の設定、効果測定のために把握する必要がある基礎数値の調査)					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
観光資源の旅行商品化					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
観光資源の発掘・レベルアップ(市町村や観光関係者と連携した観光資源の発掘、体験プログラム等の磨き上げ及び実施体制の整備)						
旅行商品化への取組(ターゲット別・テーマ別など観光資源を組み合わせた周遊ツアー・滞在型ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)						
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化						
地域の観光情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)						
広域観光案内(来訪や電話による紹介への対応、地域のお勧め情報の提供)						
外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備						
Webサイト等を活用した仁淀川地域の魅力発信、看板やメニュー標記の多言語化等による受け入れ環境の整備						
仁淀川地域の観光に携わる人材の育成						
旅行商品化、観光のトレンド、観光資源のレベルアップ等のための研修会等の開催(対象:市町村、観光協会、仁淀川地域情報員、観光施設、宿泊施設、道の駅など)						
中長期計画に基づく組織体制の強化						
中長期計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会のパートナーとの連携強化						
自主財源の確保(賛助会費、旅行会社等からの販売手数料、HP・パンフレット等での有料広告など)						
旅行業登録に向けた検討	旅行業登録	旅行業を活用した旅行商品の企画・造成・販売				



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光客の誘致					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行会社へのプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)						
「奇跡の清流仁淀川」を生かした仁淀川地域での観光戦略の策定、知名度の向上(ブランド化)						
ワンストップ窓口の機能強化(ランドオペレーター機能及び地域コーディネート機能の強化)						
観光資源の旅行商品化					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
観光資源の発掘・レベルアップ(市町村や観光関係者と連携した観光資源の発掘、体験プログラム等の磨き上げ及び実施体制の整備)					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
旅行商品化への取組(ターゲット別・テーマ別など観光資源を組み合わせた周遊ツアー・滞在型ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)						
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化						
地域の観光情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)						
広域観光案内(来訪や電話による紹介への対応、地域のお勧め情報の提供)						
外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備						
Webサイト等を活用した仁淀川地域の魅力発信、看板やメニュー標記の多言語化等による受け入れ環境の整備						
仁淀川地域の観光に携わる人材の育成						
旅行商品化、観光のトレンド、観光資源のレベルアップ等のための研修会等の開催(対象:市町村、観光協会、仁淀川地域情報員、観光施設、宿泊施設、道の駅など)						
中長期計画に基づく組織体制の強化						
中長期計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)						
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会のパートナーとの連携強化						
自主財源の確保(賛助会費、旅行会社等からの販売手数料、物販収入など)						
旅行業登録	旅行業登録	旅行業を活用した旅行商品の企画・造成・販売				
日本版DMO登録に向けた観光戦略の策定	日本版DMO登録	観光動向調査				
		観光戦略に基づく実践・観光地域づくり				

修正項目(案)



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
30 いの町本川地区での山岳 観光の推進 【いの町】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px; margin-top: 10px;">修正前</div>	木の香温泉や山荘しらすを拠点とし、他の観光施設や民間企業と連携して、UFOラインと呼ばれる石鎚山系の景観や山岳資源を生かした体験メニューを観光客や山歩き愛好者に提供することで、交流人口の拡大を図る。	・いの町 ・いの町観光協会	アクションプランの取組開始:H21<体験メニュー等の開発> ・産産アドバイザー事業を活用して冬期のフィールドを活用するためのモニターツアーの開催、観光商品化、本川地区の未使用観光施設の活用方法等の協議(H26) ・UFOラインウオーキングと東黒森ハイキングツアーを城西館が商品化(H26) ◆城西館による商品化に伴い地元女性グループによる「あげぼの弁当」の売上増につながった。また、冬山体験イベント「本川スノーパーク」を開催(H27.2月)好評であったため、継続開催が決定している。	・道の駅木の香や山荘しらすの施設整備 ・体験メニューの商品化に向けた資源の掘り起しと販売先のリサーチ	◆観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備 ◆新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 いの町本川地区での山岳 観光の推進 【いの町】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px; margin-top: 10px;">修正後</div>	木の香温泉や山荘しらすを拠点とし、他の観光施設や民間企業と連携して、UFOラインと呼ばれる石鎚山系の景観や山岳資源を生かした体験メニューを観光客や山歩き愛好者に提供することで、交流人口の拡大を図る。	・いの町 ・いの町観光協会	アクションプランの取組開始:H21<体験メニュー等の開発> ・産産アドバイザー事業を活用して冬期のフィールドを活用するためのモニターツアーの開催、観光商品化、本川地区の未使用観光施設の活用方法等の協議(H26) ・UFOラインウオーキングと東黒森ハイキングツアーを城西館が商品化(H26) ◆城西館による商品化に伴い地元女性グループによる「あげぼの弁当」の売上増につながった。また、冬山体験イベント「本川スノーパーク」を開催(H27.2月)好評であったため、継続開催が決定している。 ・産産産アドバイザー事業を活用した山岳ガイド養成にかかる仕組みづくり等を開始(H28)	・道の駅木の香や山荘しらすの施設整備 ・体験メニューの商品化に向けた資源の掘り起しと販売先のリサーチ	◆観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備 ◆新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H26:55,482人)	57,000人
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備						
木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討		木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化				
		一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス				
木の香温泉及び山荘しらすを観光の情報発信拠点として活用することを検討		観光情報発信拠点の設置及び情報発信・PR				
木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し	跡地の活用策の検討					
山荘しらすの耐震工事実施設計	山荘しらすの整備					
						
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化						
新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし						
新たな体験メニューの検討	体験メニューの試行	体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み				
インターネット等を活用したPR・情報発信						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H26:55,482人)	57,000人
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備						
木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討		木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化				
		一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス				
木の香温泉及び山荘しらすの観光情報発信拠点化(ビジターセンター等)の検討・整備、観光情報発信・PR						
木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し	駐車場の拡充・整備					
山荘しらすの耐震工事実施設計	山荘しらすの整備					
						
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化						
新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし						
新たな体験メニューの検討	体験メニューの試行	体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み				
山岳ガイド組織の設立	山岳ガイドの養成・ガイド実践					
インターネット等を活用したPR・情報発信						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実 《仁淀川町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	仁淀川町において、観光情報の収集・発信の強化やソフト・ハード面の受入体制の充実を図ることで、滞在型観光を推進する。	・仁淀川町観光協会 ・仁淀川町 ・仁淀川町内の地域づくり団体	アクションプランの取組開始:H21 ・ひょうたん桜公園整備(H24) ・公式ガイドブック作成・更新(H24～) ◆観光拠点の整備やガイドブック作成により観光客への情報発信が進んだ。 ・地域づくり団体のガイド研修(H24、26) ◆地域において徐々にガイドの活動が定着し、観光資源を売り出そうという機運が高まった。 ガイド数 7人 ツアー数 5本(H25)、2本(H26) ・仁淀川町観光協会設立(H27.4月) ◆観光協会が設立され、関係機関との連携による情報発信や受入体制づくりがスタートした。	・関係機関の連携による効果的な情報収集・発信 ・ソフト・ハード面における受入態勢の整備	◆関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信 ◆施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実 《仁淀川町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	仁淀川町において、観光情報の収集・発信の強化やソフト・ハード面の受入体制の充実を図ることで、滞在型観光を推進する。	・仁淀川町観光協会 ・仁淀川町 ・仁淀川町内の地域づくり団体	アクションプランの取組開始:H21 ・ひょうたん桜公園整備(H24) ・公式ガイドブック作成・更新(H24～28) ◆観光拠点の整備やガイドブック作成により観光客への情報発信が進んだ。 ・地域づくり団体のガイド研修(H24、26) ◆地域において徐々にガイドの活動が定着し、観光資源を売り出そうという機運が高まった。 ガイド数 7人 ツアー数 5本(H25)、2本(H26) ・仁淀川町観光協会設立(H27.4月) ◆観光協会が設立され、関係機関との連携による情報発信や受入体制づくりがスタートした。 ・観光ガイド養成及び派遣のための仕組みづくり開始(H28) ◆産振アドバイザー事業の活用により、選谷ガイドの体制が強化された。	・関係機関の連携による効果的な情報収集・発信が不十分 ・おもてなし観光を下支えするため、地域におけるガイド養成の仕組みづくりが必要 ・主要観光スポットにおける受入態勢の充実(ハード整備)が必要	◆関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信 ◆施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信					→	主要観光施設入込数 (4施設、4観光資源) (H26:70,189人)	73,700人
観光協会を中心に、役場・地域づくり団体等と連携した情報共有、観光客への効果的なプロモーション							
施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進					→		
主要な観光施設の整備、看板等情報発信ツールの充実							
地域のおもてなしスキル向上による県外観光客(潜在型ファン)の誘致							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
関係機関等と連携した効果的な観光情報収集・発信					→	主要観光施設入込数 (4施設、4観光資源) (H26:70,189人)	73,700人
観光協会を中心に、役場・地域づくり団体等と連携した情報共有、観光客への効果的なプロモーション							
施設整備や接客スキル向上等によるおもてなし観光の推進					→		
ガイドの養成、派遣のための仕組みづくり							
主要な観光施設の整備、看板等情報発信ツールの充実							
地域のおもてなしスキル向上による県外観光客(潜在型ファン)の誘致							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進 《佐川町》	歴史的な街並みの整備を行うとともに、観光資源の効果的な活用により、「歴史と文教のまち・佐川」の魅力をもっと感じられるまちづくりを行政・観光協会・地域が一体となって進める。	・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体	アクションプランの取組開始:H21 ・牧野富太郎生家を復元した牧野富太郎ふるさと館の整備・開設(H25.4月) ・浜口邸の改修整備・開設(H25.10月) ・名教館の移築整備・供用開始(H26.3月) ◆歴史と文教をテーマにした一体的なまちづくりの取組により、歴史的町並みの整備が進んだ。 ・さかわ観光協会設立(H25) ・さかわ観光協会事務局長を全国公募により配属(H27.4月) ・上町まち歩きガイドの充実強化(H25～27) ◆さかわ観光協会の体制強化により関係機関の連携が進むなどソフト面が整備され、おもてなし体制が強化された。 ◆産振アドバイザー事業の活用により、まち歩きガイドの充実やさかわ観光協会の体制強化を図るなど組織づくりも進んでいる。 ◆仁淀川地域観光協議会のセールス活動による団体客の誘致も成果を上げており、佐川を訪れる観光客は増大している。	・さらなる誘客に向けて、観光協会を中心に関係機関・団体や住民が一体となったチーム佐川でのおもてなしの体制づくり	◆観光資源の利活用、効果的な情報発信 ◆体験型観光の推進 ◆おもてなしの体制づくり

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進 《佐川町》	歴史的な街並みの整備を行うとともに、観光資源の効果的な活用により、「歴史と文教のまち・佐川」の魅力をもっと感じられるまちづくりを行政・観光協会・地域が一体となって進める。	・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体	アクションプランの取組開始:H21 ・牧野富太郎生家を復元した牧野富太郎ふるさと館の整備・開設(H25.4月) ・浜口邸の改修整備・開設(H25.10月) ・名教館の移築整備・供用開始(H26.3月) ・旧竹村呉服店の整備・活用開始(H28.10月) ・嘉末維新壇に向けて、青山文庫の改修整備及び案内・誘導看板の整備や周遊先施設の展示充実、情報発信機能の強化等を実施(H28) ◆歴史と文教をテーマにした一体的なまちづくりの取組により、歴史的町並みの整備が進んだ。 ・さかわ観光協会設立(H25) ・さかわ観光協会事務局長を全国公募により配属(H27.4月) ・上町まち歩きガイドの充実強化(H25～28) ◆さかわ観光協会の体制強化により関係機関の連携が進むなどソフト面が整備され、おもてなし体制が強化された。 ◆産振アドバイザー事業の活用により、まち歩きガイドの充実やさかわ観光協会の体制強化を図るなど組織づくりも進んでいる。 ◆仁淀ブルー観光協議会のセールス活動による団体客の誘致も成果を上げており、佐川を訪れる観光客は増大している。	・嘉末維新壇の開催を契機とし、さらなる誘客に向けて、観光協会を中心に関係機関・団体や住民が一体となったチーム佐川でのおもてなしの体制づくり	◆観光資源の利活用、効果的な情報発信 ◆体験型観光の推進 ◆おもてなしの体制づくり

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光資源の利活用、効果的な情報発信					→	上町地区への入込客数 (H26:15,000人)	20,000人
歴史的な遺産や街並みの維持・管理、既存施設や資料等の見せ方の工夫、パンフレット・HP等の活用、関係機関との連携による情報共有・情報発信など							
体験型観光の推進					→	上町まち歩きガイド利用者数 (H26:4,585人)	5,000人
体験型観光メニューづくり・実施							
おもてなしの体制づくり					→		
観光エキスパート人材の育成、観光客受け入れ体制の強化(観光協会・行政・住民の協働、仁淀川地域での広域観光の推進など)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光資源の利活用、効果的な情報発信					→	上町地区への入込客数 (H26:15,000人)	25,000人
歴史的な遺産や街並みの維持・管理、既存施設や資料等の見せ方の工夫、パンフレット・HP等の活用、関係機関との連携による情報共有・情報発信など							
体験型観光の推進					→	上町まち歩きガイド利用者数 (H26:4,585人)	5,000人
体験型観光メニューづくり・実施							
おもてなしの体制づくり					→		
観光エキスパート人材の育成、観光客受け入れ体制の強化(観光協会・行政・住民の協働、仁淀川地域での広域観光の推進など)							

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
→							
キャンプ場の整備と運営							
基本計画策定	基本設計、実施設計、施設整備	キャンプ場開設・運営、㈱スノーピークとの連携					
→							
地域の観光資源とのコラボと情報発信							
・地域資源調査 ・イベントプログラムの試行	地域資源を活用した体験メニューづくり						
	体験メニュー・イベント提供						
情報発信強化の検討	キャンプ場オープンに向けた告知	情報発信、㈱スノーピークとの連携					
	一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー等の受け入れ、観光商品づくり、情報発信						



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
→							
キャンプ場の整備と運営							
基本計画策定	基本設計、実施設計、施設整備	キャンプ場開設・運営、㈱スノーピークとの連携					
→							
地域の観光資源とのコラボと情報発信							
地域資源調査	地域資源を活用した体験メニューづくり						
イベントプログラムの試行	体験メニュー・イベント提供						
情報発信強化の検討	キャンプ場オープンに向けた告知	情報発信、㈱スノーピークとの連携					
	一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー等の受け入れ、観光商品づくり、情報発信						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
37 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進 《仁淀川町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 20px auto; padding: 5px;">修正前</div>	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・鯛ビバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始：H28	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進 ◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化 ◆後継者及び担い手の確保・育成 ◆鯛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進 《仁淀川町》 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 20px auto; padding: 5px;">修正後</div>	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・鯛ビバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始：H28 ・鯛ビバ沢渡による商品開発(H28～) ◆茶の加工品開発に取り組み、商品ラインアップの拡充とあわせて売上安定化を図った。 ・鯛ビバ沢渡による産業振興総合補助金を活用した施設整備の検討(H28～)	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進 ◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化 ◆後継者及び担い手の確保・育成 ◆鯛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進					→	主要事業者の販売額 (H27:50,000千円)	80,000千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進							
商品開発、販売促進などによる経営の持続化					→	うち、鯛ビバ沢渡の販売額 (H27:20,000千円)	41,840千円
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							
後継者及び担い手の確保・育成					→		
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							
鯛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備					→		
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							
鯛ビバ沢渡施設整備にかか る事業計画策定	鯛ビバ沢渡施設整備	鯛ビバ沢渡施設 オープン					



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進					→	主要事業者の販売額 (H27:50,000千円)	80,000千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進							
商品開発、販売促進などによる経営の持続化					→	うち、鯛ビバ沢渡の販売額 (H27:20,000千円)	41,840千円
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							
後継者及び担い手の確保・育成					→		
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							
鯛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備					→		
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							
鯛ビバ沢渡施設整備にかか る事業計画策定	鯛ビバ沢渡施設整備・ オープン	イベント等の実施による集客、一般社団法人仁淀ブルー観光協議会等と連携した ツアー客の受入、情報発信					

平成 29 年度高幡地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

高幡地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）

No.	平成28年度	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町
		11	12	7	9	14
1	地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上	●	●		●	
2	JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化	●	●		●	
3	基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化		●			●
4	中山間地域での持続可能な農林業経営の確立			●	●	
5	葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大	●				
6	大野見米のブランド化		●			
7	梶原産キジ肉の生産・販売の拡大			●		
8	つの茶販売戦略				●	
9	みどり市を核とした「地消地産」の推進					●
10	四万十の栗再生プロジェクト					●
11	滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり					●
12	地域資源活用推進と加工場等の整備					●
13	四万十町畑作振興プロジェクト					●
14	四万十のうまい豚プロジェクト					●
15	「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進		●			●
16	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進			●	●	
17	県産竹材を活用した加工品づくりのための竹材の安定供給	●				
18	四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出		●			
19	循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用			●		
20	津野町森林・林業再生プロジェクト				●	
21	美味しい！須崎の魚（いお）消費拡大プロジェクト	●				
22	野見湾産養殖カンパチの販路拡大	●				
23	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大	●				
24	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化	●				
25	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進		●			
26	大正町市場商店街活性化事業		●			
27	久礼の浜屋敷整備事業		●			
28	「中土佐のうまいもん食わしちゃお」商品開発プロジェクト		●			
29	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進			●		
30	津野町地産地消・外商販売戦略				●	
31	四万十町拠点ビジネス体制の強化					●
32	高幡地域における広域観光の推進	●	●	●	●	●
33	須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化	●				
34	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備	●				
35	中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進		●			
36	梶原町の体験型・滞在型観光の推進			●		
37	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～				●	
38	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり					●
39	四万十町観光交流促進事業					●
40	四万十町大正地区の地域経済活性化の核となる事業への取組					●
41	しまんと時間満喫プロジェクト					●
42	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化			●		

【第3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表】

【高幡地域】

須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	No.	平成29年度
●	●		●		1	地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上
●	●		●		2	JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化
	●			●	3	基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化
		●	●		4	中山間地域での持続可能な農林業経営の確立
●					5	葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大
	●				6	大野見米のブランド化
		●			7	梶原産キジ肉の生産・販売の拡大
		●			8	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化
			●		9	つの茶販売戦略
				●	10	みどり市を核とした「地消地産」の推進
				●	11	四万十の栗再生プロジェクト
				●	12	滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり
				●	13	地域資源活用推進と加工場等の整備
				●	14	四万十町畑作振興プロジェクト
				●	15	四万十のうまい豚プロジェクト
	●			●	16	「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進
		●	●		17	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進
●					18	県産竹材を活用した加工品づくりのための竹材の安定供給
	●				19	四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出
		●			20	循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用
			●		21	津野町森林・林業再生プロジェクト
●					22	美味しい！須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト
●					23	野見湾産養殖カンパチの販路拡大
●					24	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大
●					25	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化
	●				26	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進
	●				27	大正町市場商店街活性化事業
	●				28	中土佐町SEAプロジェクト
	●				29	「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト
		●			30	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進
			●		31	津野町地産地消・外商販売戦略
				●	32	四万十町拠点ビジネス体制の強化
●	●	●	●	●	33	高幡地域における広域観光の推進
●					34	須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化
●					35	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備
	●				36	中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進
		●			37	梶原町の体験型・滞在型観光の推進
			●		38	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～
				●	39	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり
				●	40	四万十町観光交流促進事業
				●	41	四万十町大正地区の地域経済活性化の核となる事業への取組
				●	42	しまんと時間満喫プロジェクト

高幡地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充等) なし

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大 《須崎市》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>須崎市浦ノ内地区産の葉にんにく、国産の麦味噌、白味噌を使用しためたを生産しており、東京の料亭やホテルなどに販売している。今後、契約農家等での増産を行い、新商品の開発に取り組むとともに販路の拡大を行う。</p>	<p>・(株)アースエイド</p>	<p>アクションプランの取組開始：H25 ・産業振興総合支援事業費補助金による冷凍庫、フードプロセッサ一等を整備(H25) ◆冷凍庫等必要機器の整備により、生産体制の強化充実を図ることができた。</p> <p>・展示商談会等への参加(H25～H27) ◆県内外のスーパー等での新規取引先の開拓に繋げた。</p> <p>・新商品の開発(H25～H27) ◆高知県地場産業大賞地場産業奨励賞及び日本ソムリエ協会主催の調味料選手権2015にて審査員特別賞を受賞した(H27)。また、常温で取扱える商品(黒にんにく)を開発した。</p>	<p>・新商品の開発 ・取引先の確保 ・葉にんにくの成分による機能性分析</p>	<p>◆生産の拡大</p> <p>◆県内外での販路拡大及び海外市場への販路開拓</p> <p>◆葉にんにくの機能性調査</p>



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大 《須崎市》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>須崎市浦ノ内地区産の葉にんにく、国産の麦味噌、白味噌を使用しためたを生産しており、東京の料亭やホテルなどに販売している。今後、契約農家等での増産を行い、新商品の開発に取り組むとともに販路の拡大を行う。</p>	<p>・(株)アースエイド</p>	<p>アクションプランの取組開始：H25 ・産業振興総合支援事業費補助金による冷凍庫、フードプロセッサ一等を整備(H25) ◆冷凍庫等必要機器の整備により、生産体制の強化充実を図ることができた。</p> <p>・展示商談会等への参加(H25～28) ◆県内外のスーパー等での新規取引先の開拓に繋げた。</p> <p>・新商品の開発(H25～28) ◆高知県地場産業大賞地場産業奨励賞及び日本ソムリエ協会主催の調味料選手権2015にて審査員特別賞を受賞した(H27)。また、常温で取扱える商品(黒にんにく)を開発した(H28)。</p>	<p>・新商品の開発 ・取引先の確保 ・葉にんにくの成分による機能性分析</p>	<p>◆生産の拡大</p> <p>◆県内外での販路拡大及び海外市場への販路開拓</p> <p>◆葉にんにくの機能性調査</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産の拡大					→	売上高 (H26:5,719千円)	40,000千円
自社及び契約農家での葉にんにくの生産量増加							
新製品の開発及び生産量増加					→		
県内外での販路拡大及び海外市場への販路開拓							
広報活動の強化					→		
業務筋等への直接営業・国内商談会等への出展・参加							
国内外のイベントでの販売、コラボ商品の開発					→		
葉にんにくの機能性調査							
大学との連携による機能性調査(成分分析)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
生産の拡大					→	売上高 (H26:5,719千円)	40,000千円
自社及び契約農家での葉にんにくの生産量増加							
新製品の開発及び生産量増加					→		
県内外での販路拡大及び海外市場への販路開拓							
広報活動の強化					→		
業務筋等への直接営業・国内商談会等への出展・参加							
国内外のイベントでの販売、コラボ商品の開発					→		
葉にんにくの機能性調査							
機能性調査(成分分析)							

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
9 みどり市を核とした「地消地産」の推進 《四万十町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	みどり市の「産直コーナー」での野菜等の農産物の品揃えの強化や加工品の開発、さらに「手づくりキッチン」での弁当や惣菜の充実で販売額の増加を図り、地消地産による地域の農業者の所得向上を目指す。	・JA四万十	アクションプランの取組開始:H21 ・農産物の安定供給 ◆みどり市の販売部会員数が460人を達成し、農産物等の安定供給に努めた。 311人(H19)→460人(H27.11月末) ・「産直コーナー」での農産物の品揃えや加工品の開発(H21~27) ◆売上は、単価安の厳しい状況の中でわずかではあるが、年々増加し、加工品の開発販売にも取り組むなど農家所得の向上に努めた。 産直コーナー販売額: (H27.11月末:103百万円 前年対比:105%) ・「手づくりキッチン」での商品の充実(H25~27) ◆産業振興推進総合支援事業費補助金(総事業費約1億円)を活用して「手づくりキッチン」が「産直コーナー」に併設(H25)され、弁当や惣菜の販売を開始した。 手づくりキッチン販売額: (H27.11月末:21.5百万円: 前年対比:109%)	・野菜等の安定供給 ・「産直コーナー」「手づくりキッチン」の販売促進	◆野菜等の栽培推進 ◆「産直コーナー」での販促活動の充実 ◆「手づくりキッチン」での商品のブラッシュアップ



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
10 みどり市を核とした「地消地産」の推進 《四万十町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	みどり市の「産直コーナー」での野菜等の農産物の品揃えの強化や加工品の開発、さらに「手づくりキッチン」での弁当や惣菜の充実で販売額の増加を図り、地消地産による地域の農業者の所得向上を目指す。	・JA四万十	アクションプランの取組開始:H21 ・農産物の安定供給(H21~H28) ◆みどり市の販売部会員数が460人を達成し、農産物等の安定供給に努めた。 311人(H19)→464人(H28.11月末) ・「産直コーナー」での農産物の品揃えや加工品の開発(H21~28) ◆売上は、単価安の厳しい状況の中でわずかではあるが、年々増加し、加工品の開発販売にも取り組むなど農家所得の向上に努めた。 産直コーナー販売額: (H28.11月末:106,698千円 前年対比:106%) ・「手づくりキッチン」での商品の充実(H25~28) ◆産業振興推進総合支援事業費補助金(総事業費約1億円)を活用して「手づくりキッチン」が「産直コーナー」に併設(H25)され、弁当や惣菜の販売を開始した。 手づくりキッチン販売額: (H28.11月末:26,398千円: 前年対比:122%)	・野菜等の安定供給 ・「産直コーナー」「手づくりキッチン」の販売促進	◆野菜等の栽培推進 ◆「産直コーナー」での販促活動の充実 ◆「手づくりキッチン」での商品のブラッシュアップ

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
野菜等の栽培推進					→	「産直コーナー」の販売額 (H22:224,678千円) (H26:221,286千円) ※肉類の販売額含む	300,000千円
野菜等の周年安定供給の推進(栽培講習会、現地巡回指導、売れ筋商品の分析と作付計画の見直し)							
「産直コーナー」での販促活動の充実					→	「手づくりキッチン」の販売額 (H26:30,047千円)	32,000千円
販売促進(商品ディスプレイ、POP、表示、包装の充実、定期的なイベントの開催、接客方法の改善等)							
「手づくりキッチン」での商品のブラッシュアップ					→		
メニューの開発及び充実(地元の旬の食材を活用した商品開発、商品ディスプレイ、POP、表示、容器の充実等)							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
野菜等の栽培推進					→	「産直コーナー」の販売額 (H22:224,678千円) (H26:221,286千円) ※肉類の販売額含む	300,000千円
野菜等の周年安定供給の推進(栽培講習会、現地巡回指導、売れ筋商品の分析と作付計画の見直し)							
「産直コーナー」での販促活動の充実					→	「手づくりキッチン」の販売額 (H26:30,047千円)	35,000千円
販売促進(商品ディスプレイ、POP、表示、包装の充実、定期的なイベントの開催、接客方法の改善等)							
「手づくりキッチン」での商品のブラッシュアップ					→		
メニューの開発及び充実(地元の旬の食材を活用した商品開発、商品ディスプレイ、POP、表示、容器の充実等)							

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
生産拡大 栽培講習会、特選栗の推進・優良品種への改植の推進、有害鳥獣対策					原材料供給量 (JA集荷量) (H20:59t) (H22:56t) (H26:17t)	45t
担い手育成 モデル経営体・栗せんだ士育成、労働補充の仕組みづくり						
ブランド化 ・商標等の取得、情報発信 ・商品開発及び販路開拓						
施設整備 洗い機・加工機械・高機能冷蔵庫の導入、加工場など						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
生産拡大 栽培講習会、特選栗の推進・優良品種への改植の推進、有害鳥獣対策					原材料供給量 (JA集荷量) (H20:59t) (H22:56t) (H26:17t)	45t
担い手育成 モデル経営体・栗せんだ士育成、労働補充の仕組みづくり						
ブランド化 ・商標等の取得、情報発信 ・商品開発及び販路開拓						
施設整備 洗い機・加工機械・高機能冷蔵庫の導入、加工場などの整備						

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
地域資源の活用							
加工用地域資源の洗い出し(農、畜、林、水産物)	加工用農、畜、林、水産物の生産・集出荷体制の構築						
生姜の調査研究及び研究結果の活用を検討	生姜の知名度向上のためのPR活動						
新たな地域資源の掘り起し(新規有望作物の生産体制整備及び販路開拓)							
加工施設の整備							
市場調査	事業実施計画の作成	・実施設計 ・加工施設建設にかかる協議調整	加工施設建設及び周辺整備		運営開始		
商品開発と販路開拓							
加工商品の検討		加工商品の開発、販路開拓					
運営体制の構築							
<ul style="list-style-type: none"> 行政評価審査委員会による事業内容の審査 専門家の導入 連携事業者の検討 		加工施設運営・管理方法の検討					
				職員研修			



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
地域資源の活用							
加工用地域資源の洗い出し(農、畜、林、水産物)	加工用農、畜、林、水産物の生産・集出荷体制の構築						
生姜の調査研究及び研究結果の活用を検討	生姜の知名度向上のためのPR活動						
新たな地域資源の掘り起し(新規有望作物の生産体制整備及び販路開拓)							
加工施設の整備							
周辺土地調査	・基本計画作成 ・立地場所の選定	実施設計	加工施設建設	運営開始			
商品開発と販路開拓							
加工商品の検討		加工商品の開発、販路開拓					
運営体制の構築							
<ul style="list-style-type: none"> 行政評価審査委員会による事業内容の審査 専門家の導入 連携事業者の検討 		加工施設運営・管理方法の検討					
				職員研修			

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 四万十川源流クロモジ等 中山間資源活用ビジネス の創出 《中土佐町》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	四万十源流域のクロモジや ヒノキ等の資源を活用して、 原料調達・加工・製品化まで 廃棄物を発生させないゼロエ ミッション型システムによるビ ジネスを創出し、地元関係機 関と連携して、これらの商品 を活用することにより地域の 魅力度向上を図る。	・高知精工(株)	アクションプランの取組開始:H26 ・資源の確保(H26~27) ◆クロモジ賦存量調査を実施し、ク ロモジ自体は、高幡地域(中土佐、 津野、樺原)に枯渇せずに十分取 穫できる量であることを確認でき ている。 ・工業技術センターとの連携(H26 ~27) ◆工業技術センター及びその共同 研究グループにおいて、シャン プー、トリミングウォーター、クロモジ 配合茶等の試作を行い、一定の評 価を得た。 ・高知精工(株)と工業技術センター が共同で、低温抽出乾燥試験装置 を製作し、クロモジ等の抽出支援を 実施(H26~27) ◆工業技術センターの紹介により、 クロモジを使用し食品メーカーでの 試作が順調に進んでいる。	・クロモジ採取可能時期 が限定(5~10月)されて いることに対応できる複 合的な商品の開発 ・クロモジ原料の採取地・ 時期の把握 ・マーケット開拓	◆事業計画策定 ◆商品開発・市場開拓 等 ◆施設・設備整備



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 四万十川源流クロモジ等 中山間資源活用ビジネス の創出 《中土佐町》 <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	四万十源流域のクロモジやヒ ノキ等の資源を活用して、原料 調達・加工・製品化まで廃 棄物を発生させないゼロエ ミッション型システムによるビ ジネスを創出し、地元関係機 関と連携して、これらの商品 を活用することにより地域の 魅力度向上を図る。	・高知精工(株)	アクションプランの取組開始:H26 ・資源の確保(H26~28) ◆クロモジ賦存量調査を実施し、ク ロモジ自体は、高幡地域(中土佐、 津野、樺原)に枯渇せずに十分取 穫できる量であることを確認でき ている。 ・工業技術センターとの連携(H26 ~28) ◆工業技術センター及びその共同 研究グループにおいて、シャン プー、トリミングウォーター、クロモジ 配合茶等の試作を行い、一定の評 価を得た。 ・高知精工(株)と工業技術センター が共同で、低温抽出乾燥試験装置 を製作し、クロモジ等の抽出支援を 実施(H26~28) ◆工業技術センターの紹介により、 クロモジを使用し食品メーカーでの 試作が順調に進んでいる。	・クロモジ採取可能時期 が限定(5~10月)されて いることに対応できる複 合的な商品の開発 ・クロモジ原料の採取地・ 時期の把握 ・マーケット開拓	◆事業計画策定 ◆商品開発・市場開拓 等 ◆施設・設備整備

第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
事業計画策定 ・小規模簡易生産機器整備 ・パイロット生産・試作品製作 ・試作品テストマーケティング					→	商品売上高 (H26:5,701千円)	7,000千円
商品開発・市場開拓等 ・クロモジ等製品の本格的な生産及び営業展開 ・クロモジ等製品の商品開発とマーケティング(市場開拓) ・その他の植物資源の商品開発とマーケティング							
施設・設備整備 ・加工場の改修 ・加工機器類の整備					→		



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
事業計画策定 ・小規模簡易生産機器整備 ・パイロット生産・試作品製作 ・試作品テストマーケティング					→	商品売上高 (H26:5,701千円)	10,000千円
商品開発・市場開拓等 ・クロモジ等製品の本格的な生産及び営業展開 ・クロモジ等製品の商品開発とマーケティング(市場開拓) ・その他の植物資源の商品開発とマーケティング							
施設・設備整備 ・加工場の改修 ・加工機器類の整備					→		

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
山元貯木場の拡張等 ・貯木場拡張 ・選木機の導入 ・搬入環境の整備					山元貯木場木材取扱 数量(1月～12月) (H27:17,000㎡)	23,000㎡
地域資源活用システムの構築 ・大規模バイオマス発電施設への木質チップの供給 ・木質バイオマス(チップ)製造事業者への支援 ・林家所得向上・地域経済活性化のための地域通貨上乗せの検討						



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
山元貯木場の拡張及び取扱量の拡大等 ・貯木場拡張 ・選木機の導入 ・搬入環境の整備					山元貯木場木材取扱 数量(1～12月) (H27:17,000㎡)	23,000㎡
地域資源活用システムの構築 ・大規模バイオマス発電施設への木質チップの供給 ・木質バイオマス(チップ)製造事業者への支援 ・林家所得向上・地域経済活性化のための地域通貨上乗せの検討						

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 久礼の浜屋敷整備事業 《中土佐町》	久礼新港背後地において、中土佐町の豊かな自然や食料、伝統文化や人といった地域資源を有効に活用して、町全体の賑わいの創出につながる施設等を整備し、所得向上や雇用の創出をはじめ町全体に経済効果を波及させる。	・中土佐町	アクションプランの取組開始:H21 ・久礼新港背後地利用計画(H21~24) ◆久礼新港の背後地利用については、「まちづくり検討委員会」や関係者と賑わいの創出に繋がる施設整備に向けて協議検討するとともに、用地取得や経営計画を策定した。 ・庁内プロジェクトチームを立ち上げ、改めて実施計画を検討(H26.12月~) ・施設を道の駅として位置付けることができるよう、関係機関と調整(H27)	・施設の運営管理者の決定及び育成 ・計画に参画する多様なニーズを持つ関係者との調整 ・道の駅登録に向けた関係機関との内容及びスケジュール調整	・久礼の浜屋敷(仮称)施設等の整備 ・賑わいの創出への展開

修正前



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 中土佐町SEAプロジェクト 《中土佐町》	久礼新港背後地において、中土佐町の豊かな自然や食料、伝統文化や人といった地域資源を有効に活用して、町全体の賑わいの創出につながる施設等を整備し、所得向上や雇用の創出をはじめ町全体に経済効果を波及させる。	・中土佐町	アクションプランの取組開始:H21 ・久礼新港背後地利用計画(H21~24) ◆久礼新港の背後地利用については、「まちづくり検討委員会」や関係者と賑わいの創出に繋がる施設整備に向けて協議検討するとともに、用地取得や経営計画を策定した。 ・庁内プロジェクトチームを立ち上げ、改めて実施計画を検討(H26~) ・施設を道の駅として位置付けることができるよう、関係機関と調整(H27) ・(株)SEAプロジェクト設立(H28) ・建設工事に着手(H28) ・出資法人として8社が参画(H28)	・施設の運営管理者の決定及び育成 ・計画に参画する多様なニーズを持つ関係者との調整 ・道の駅登録に向けた関係機関との内容及びスケジュール調整 ・直販商品の品質・サービスの向上に向けた研修等の実施およびメニュー開発	・道の駅施設等の整備 ・賑わいの創出への展開

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
久礼の浜屋敷(仮称)施設等の整備 <ul style="list-style-type: none"> 施設の活用に関して協議、検討 運営管理者の検討及び運営体制の確立及び地元協議 運営管理者の決定 実施設計 施設整備 道の駅登録調整 						
賑わいの創出への展開 <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の掘り起こし 商品開発、メニュー検討 運営方針の協議検討 	<ul style="list-style-type: none"> 運営開始 賑わいの創出への営業方策の展開 					



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
道の駅施設等の整備 <ul style="list-style-type: none"> 施設の活用に関して協議、検討 運営管理者の検討及び運営体制の確立及び地元協議 運営管理者の決定 実施設計 施設整備 道の駅登録調整 					年間売上額	340,000千円
賑わいの創出への展開 <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の掘り起こし 商品開発、メニュー検討 運営方針の協議検討 	<ul style="list-style-type: none"> 運営開始 賑わいの創出への営業方策の展開 					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域食材、加工品の総合販売ビジネス					→	あぐり窪川販売額 (H22:2.9億円) (H26:2.8億円)	4.2億円
四万十町スタイルに基づいた商品の磨き上げ、生産販売、PR							
フリーマーケットの充実、農作物取扱量の確保							
加工場を活用した新たな商品開発、販売、PR					→		
町内流通体制の整備及び強化							
町内直販所への流通体制の整備	出荷者・集荷場所・集荷物量・集荷物の種類の増加を行うことによる、直販所の充実						
外商戦略					→		
外商拠点整備に向けた検討 ・市場調査 ・人材育成 ・アドバイザーの招へい	町外に外商拠点を開設						
地域産品のPR活動(イベント出店、ふるさと納税等)							
運営体制の強化					→		
新たな事業主体の組織化の検討	新たな事業主体へ業務の委託、運営						
人材育成							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域食材、加工品の総合販売ビジネス					→	あぐり窪川販売額 (H22:2.9億円) (H26:2.8億円)	4.2億円
四万十町スタイルに基づいた商品の磨き上げ、生産販売、PR							
フリーマーケットの充実、農作物取扱量の確保							
加工場を活用した新たな商品開発、販売、PR					→		
町内流通体制の整備及び強化							
町内直販所への流通体制の整備	出荷者・集荷場所・集荷物量・集荷物の種類の増加を行うことによる、直販所の充実						
外商戦略					→		
外商拠点整備に向けた検討 ・市場調査 ・アドバイザーの招へい	外商拠点の開設						
産業人材の育成							
地域産品のPR活動(イベント出店、ふるさと納税等)					→		
運営体制の強化							
事業主体の検討	事業主体へ業務の委託、運営						

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
受入体制の充実・整備					施設等利用者数 (H22:80万人) (H26:67万人)	90万人	
<ul style="list-style-type: none"> 観光ガイド(四万十あちこちたんね隊)の育成強化とよりよいサービスの提供 四万十川流域での文化、景観、食、ものづくりを活かした周遊ルートの作成 サイクリング愛好者の受入体制の充実 庁舎跡地活用の検討 							
観光資源の造成・磨き上げ							
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした体験プログラムの造成、磨き上げ 体験プログラム内容の充実 							
情報発信力の強化							
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内板設置等によるPR 道の駅等拠点との連携による情報発信 四季折々の旬な観光情報の発信 							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
受入体制の充実・整備					施設等利用者数 (H22:80万人) (H26:67万人)	90万人	
<ul style="list-style-type: none"> 観光ガイド(四万十あちこちたんね隊)の育成強化とよりよいサービスの提供 四万十川流域での文化、景観、食、ものづくりを活かした周遊ルートの作成 サイクリング愛好者の受入体制の充実 庁舎跡地活用の検討 							
観光資源の造成・磨き上げ							
<ul style="list-style-type: none"> 自然や文化、食を活かした体験プログラムの造成、磨き上げ 体験プログラム内容の充実 							
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">谷千城を中心とした歴史資源の磨き上げ</div>							
情報発信力の強化							
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内板設置等によるPR 道の駅等拠点との連携による情報発信 四季折々の旬な観光情報の発信 							

平成 29 年度幡多地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

幡多地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度））

No.	現在（平成28年度）	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	
		13	8	15	11	7	8	
1	高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業	●						
2	四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業			●				①削除
3	6次産業化の推進による地域農業振興事業				●			
4	三原村ユズ産地化計画の推進事業					●		
5	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業			●				
6	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業				●			
7	すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業	●						
8	すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業	●						
9	レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業	●						
10	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業	●						
11	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業	●						
12	四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業			●				②削除
13	キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業				●			
14	大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大事業				●			
15	衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業				●			
16	直七の生産、加工、販売の促進事業	●						③削除
17	昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業	●						
18	土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト		●					
19	だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業		●					
20	幡多地域産品販売体制構築事業	●	●	●	●	●	●	
21	「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化推進事業			●				
22	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業			●				
23	四万十牛の生産・販売拡大事業			●				
24	売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)			●				
25	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業			●				
26	地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業			●				
27	四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業			●				
28	素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業			●				
29	大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)				●			
30	莓を核とした6次産業化確立事業				●			
31	三原村のどぶろくによる地域活性化事業					●		
32	地域産トマトの加工・販売の推進事業					●		
33	天日海塩を活用したビジネス推進事業						●	
34	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業						●	
35	幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業						●	
36	地域資源を活かした防災関連商品推進事業						●	
37	幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト	●	●	●	●	●	●	
38	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト	●	●	●	●	●	●	
39	宿毛市観光振興事業	●						
40	竜串地域観光再生プロジェクト		●					
41	土佐清水まるごと戦略観光展開事業		●					
42	土佐清水ジオパーク推進事業		●					
43	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光推進事業			●				
44	大月町自然体験・環境教育交流推進事業				●			
45	三原村の魅力を活かした滞在型観光推進事業					●		
46	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光推進事業						●	
47	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業	●						

と第3期計画Ver.2 (H29年度) の対比表

【幡多地域】

	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	改定案(平成29年度)
	13	11	15	10	7	8		
①追加	●						1	高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業
	●						2	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業
	●						3	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業
		●					4	四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業
					●		5	三原村ユズ産地化計画の推進事業
		●					6	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売推進事業
				●			7	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
	●			●			8	すくも湾漁協と民間事業者の連携による水産物の加工・販売事業
	●						9	すくも湾漁協による水産物の加工・販売事業
	●						10	レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業
	●						11	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業
	●						12	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業
		●					13	四万十川の環境と資源を活用した産業振興事業
				●			14	キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業
				●			15	衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業
	●	●	●	●	●	●	16	幡多地域産品販売体制構築事業
	●						17	直七の生産、加工、販売の促進事業
	●						18	昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大事業
		●					19	土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト
		●					20	だしが良くでる宗田節商品の販路拡大大促進事業
②追加		●					21	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業
③追加		●					22	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業
			●				23	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業
			●				24	四万十牛の生産・販売拡大事業
			●				25	売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)
			●				26	四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業
			●				27	地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業
			●				28	四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業
			●				29	素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業
④追加		●					30	遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業
				●			31	大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)
				●			32	莓を核とした6次産業化確立事業
					●		33	三原村のどぶろくによる地域活性化事業
					●		34	地域産トマトの加工・販売の推進事業
						●	35	天日海塩を活用したビジネス推進事業
						●	36	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業
						●	37	幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業
						●	38	地域資源を活かした防災関連商品推進事業
	●	●	●	●	●	●	39	幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト
	●	●	●	●	●	●	40	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト
	●						41	宿毛市観光振興事業
	●						42	竜串地域観光再生プロジェクト
	●						43	土佐清水まるごと戦略観光展開事業
	●						44	土佐清水ジオパーク推進事業
		●					45	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光推進事業
			●				46	大月町自然体験・環境教育交流推進事業
					●		47	三原村の魅力を活かした滞在型観光推進事業
						●	48	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光推進事業

幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業 （土佐清水市） 【事業主体】（株）足摺農園、土佐清水市	土佐清水産長期肥育鶏のブランド化を目指して、地域連携による鶏の生産加工の処理体制を構築するとともに、県内外での販売流通の仕組みを確立することにより、食の魅力を活かした観光振興と地域経済の活性化に繋げていく。
2	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業（土佐清水市） 【事業主体】土佐清水沸騰社中、土佐清水外商流通組合、土佐清水市、（株）郷土活性化組合	地域の生産者や民間事業者等が連携を図りながら、取引拡大に向け、地域産品を活用した新たな加工商品を開発・販売するとともに、地域食材の調達の仕事や流通システムの構築に取り組むことにより、メジカ産業をはじめとする基幹産業の再生を図る。
3	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業（土佐清水市） 【事業主体】土佐清水市、土佐清水市観光協会、民間事業者、漁業協同組合等	あしずり港等を核として、海洋資源の活用による遊漁をはじめとした体験型交流事業の仕組みづくりを推進することにより、交流人口の拡大に繋げ、漁村集落の活性化を図る。
4	遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業（四万十市） 【事業主体】四万十市、民間事業者	中心商店街内の遊休地を活用して、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域商業の拠点施設を整備し、県内外の観光客等に対して、四万十地域の産品等の情報発信を行うことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらす、中心市街地の活性化を図る。

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 3 6次産業化の推進による地域農業振興事業（大月町） 【事業主体】（株）大月農園	当該事業者の主要作物であるケールについて、取引先との栽培・加工に関する契約の終了に伴い、事業が大幅に縮小されることとなり、今後の新たな事業展開も見込めないことから削除する。
2	No. 14 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大事業（大月町） 【事業主体】大月町、（株）山崎技研	産業成長戦略の位置付けのもとに全県的な支援を継続していく。
3	No. 21 「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化推進事業（四万十市） 【事業主体】まちづくり四万十（株）	「いちじょこさん市場」の経営のあり方や方向性を見直し、今後の新たな事業展開が見込まれないことから削除する。

■その他(拡充等) なし

有望素材シート（29年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐清水市	素材名	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業
		関連素材	

現状・課題	<p><現状></p> <p>土佐清水市は古くから水産業を基幹産業として栄え、特に宗田節の原魚として日本一の水揚げを誇る「宗田かつお」やブランド魚の「清水サバ」など様々な魚介類が水揚げされ、市内外で流通している。</p> <p>一方、養鶏業（畜産業）では高知県の推進する土佐はちきん地鶏の肥育も行っているが、契約により加工・販売の権限を持たないため、市内で流通することがなく地産地消に繋がりにくい。</p> <p>そこで、長期肥育鶏の生産・販売を行っている先進企業の協力を得て、地産地消・外商に繋がる素材として長期肥育鶏の生産を始めた。試験肥育を行い生産された試作品の試食アンケートを行ったところ、好評を得ており、今後の販路開拓が期待できることから、現在、長期肥育鶏の生産体制の確立を目指している。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設等は天候等に左右されない水産物以外のメイン料理となりうる素材が必要。 ・加工処理施設がないため独自販売するには市外へ加工処理の委託が必要。 ・肉用鶏のブランド化には市内旅館業者、飲食業者へのPR等により、地産地消に繋がるシステム化・商品化が必要。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○施設整備（加工処理施設） <ul style="list-style-type: none"> ・協力先企業の農場での長期研修の実施による加工処理技術の習得。 ・加工処理施設の整備による、市内での生産出荷体制の構築。 ・生産、加工に備え4月から1名新規雇用予定。 ○生産体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・長期肥育（5ヵ月）に係る試験飼育の実施。市内養鶏農家との肥育ノウハウ共有による生産羽数の増加、安定供給できる生産体制の確立。 ○流通体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・連携事業者を介した関西エリア等の飲食店への販路開拓。 商品化した鶏肉について市内飲食店、宿泊施設への流通を促進するとともに、市民へのPRによる鶏肉の食文化の定着。 ・流通体制の確立による生産規模拡大等で新たな雇用（パートを含む）の場の創出。

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業
	関係市町村名	土佐清水市

事業の概要	<p>土佐清水産長期肥育鶏のブランド化を目指して、地域連携による鶏の生産加工の処理体制を構築するとともに、県内外での販売流通の仕組みを確立することにより、食の魅力を活かした観光振興と地域経済の活性化に繋げていく。</p> <p><加工処理施設の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積約100㎡の加工処理施設の整備 ・先進地（協力先企業の農場）での加工処理技術習得に係る人材育成（長期研修2ヵ月） <p><生産体制の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内養鶏農家への肥育に係るノウハウ提供、サポートによる生産農家の拡大 <p><流通体制の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西エリアの販路開拓 ・市内飲食業者、宿泊施設へのPRによる、市内での流通（消費）促進。 ・学校給食での利用促進
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)足摺農園 ・土佐清水市 <p>【関係機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知はた ・アグリビジネス高知(株) ・旅館組合 ・飲食業 ・養鶏業者
-------	--

取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
加工処理施設の整備	加工処理施設の建設設計書の作成	加工処理施設の建設	鶏舎建設(規模拡大)の検討		
生産体制の整備	肥育ノウハウの蓄積	肥育ノウハウの蓄積・改善の継続			
流通体制の整備	関西エリアの販路開拓	関西エリアを中心にPR・販路拡大活動			
	市内飲食業・宿泊施設での利用に向けたPR・販売体制の構築				
	学校給食等での利用促進活動の展開				

項目(期末:月末)	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
生産羽数	1,000羽 200羽×5サイクル	1,750羽 350羽×5サイクル	3,000羽 600羽×5サイクル	3,000羽 600羽×5サイクル	3,000羽 600羽×5サイクル
加工出荷額(千円)	504千円/月 3,528千円/年	504千円/5月・882千円/7月 8,694千円/年	882千円/5月・1,512千円/7月 14,994千円/年	1,512千円/月 18,144千円/年	1,512千円/月 18,144千円/年
【設定根拠】	【推計の考え方】 生産羽数：協力先企業の農場を参考に同程度（600羽）の生産体制を確立する。 出荷額：育成率80%、A品比率70%、平均重量6.2kg（製品量40%・2.5kg）				
	【考え方】				

総事業費等	<p>総事業費 25,000千円 (うち 29年度 25,000千円)</p> <p>(内訳 国: 県: 12,500 市町村: 6,250 その他: 6,250)</p> <p>想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)</p> <p>国: 県: 産振総合補助金 人的支援: 事業計画策定及び販売促進活動の支援</p> <p>その他:</p>
備考	

追加項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 長期肥育鶏の生産加工・流通体制確立事業 《土佐清水市》	土佐清水産長期肥育鶏のブランド化を目指して、地域連携による鶏の生産加工の処理体制を構築するとともに、県内外での販売流通の仕組みを確立することにより、食の魅力を活かした観光振興と地域経済の活性化に繋げていく。	・(株)足摺農園 ・土佐清水市	アクションプランの取組開始：H29		◆加工処理施設の整備 ◆生産体制の整備 ◆流通体制の整備

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	<p>加工処理施設の整備</p> <p>加工処理施設の建設計画の作成</p> <p>加工処理施設の建設</p> <p>鶏舎建設(規模拡大)の検討</p>				生産羽数 (H27:0羽)	3,000羽
	<p>生産体制の整備</p> <p>肥育ノウハウの蓄積</p> <p>肥育ノウハウの蓄積・改善の継続</p>				加工出荷額 (H27:0円)	14,994千円
	<p>流通販売体制の整備</p> <p>関西エリアの販路開拓</p> <p>関西エリアを中心にPR・販路拡大活動</p> <p>市内飲食業・宿泊施設での利用に向けたPR・販売体制の構築</p> <p>学校給食等での利用促進活動の展開</p>					

有望素材シート（29年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐清水市	素材名	土佐清水アンテナショップへの流通システムの構築及び地域産品を活用した加工商品の開発
		関連素材	

現状・課題	<p><現状></p> <p>平成27年5月、神戸を中心に居酒屋を展開している(株)ワールド・ワンと土佐清水市が連携協定を結び、同年6月には(株)ワールド・ワンが土佐清水市のアンテナショップも兼ねた居酒屋「土佐清水ワールド雲井通本店」をオープンした。それに合わせ、土佐清水市の各事業者が連携して商品の販売促進に取り組むこととなり、(株)ワールド・ワンとの調整等を行う土佐清水沸騰社中や土佐清水外商流通組合が結成された。</p> <p>その後、(株)ワールド・ワンは平成27年9月に「土佐清水ワールド磯上通店」、平成28年7月には清水さばが回遊する「土佐清水ワールド生けすセンター」をオープンし、店舗の売上等も順調に推移している。さらに、幡多6市町村と連携協定を結び、幡多の食材を使った「土佐清水ワールド幡多バル」の出店を予定しているほか、東京や神戸、高知などへの出店も計画しており店舗数が増えていく予定である。</p>
	<p><課題></p> <p>今後、取引店舗数が増えていくことにより、土佐清水市内の生産者や事業者等の商品や生産物の取引量が増えるとともに、地域産品を活用した新たな加工商品の開発等に繋がり売上増や雇用創出が期待できるなど、地域経済への効果が見込まれる。一方、現状の流通は各個店での個別発送対応となっており、輸送コストが高くなるのが課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者や加工事業者が事業推進に参加しやすい仕組みづくりが必要 現在の個別発送では輸送コストがボトルネックとなり、取引量の拡大が見込めない 各市町村及び生産者、加工事業者との連携の仕組みづくりが必要 取引店舗数の増加と併せて、付加価値の向上等により収益増加に繋げることが必要 お客様の満足度の向上に向けて、継続的な新商品の提供などの取り組みが不可欠
方向性の	<ul style="list-style-type: none"> 流通の効率化や送料の軽減を図るため、流通システムの構築を目指していく。 現在提供している地域食材、加工品等の販売促進を行いながら、地域産品を活用した新たな加工商品の開発・販売を行っていく。

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業
	関係市町村名	土佐清水市

事業の概要	<p>地域の生産者や民間事業者等が連携を図りながら、取引拡大に向け、地域産品を活用した新たな加工商品を開発・販売するとともに、地域食材の調達の手組みや流通システムの構築に取り組むことにより、メジカ産業をはじめとする基幹産業の再生を図る。</p> <p>(1) 流通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画の策定 各市町村及び生産者、加工事業者との連携 流通システムの構築 <p>(2) 地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域食材や加工品等の販売促進 地域産品の掘り起こし 加工商品の開発 加工商品の生産施設の検討 					
	事業主体等	<p>【事業主体】</p> <p>・土佐清水沸騰社中 ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 ・(株)郷土活性化組合</p> <p>【関係機関】</p>				
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	流通システムの構築	事業計画の策定	流通システムの構築・検証改善			
地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進		各市町村及び生産者、加工事業者との協議・調整				
		地域食材や加工品等の販売促進				
		地域産品の掘り起こし				
		加工商品の開発	加工商品の生産施設の検討			
				加工商品の生産施設の整備		
指標・目標	項目 (期末： 月末)	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	【設定根拠】	【推計の考え方】				

総事業費等	総事業費 (内訳 国： 千円 うち 29年度 千円 市町村： 千円 其他：)
	想定する支援事業 (補助金名称、人的支援の内容、その他) 国： 県： 市町村： 人的支援： 其他：
備考	

追加項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 地域産品を活用した加工商品の開発販売・流通システム構築推進事業 《土佐清水市》	地域の生産者や民間事業者等が連携を図りながら、取引拡大に向け、地域産品を活用した新たな加工商品を開発・販売するとともに、地域食材の調達の仕事や流通システムの構築に取り組むことにより、メジカ産業をはじめとする基幹産業の再生を図る。	・土佐清水沸騰社中 ・土佐清水外商流通組合 ・土佐清水市 ・(株)郷土活性化組合	アクションプランの取組開始：H29		◆流通システムの構築 ◆地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	流通システムの構築					
	事業計画の策定		流通システムの構築・検証改善			
	各市町村及び生産者、加工事業者との協議・調整					
	地域産品を活用した加工商品の開発・販売促進					
	地域食材や加工品等の販売促進					
	地域産品の掘り起こし					
	加工商品の開発					
	加工商品の生産施設の検討			加工商品の生産施設の整備		

有望素材シート（29年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐清水市	素材名	土佐清水の環境、魚、人
		関連素材	

現状・課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、土佐清水市では、滞在型・体験型観光の推進による交流人口の拡大に向け、県内外はもとより国外への観光商品等のプロモーションによる情報発信を行うとともに、幕末維新博に向けた施設整備等の磨き上げ、受入体制の強化及び新たな体験プログラムの造成などに幡多広域観光協議会と連携しながら取り組んでいる。 ・近年では、土佐清水の大きな魅力の一つである海を活かして、シーカヤックやスキューバダイビング、釣りなど、様々なアウトドアアクティビティのフィールドとして活用されている。 ・しかしながら、漁村集落の活性化に向け、こうした交流人口の拡大に向けた取り組みと連携した活動を行っている漁村は少ない現状である。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の漁村集落の活性化に向け、豊かな海洋資源を活用した漁村ならではの食等の提供や、昔ながらの漁法・歴史・伝統文化の活用により、体験交流等を拡大させるための仕組みづくりが大きな課題となっている。 ・家族旅行をはじめ、社員旅行など一般の来客者の増加を図るためには、アウトドアアクティビティの場を提供するだけでなく、食の提供や漁村体験など、地域と連携して来客者に楽しんでいただけるメニューづくりや受入体制の構築及び体験交流の安全・安心なサービスの提供、遊漁のノウハウの習得など、サービス業として受入側の意識改革やスキルの習得が課題である。 ・特に、遊漁において、家族の宿泊客をターゲットとする場合、釣った魚をその日のうちに食事として提供することや、自宅に持ち帰り、手軽に食べることができるフィレ等への加工や自宅への宅配サービスの提供が求められている。 ・地域の多様な事業者との連携による漁村集落の交流人口拡大に向けたPRの展開が必要である。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村集落の活性化に向け、土佐清水の豊かな自然や海洋資源を活用した遊漁をはじめとする様々なアウトドアアクティビティを組み合わせた複合的な体験型交流メニューづくり、受入の仕組みづくり、PR展開の仕組みづくりに地域の多様な事業者と連携して取り組むことで、交流人口の拡大を図る。

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業
	関係市町村名	土佐清水市

事業の概要	<p>あしずり港等を核として、海洋資源の活用による遊漁をはじめとした体験型交流事業の仕組みづくりを推進することにより、交流人口の拡大に繋げ、漁村集落の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メニューづくり <ul style="list-style-type: none"> ・あしずり港を中心とした遊漁船業や漁港等の施設を活用した釣堀等の検討と運営ノウハウの習得 ・遊漁や漁村ならではの食・歴史・文化等を活用した体験メニューづくり ○受入体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・遊漁船の運営や釣堀等における円滑な魚の供給体制や畜養ノウハウの習得、遊漁船業を運営していくために必要なスキルの向上 ・地域と連携し、来客者を対象とした食事や弁当の提供、また、釣堀で釣った魚の高鮮度処理及び家庭でおいしく手軽に食べられるようフィレ加工や客宅へ発送する仕組みの構築 ○誘客の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・東海、関東、東北地方の旅行客を対象とした旅行会社等やレンタカー業者と連携した誘客促進の仕組みづくり ・社員旅行やスポーツ合宿をターゲットとした誘客促進の仕組みづくり
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】 土佐清水市、土佐清水市観光協会、民間事業者、漁業協同組合等</p> <p>【関係機関】</p>
-------	---

取組手順	事業実施【H29】	1年後【H29】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
漁村集落等を活用したメニューづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・視察・研修・適地の検討 ・多様な関係者等との協議の場づくり ・メニューの洗い出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・釣堀等メニューの事業化 ・視察・研修 			
多様な事業者と連携した受入体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・視察、研修 ・地域等との連携協議 ・受入に必要な手続（遊漁船業等） ・運営方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入に必要なサービス、施設等の整備 ・運営方法の構築・改善 			
誘客の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューづくり及び誘客計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な事業者と連携したPRと販売促進の展開 			

指標・目標	項目（期末：月末）	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	来客数	1,000人	1,300人	1,600人	1,900人	
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年は、観光協会の会員である民間事業者のシーカヤック、トーイングチューブなどの入込来客数(300人) ・H29年度以降は、幕末維新博と連携した広報PRによる入込客数の増加を図る。また、受入体制づくりや誘客促進活動の展開などに加え、受入方法の改善によるサービスの向上を図ることで体験内容の充実・強化を図り、新たな客層を開拓してリピーター等の増加につなげる 				
		【考え方】				

総事業費等	<p>総事業費（内訳） 千円（うち 29年度 千円）</p> <p>国： 県： 市町村： その他：</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）</p> <p>国： 県： 人的支援：</p> <p>その他：</p>
備考	

追加項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 海洋資源を活かした遊漁等による体験型交流推進事業 ＜土佐清水市＞	あしずり港等を核として、海洋資源の活用による遊漁をはじめとした体験型交流事業の仕組みづくりを推進することにより、交流人口の拡大に繋げ、漁村集落の活性化を図る。	・土佐清水市 ・土佐清水市観光協会 ・民間事業者 ・漁業協同組合等	アクションプランの取組開始：H29		◆漁村集落等を活用したメニューづくり ◆多様な事業者と連携した受入体制づくり ◆誘客の促進

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
	漁村集落等を活用したメニューづくり ・視察・研修・適地の検討 ・多様な関係者等との協議の場づくり ・メニューの洗い出し		・釣堀等メニューの事業化 ・視察・研修		来客数 (H28:300人)	1,600人
	多様な事業者と連携した受入体制づくり ・視察、研修 ・地域等との連携協議 ・受入に必要な手続(遊漁船業等) ・運営方法の検討		・受入に必要なサービス、施設等の整備 ・運営方法の構築・改善			
	誘客の促進 ・体験メニューづくり及び誘客計画の作成		・多様な事業者と連携したPRと販売促進の展開			

有望素材シート（29年度追加）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	四万十市	素材名	市街地の遊休地（旧土豫銀行跡地）、幡多の地域食材の活用
		関連素材	

現状・課題	<p><現状> 四万十市の中心市街地を取り巻く環境は、近年、大型量販店の郊外展開、消費者の購買方法の多様化、少子高齢化の進展、商店の後継者問題等、年々、厳しさが増しており、商店街の賑わい創出に向け、平成27年度から市内商業関係団体で構成する意見交換会、市役所庁内関係各課で構成する庁内検討委員会を設置し、市街地の遊休地(旧土豫銀行跡地)利活用の検討を開始した。 現在のところ、商業機能とコミュニティ機能を有する空間を整備する方向性が確定し、平成28年度末に向けて、事業計画(商業計画、施設整備計画、収支計画、資金計画)において、商業機能面に関しては民間事業者が整備・運営することとなっている。</p> <p><課題> ○拠点施設整備 ○推進組織体制の構築(運営主体と地域事業者(商工会議所、各商店街、各種民間団体等)との連携) ○運営主体による詳細な事業計画の策定 ○事業効果を高める仕組みづくり(集客の仕掛け) ○PDCAサイクルに基づく経営管理の実施 ○安定的な運営</p>
方向後の	<p>天神橋商店街内の遊休地を活用し、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域商業施設を整備し、県内外に四万十市の地場産品を利用した「食」や「食文化」の発信を行うことで交流人口の拡大を図る。さらに、観光客等の滞在時間を延長する仕組みづくりを行うことで、商店街周辺店舗への周遊、消費活動を促進し、波及効果を増大させる。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業
	関係市町村名	四万十市

事業の概要	<p>中心商店街内の遊休地を活用して、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域商業の拠点施設を整備し、県内外の観光客等に対して、四万十地域の産品等の情報発信を行うことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらし、中心市街地の活性化を図る。</p> <p>(1) 推進組織体制の構築 ・運営主体の公募、選定 ・事業計画の策定 ・運営主体と地域事業者(団体)との連携</p> <p>(2) 拠点施設整備 ・基本設計 ・実施設計 ・工事施工</p> <p>(3) 事業効果を高める仕組みづくり ・集客の仕掛けづくり(コンセプトやイメージの発信ツールの作成及び磨き上げ 等) ・PDCAサイクルに基づく経営管理の実施 ・四万十市及び幡多地域の地場産品を活用した「食」「食文化」の発信 ・運営会の開催による安定的集客及び経営並びに近隣商店街等への波及効果を増大させる仕組みの継続</p>
-------	--

事業主体等	<p>【事業主体】 四万十市、民間事業者</p> <p>【関係機関】 天神橋商店街振興組合</p>
-------	---

取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
推進組織体制の構築	公募・選定 事業計画の策定 運営主体と地域事業者(団体)との連携				
拠点施設整備	基本設計 実施設計 工事施工			開業	
事業効果を高める仕組みづくり		集客の仕掛けづくり(コンセプトやイメージの発信ツールの作成及び磨き上げ 等) PDCAサイクルに基づく経営管理 四万十市及び幡多地域の地場産品を活用した「食」「食文化」の発信			運営会の開催による安定的集客及び経営並びに近隣商店街等への波及効果を増大させる仕組みの継続
指標・目標	項目(期末:12月末) 【設定根拠】	事業実施【H29】 【推計の考え方】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】 4年後【H33～】
		【考え方】			

総事業費等	総事業費 千円 (うち 29年度 千円) (内訳 国: 県: 市町村: その他:) 想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他) 国: 県: 人的支援: その他:
備考	

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>30 遊休地を活用した地域商業活性化拠点づくり事業 《四万十市》</p>	<p>中心商店街内の遊休地を活用して、官民協働によるコミュニティ機能を有した地域商業の拠点施設を整備し、県内外の観光客等に対して、四万十地域の産品等の情報発信を行うことにより、商店街等に継続的な賑わいをもたらし、中心市街地の活性化を図る。</p>	<p>・四万十市 ・民間事業者</p>	<p>アクションプランの取組開始：H29</p>		<p>◆推進組織体制の構築</p> <p>◆拠点施設整備</p> <p>◆事業効果を高める仕組みづくり</p>

第3期計画					指標及び目標				
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>推進組織体制の構築</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">公募 選定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;">事業計画の策定</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">運営主体と地域事業体(団体)との連携</div> </div>								
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>拠点施設整備</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">基本設計</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;">実施設計・工事施工</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-left: 5px; margin-left: 10px;">開業</div> </div> </div>								
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事業効果をも高める仕組みづくり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">集客の仕掛けづくり(コンセプトやイメージの発信ツールの作成及び磨き上げ 等)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">PDCAサイクルに基づく経営管理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">四万十市及び幡多地域の地場産品を活用した「食」「食文化」の発信</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">運営会の開催による安定した集客及び経営並びに近隣商店街等への波及効果を増大させる仕組みの継続</div> </div>								

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
農産物の生産拡大・販売促進					→	売上高 (H24:33,136千円) (H26:12,314千円)	35,000千円
販促および栽培面積拡大に向けた取組							
	ケール・大麦若葉の乾燥施設等整備		パンフレット・HP作成				
農産物加工品の商品開発・製造・販路拡大					→		
加工施設整備(生姜等を原料とした加工品製造設備)及び販路開拓							



削除

削除項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
14 大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大事業 《大月町》	県内民間事業者が、大月町種苗生産施設を活用することにより、養殖用種苗としてのマダイ・シマアジの増産による市場シェアの拡大と、カンパチ等新魚種の生産技術の確立を図り、ビジネスチャンスの拡大を目指す。	・大月町 ・(株)山崎技研	アクションプランの取組開始:H24 ・海上育成施設整備(H24) ・シマアジ、マダイの種苗生産開始(H24.11月～) ◆H25、H27にシマアジの種苗をそれぞれ約18.3万尾及び12.5万尾出荷した。マダイの種苗生産はH25に魚病が発生し、一時中止している。 ・カンパチ人工種苗生産試験開始(H24.6月～) ◆H25～26にカンパチの人工採卵に成功。高知県内の養殖業者は中国産の天然カンパチ種苗に依存しているため、県内でカンパチ人工種苗が供給可能となれば、養殖業者の種苗安定確保と事業者の収益増加が期待できる。 ・イサキ、ノコギリガザミ放流種苗生産開始(H24.5月～) ◆H24～26にノコギリガザミ、イサキの種苗を無償放流し、地元漁業へ貢献。	・マダイ、シマアジ種苗の安定生産と魚病対策 ・カンパチ人工種苗生産については採卵技術の確立及び孵化後の生残率の向上	◆種苗増産による市場シェア拡大



削除

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
						シマアジ種苗出荷金額 (H26:20,500千円)	40,000千円
種苗増産による市場シェア拡大							
シマアジ養殖用種苗増産による市場シェアの拡大							
カンパチ等新規養殖用種苗生産技術の向上及び市場シェアの確保・拡大							



削除

削除項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化推進事業 《四万十市》	四万十市一条通商店街のスーパー跡地を利用して整備された「いちじょこさん市場」を拠点に、地元の素材を活用した地産地消の交流拠点として、商店街の活性化を図る。	・まちづくり四万十(株)	アクションプランの取組開始:H21 ・四万十市中心市街地活性化の一環として、地産地消を推進する「食育プラザ」開店(H21) ・中小企業基盤整備機構の支援を受け、集荷・販売・経営全般の改善(H21~23) ・H23産業振興総合補助金を活用し、集客アップに向け店舗内外装の全面改修や総業部門を追加する取組を実施し、「いちじょこさん市場」としてH23.9.2リニューアルオープン。 ◆売上高は改修前を大きく上回った。近年では、約45,000千円程度で推移している(H22売上高31,121千円→H24売上高44,709千円→H25売上高45,172千円→H26売上高44,250千円)。 ◆H23にふるさと雇用事業で雇用した2人を、H24から正職員としている。	・安定的な売上の確保 ・集荷業務の継続 ・催事、交流スペースの有効活用 ・商店街との連携強化	◆販売促進に向けた取組の強化 ◆地域拠点としての機能強化



削除

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販売促進に向けた取組の強化					売上高 (H24:44,709千円) (H26:44,250千円)	62,935千円	
<ul style="list-style-type: none"> ・集荷→製造→加工→販売体制の強化 ・一般食品の取扱い強化 ・弁当の注文販売強化 							
地域拠点としての機能強化							
<ul style="list-style-type: none"> ・交流・催事スペースの利用促進 ・商店街・諸団体との連携強化 							



削除

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
24 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス) 《四万十市》 修正前	道の駅を核として、西土佐地域の多様な人材や事業者等が連携し、地域素材を活用した加工品の開発・販売や交流体験観光の情報発信等を行うことで、幡多地域の北の玄関口として交流人口を拡大し、地域の活性化を図る。	・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市	アクションプランの取組開始:H24 ・施設整備計画(H24~) ・H28営業開始に向け、H24基本計画、H25実施設計、H26用地取得完了。H27木造公共施設等整備事業費補助金および木の香るまちづくり推進事業費補助金を活用し施設整備(H28.4.10オープン予定)。 ・体制づくり(H25~) ◆H24商人塾参加やH25~出荷者向け研修の実施等、運営体制強化。H26~地域人づくり事業により1人雇用。H27.4月、ふるさと市組合(指定管理者)の株式会社化により運営体制が確立。 ・商品開発(H24~) ◆全国展開支援事業、四万十市道の駅地域産品開発等特別支援補助事業、県産業振興アドバイザー制度等を活用し、地元民間事業者の新商品開発を支援。その結果、開発商品数は増加している。(開発商品数=H23:6商品、H24:11商品、H25:18商品、H26:22商品) ・道の駅開業に向けた準備(H27~) ・開業に向けた戦略会議を開催 ◆H27.11月道の駅登録、名称が「よって西土佐」に決定。	・魅力ある商品開発・販売戦略の推進(地域の魅力発信) ・道の駅を中心とする活力ある地域づくり	◆地域ならではの商品づくり、販売促進 ◆周辺施設・商店街等との連携(地域拠点としての機能強化)



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス) 《四万十市》 修正後	道の駅を核として、西土佐地域の多様な人材や事業者等が連携し、地域素材を活用した加工品の開発・販売や交流体験観光の情報発信等を行うことで、幡多地域の北の玄関口として交流人口を拡大し、地域の活性化を図る。	・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市	アクションプランの取組開始:H24 ・施設整備計画(H24~) ・H28営業開始に向け、H24基本計画、H25実施設計、H26用地取得完了。H27木造公共施設等整備事業費補助金および木の香るまちづくり推進事業費補助金を活用し施設整備(H28.4.10オープン予定)。 ・体制づくり(H25~) ◆H24商人塾参加やH25~出荷者向け研修の実施等、運営体制強化。H26~地域人づくり事業により1人雇用。H27.4月、ふるさと市組合(指定管理者)の株式会社化により運営体制が確立。 ・商品開発(H24~) ◆全国展開支援事業、四万十市道の駅地域産品開発等特別支援補助事業、県産業振興アドバイザー制度等を活用し、地元民間事業者の新商品開発を支援。その結果、開発商品数は増加している。(開発商品数=H23:6商品、H24:11商品、H25:18商品、H26:22商品) ・道の駅開業に向けた準備(H27~) ・開業に向けた戦略会議を開催 ◆H27.11月道の駅登録、名称が「よって西土佐」に決定。H28.4開業。 ・外販活動(H28~) ◆松山サテライトショップのオープンや道の駅との連携を活かして地域外に販路を拡大した。	・魅力ある商品開発・販売戦略の推進(地域の魅力発信) ・道の駅を中心とする活力ある地域づくり	◆地域ならではの商品づくり、販売促進 ◆周辺施設・商店街等との連携(地域拠点としての機能強化)

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域ならではの商品づくり、販売促進					→	売上高 (H26:0円)	120,200千円
商品、飲食施設提供メニューのブラッシュアップ							
外販活動の継続							
周辺施設・商店街等との連携(地域拠点としての機能強化)					→		
情報発信機能の強化							
周辺施設等との連携強化							
地域住民の憩いの場づくり							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域ならではの商品づくり、販売促進					→	売上高 (H26:0円)	150,000千円
商品、飲食施設提供メニューのブラッシュアップ							
外販活動の継続							
周辺施設・商店街等との連携(地域拠点としての機能強化)					→		
情報発信機能の強化							
周辺施設等との連携強化							
地域住民の憩いの場づくり							

修正項目(案)




【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業 《四万十市》 修正前	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十の食材を中心とした加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会	アクションプランの取組開始：H26 ・新商品開発(H26～) ◆3アイテム(9種類)の商品開発により、ラインナップの充実を図った。 ・販路開拓及び拡大(H26～) ◆国内の商談会、展示会、イベント出展により、順調に販路が拡大している。また、H27にはジェトロの事業を活用し、海外での販路開拓に向けた調査等を実施したことにより、販路開拓に向けたノウハウを習得した。 ・生産体制の強化(H26～) ◆加工場増設や生産設備の効率化により、増産が可能となった。 ・四万十市地域商品研究会の継続開催(H26～) ・四万十市人材育成研修事業の実施(H27～) ・県の頑張る人づくり事業を活用し、外商に耐える商品づくりを目的に研修会を実施 ◆四万十市の事業者が定期的に集い、情報・意見交換やセミナーを実施、商品開発等のスキルアップにつながっている。	・商品ラインナップの充実 ・地域商社としての役割強化	◆自社商品の開発強化 ◆販売拠点整備と販路拡大 ◆四万十市地域商品研究会と連携した新商品づくり、販路拡大



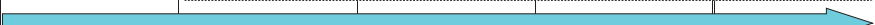




【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業 《四万十市》 修正後	四万十市の漁業者、農家、加工業者、販売者が連携し、四万十の食材を中心とした加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大し、地域活性化を目指す。	・しまんと百笑かんぱに(株) ・四万十市地域商品研究会	アクションプランの取組開始：H26 ・新商品開発等(H26～) ◆3アイテム(9種類)の商品開発により、ラインナップの充実を図った。(H26) ・ <u>既存商品(5種類)のブラッシュアップを実施(H26)</u> ・販路開拓及び拡大(H26～) ◆国内の商談会、展示会、イベント出展により、順調に販路が拡大している。また、H27にはジェトロの事業を活用し、海外での販路開拓に向けた調査等を実施したことにより、販路開拓に向けたノウハウを習得した。 ・ <u>台湾での高知県フェアの開催(H26)</u> ・生産体制の強化(H26～) ◆加工場増設や生産設備の効率化により、増産が可能となった。 ・ <u>HACCP研修等衛生管理研修受講(H26～)</u> ・四万十市地域商品研究会の継続開催(H26～) ・四万十市人材育成研修事業の実施(H27～) ・県の頑張る人づくり事業を活用し、外商に耐える商品づくりやマーケティング手法の習得を目的に研修会を実施。 ◆四万十市の事業者が定期的に集い、情報・意見交換やセミナーを実施、商品開発や販路拡大等のスキルアップにつながっている。	・商品ラインナップの充実 ・ <u>生産拡大に向けた施設整備</u> ・地域商社としての役割強化	◆自社商品の開発強化 ◆販売拠点整備と販路拡大 ◆四万十市地域商品研究会と連携した新商品づくり、販路拡大



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					商品売上高 (H26:30,000千円)	50,000千円
自社商品の開発強化 商品開発、地域性のある農産物(生鮮)等の商品化 生産体制の強化に向けた施設整備の検討						
						
販売拠点整備と販路拡大 首都圏での拠点整備 拠点の運営 商談会・展示会への出展等の販売促進活動 四万十フェア等(生鮮食品販売)の開催						
						
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					商品売上高 (H26:30,000千円)	50,000千円
自社商品の開発強化 商品開発、地域性のある農産物(生鮮)等の商品化 生産体制の強化に向けた施設整備の検討						
						
販売拠点整備と販路拡大 首都圏での拠点整備 拠点の運営 商談会・展示会への出展等の販売促進活動 四万十フェア等(生鮮食品販売)の開催						
						
四万十市地域商品研究会等と連携した新商品づくり、販路拡大 新商品の開発 四万十市地域商品研究会と連携した商談会・展示会への出展等の販売促進活動 生産者及び製造者と連携した各地(国外を含む)でのフェアの開催 人材育成セミナーの開催						

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
					売上高 (H27:4,540千円)	8,630千円
販売促進	生産者等が連携した販促活動等の展開					
	観光イベントや農家民宿と連携したPR・販売の実施					
	どぶろくを使った加工品の開発及び販売					
						
組織体制の強化	組織・販売体制の強化					
		人材の育成				



第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
					売上高 (H27:4,540千円)	8,630千円
販売促進	生産者等が連携した販促活動等の展開					
	どぶろくを使った加工品の開発及び販売					
	パンフレット作成・インターネット販売事業の構築					
	観光イベントや農家民宿と連携したPR・販売の実施					
						
組織体制の強化	事業計画の作成	事業計画に基づく施設・設備等の整備				
		組織・販売体制の強化				
		人材の育成				

修正項目(案)

【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>35 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業</p> <p>《黒潮町》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	衛生・品質管理が行き届いた水産物加工施設を中心に、地産外商の取組を充実・強化することで、地域内の漁業者の所得向上、地域での雇用を拡大する。	・(有)土佐佐賀産直出荷組合	<p>アクションプランの取組開始：H24</p> <p>・町単支援事業等を活用し、積極的な販促活動(H24～)</p> <p>◆取引業者数が年々増加(H23:40社、H24:60社、H25:70社、H26:75社)</p> <p>◆地場の魚の残渣も捨てずに使用する丁寧な商品開発へ力を入れ、ラインナップを増やしている。(新商品開発数=H23:3種、H24:1種、H25:5種)</p> <p>◆H24、25、26と3年連続で、「むらおこし特産品コンテスト(全国商工会連合会)」審査員特別賞を受賞。</p> <p><受賞商品></p> <p>H24:きびなごフィレ H25:きびなごペースト H26:きびなご魚醤</p> <p>・加工施設整備(H26)</p> <p>◆産振補助金を活用し、新加工施設を整備(H27.5月末完成)により品質管理や衛生管理等の向上に繋がった。</p>	<p>・売上の向上</p> <p>・衛生管理面の充実</p>	<p>◆商品開発・販売促進</p> <p>◆スタッフ教育</p> <p>◆生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり</p>



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>37 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業</p> <p>《黒潮町》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	衛生・品質管理が行き届いた水産物加工施設を中心に、地産外商の取組を充実・強化することで、地域内の漁業者の所得向上、地域での雇用を拡大する。	・(有)土佐佐賀産直出荷組合	<p>アクションプランの取組開始：H24</p> <p>・町単支援事業等を活用し、積極的な販促活動(H24～)</p> <p>◆取引業者数が年々増加(H23:40社、H24:60社、H25:70社、H26:75社、H27:78社)</p> <p>◆地場の魚の残渣も捨てずに使用する丁寧な商品開発へ力を入れ、ラインナップを増やしている。(新商品開発数=H23:3種、H24:1種、H25:5種)</p> <p>◆H24、25、26と3年連続で、「むらおこし特産品コンテスト(全国商工会連合会)」審査員特別賞を受賞。</p> <p><受賞商品></p> <p>H24:きびなごフィレ H25:きびなごペースト H26:きびなご魚醤</p> <p>・加工施設整備(H26年度)</p> <p>◆産振補助金を活用し、新加工施設を整備(H27.5月末完成)により品質管理や衛生管理等の向上に繋がった。</p> <p>・県版HACCP第3ステージを取得(H28)</p>	<p>・売上の向上</p> <p>・衛生管理面の充実</p>	<p>◆商品開発・販売促進</p> <p>◆スタッフ教育</p> <p>◆生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商品開発・販売促進					→	売上高 (H25:73,085千円) (H26:84,159千円)	130,310千円
ウェブの活用・強化							
既存販路の強化・拡大							
スタッフ教育					→		
県版HACCPの取得							
スタッフのスキルアップ					→		
生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり							
担い手の育成(雇用の継続)・新たな人材の雇用							
原材料確保の安定化・買い支え							
生産・加工技術の向上							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
商品開発・販売促進					→	売上高 (H25:73,085千円) (H26:84,159千円)	130,310千円
ウェブの活用・強化							
既存販路の強化・拡大							
スタッフ教育					→		
県版HACCPの取得							
スタッフのスキルアップ					→		
生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり							
担い手の育成(雇用の継続)・新たな人材の雇用							
原材料確保の安定化・買い支え							
生産・加工技術の向上							